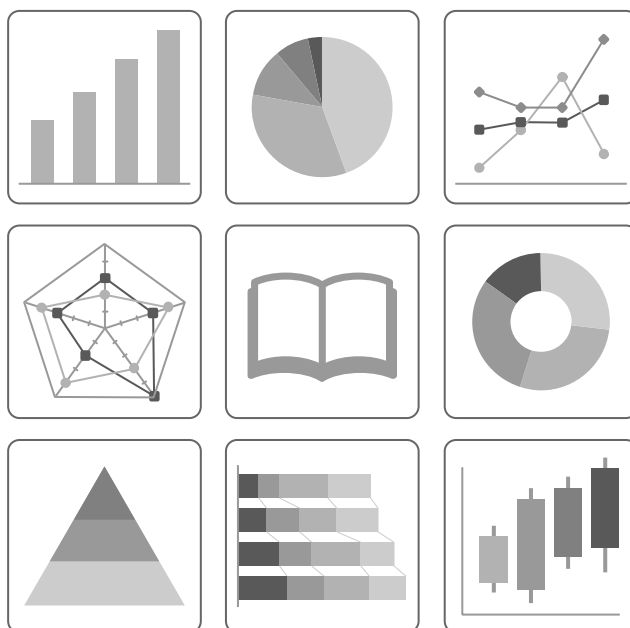


郡山市
子育てしやすい環境づくりアンケート調査
調査結果報告書



平成 31 年 3 月

郡 山 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	未就学児の保護者	2
	(1) お住まいの地域について	2
	(2) あて名のお子さんご家族の状況について	3
	(3) あて名のお子さんの保護者の就労状況について	8
	(4) あなたの現在の家計の状況について	11
	(5) お子さんの食習慣について	14
	(6) 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望について	15
	(7) 土曜や休日、長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望について	30
	(8) 病気の際の対応について	33
	(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況について	38
	(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	43
	(11) 地域の子育て支援事業の利用状況、利用希望について	48
	(12) 地域の子育て支援について	54
2	小学生の保護者	70
	(1) お住まいの地域について	70
	(2) お子さんご家族の状況について	70
	(3) お子さんの保護者の就労状況について	75
	(4) 現在の家計の状況について	79
	(5) お子さんの食習慣について	81
	(6) 放課後の過ごし方について	83
	(7) 病気の際の対応について	91
	(8) 地域の子育て支援について	98

I 調査の概要

1 調査の目的

郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

郡山市在住の未就学児、就学児を無作為抽出

3 調査期間

平成 30 年 12 月 27 日から平成 31 年 1 月 15 日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
未就学児の保護者	3,000 通	1,429 通	47.6%
小学生の保護者	2,000 通	1,043 通	52.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

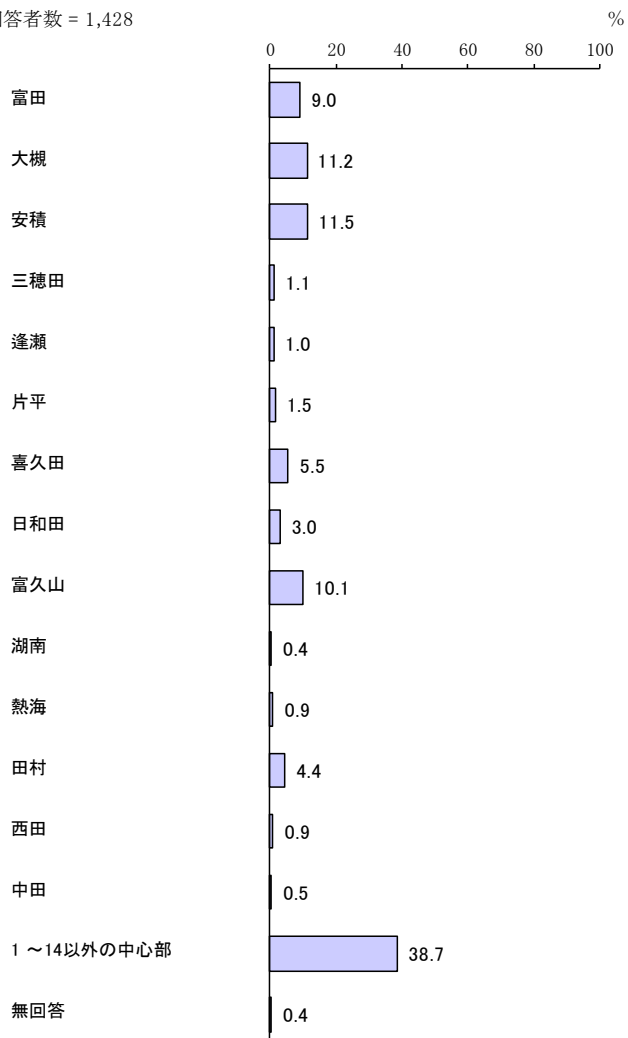
1 未就学児の保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

「1～14以外の中心部」の割合が38.7%と最も高く、次いで「安積」の割合が11.5%、「大槻」の割合が11.2%となっています。

回答者数 = 1,428

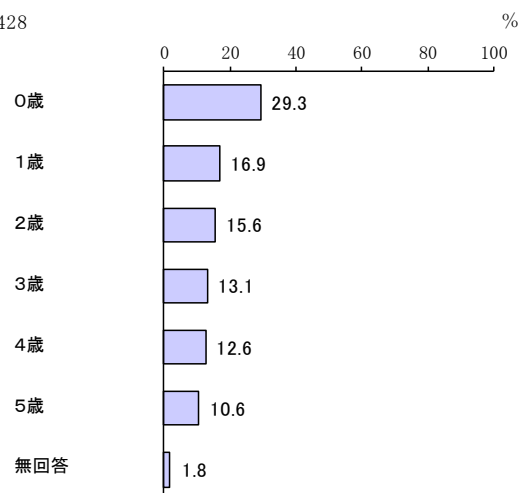


(2) あて名のお子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください

「0歳」の割合が29.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が16.9%、「2歳」の割合が15.6%となっています。

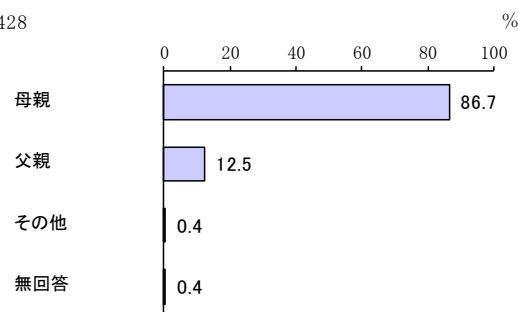
回答者数 = 1,428



問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「母親」の割合が86.7%、「父親」の割合が12.5%となっています。

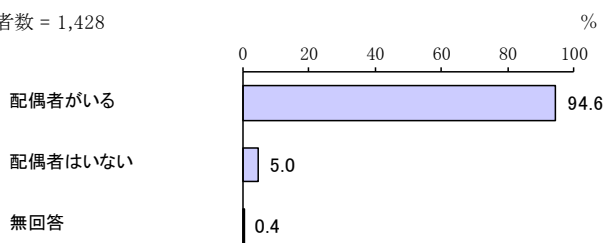
回答者数 = 1,428



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者(夫または妻)の有無についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「配偶者がいる」の割合が94.6%、「配偶者はいない」の割合が5.0%となっています。

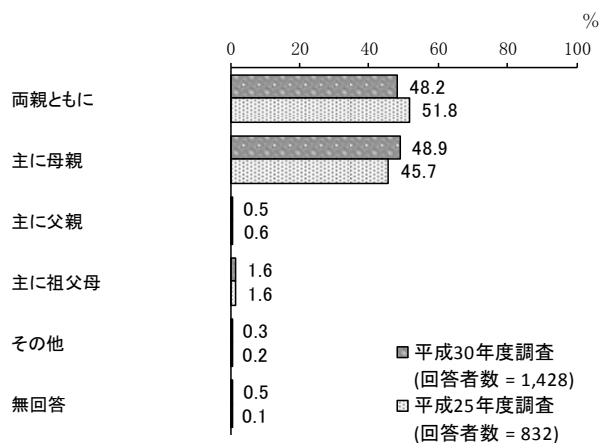
回答者数 = 1,428



問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

「主に母親」の割合が48.9%と最も高く、次いで「両親ともに」の割合が48.2%となっています。

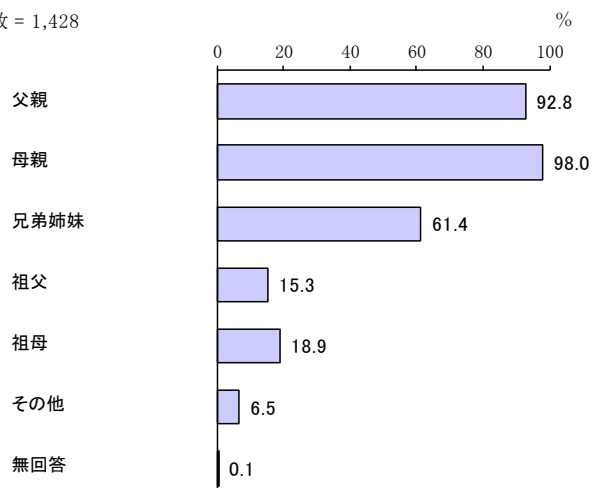
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お子さんと同居しているご家族の構成はどのようになっていますか。お子さんからみた関係でお答えください。また、お子さんに兄弟姉妹がいる場合、その内訳もご記入ください。

「母親」の割合が98.0%と最も高く、次いで「父親」の割合が92.8%、「兄弟姉妹」の割合が61.4%となっています。

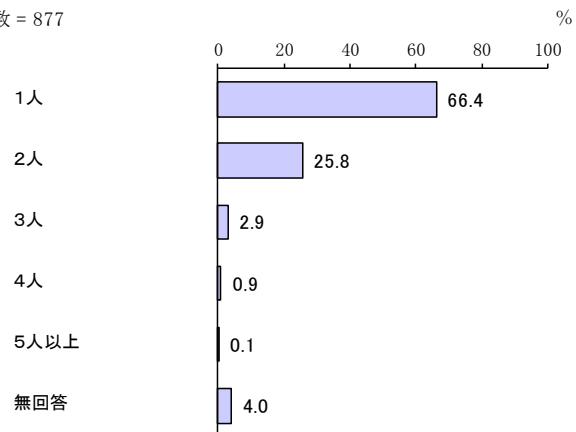
回答者数 = 1,428



ア 兄弟姉妹

「1人」の割合が66.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が25.8%となっています。

回答者数 = 877

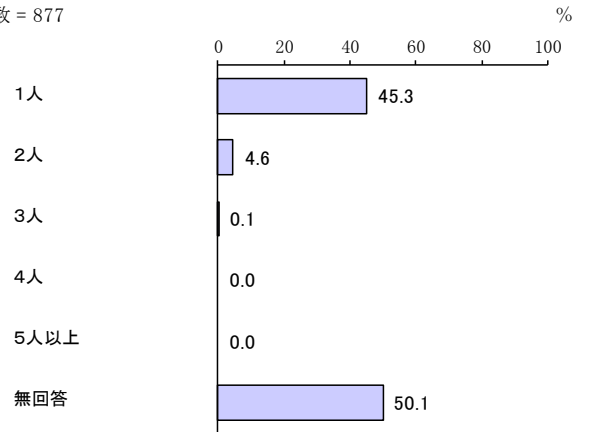


(ア) 兄弟姉妹 (内訳)

①未就学児

「1人」の割合が45.3%と最も高くなっています。

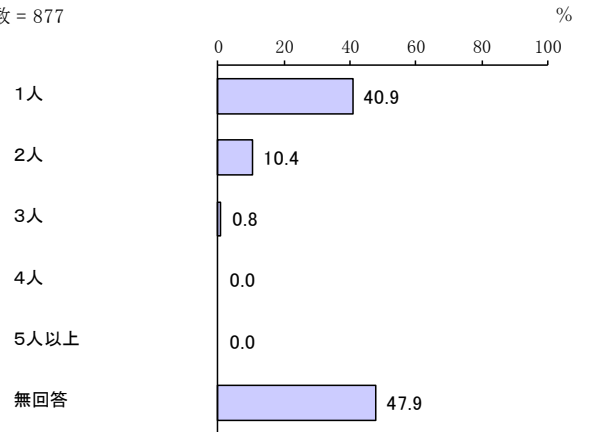
回答者数 = 877



②小学生

「1人」の割合が40.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が10.4%となっています。

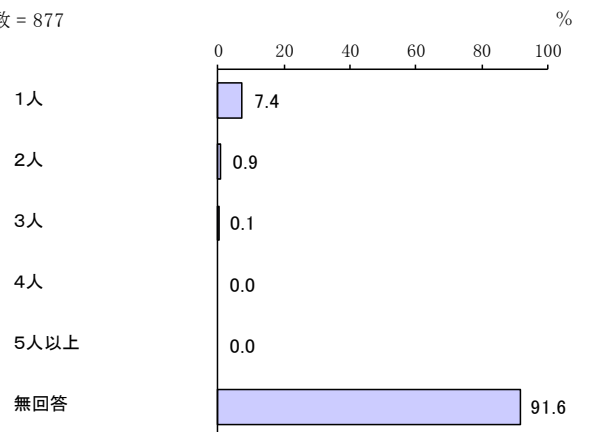
回答者数 = 877



③中学生

「1人」の割合が7.4%と最も高くなっています。

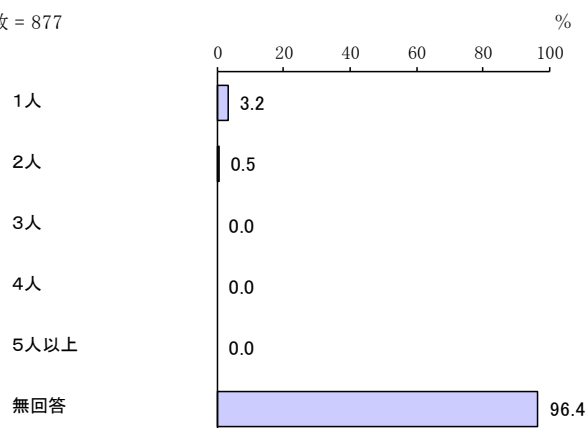
回答者数 = 877



④高校生

「1人」の割合が3.2%と最も高くなっています。

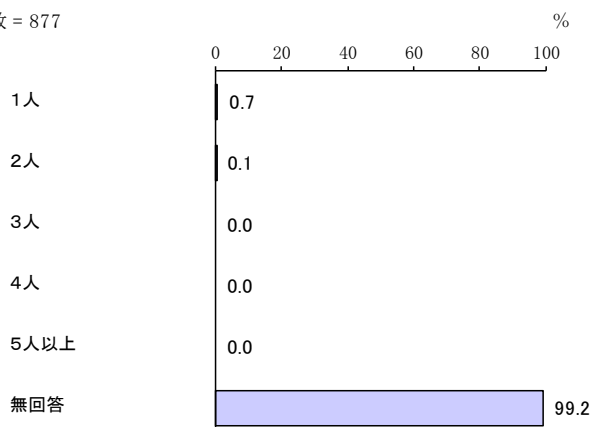
回答者数 = 877



⑤それ以上

「1人」の割合が0.7%と最も高くなっています。

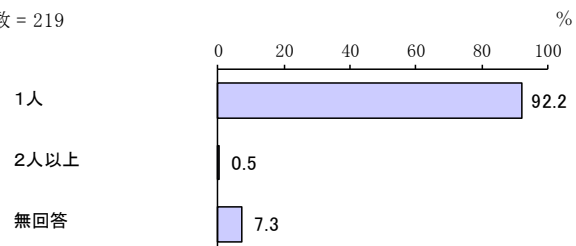
回答者数 = 877



イ 祖父

「1人」の割合が92.2%、「2人以上」の割合が0.5%となっています。

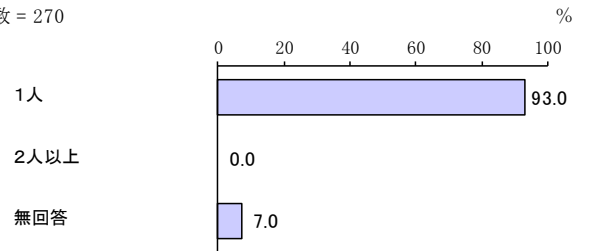
回答者数 = 219



ウ 祖母

「1人」の割合が93.0%、「2人以上」の割合が0.0%となっています。

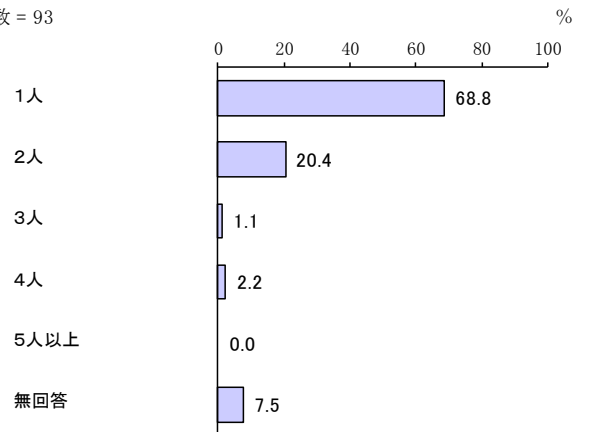
回答者数 = 270



エ その他

「1人」の割合が68.8%と最も高く、次いで「2人」の割合が20.4%となっています。

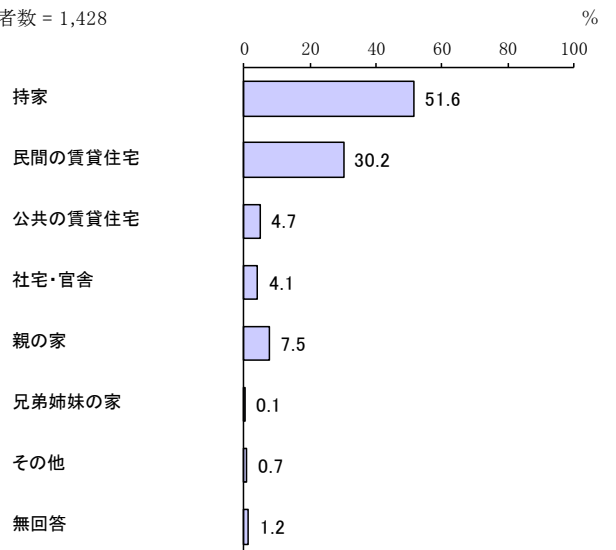
回答者数 = 93



問7 お住まいの住宅について、あてはまるものを選んでください。
(あてはまる番号1つに○)

「持家」の割合が51.6%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が30.2%となっています。

回答者数 = 1,428



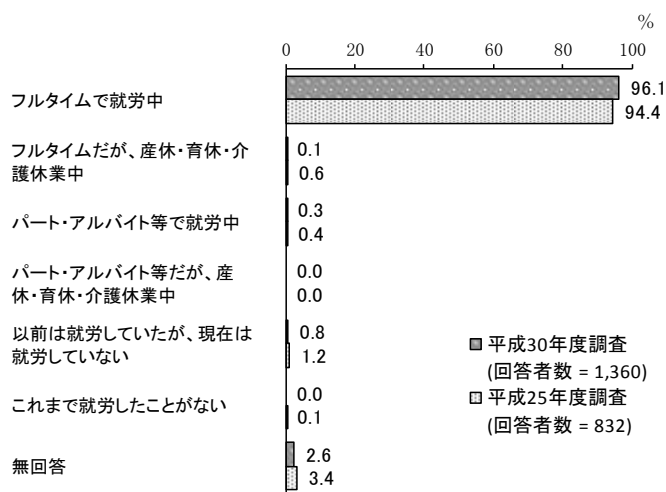
(3) あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問8 あて名のお子さんの保護者の、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（父親、母親それぞれのあてはまる項目1つに○）

ア 父親

「フルタイムで就労中」の割合が96.1%と最も高くなっています。

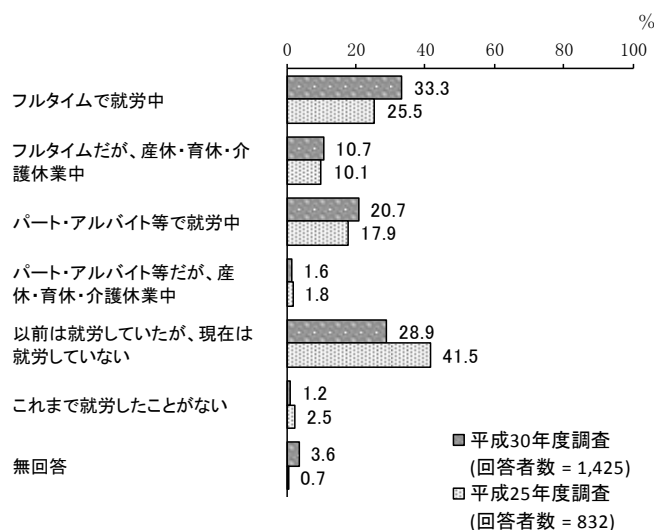
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 母親

「フルタイムで就労中」の割合が33.3%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が28.9%、「パート・アルバイト等で就労中」の割合が20.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



問9 問8で「3」または「4」を選んだ方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○)

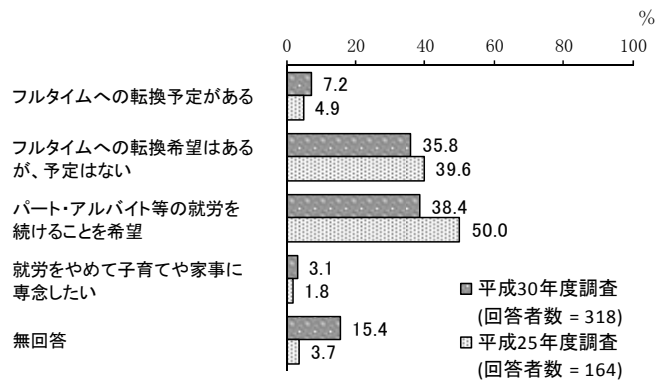
ア 父親

「フルタイムへの転換予定がある」が3件となっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」が1件となっています。

イ 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が38.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」の割合が35.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

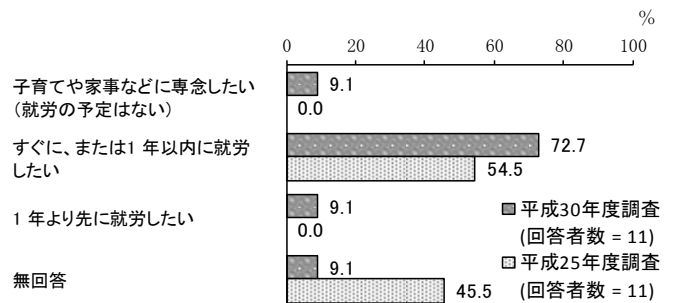


問10 問8で「5」または「6」を選んだ方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○)

ア 父親

「すぐに、または1年以内に就労したい」の割合が72.7%と最も高くなっています。

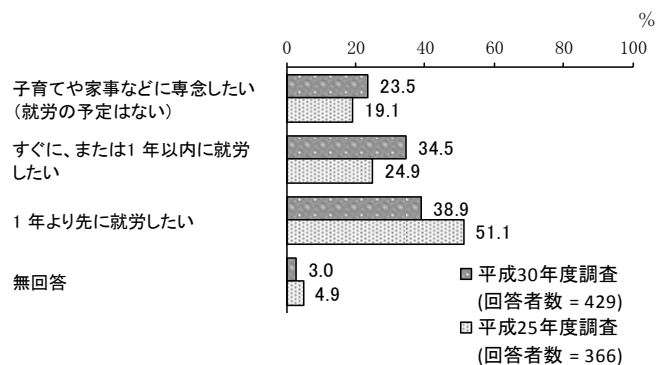
平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「すぐに、または1年以内に就労したい」「1年より先に就労したい」の割合が増加しています。



イ 母親

「1年より先に就労したい」の割合が38.9%と最も高く、次いで「すぐに、または1年以内に就労したい」の割合が34.5%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が23.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「すぐに、または1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「1年より先に就労したい」の割合が減少しています。



問11 問10で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。どのような就労を希望しますか。(父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入)

ア 父親

「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)」が7件、「パート・アルバイト等」が1件となっています。

(ア) 父親の1週当たり就労日数

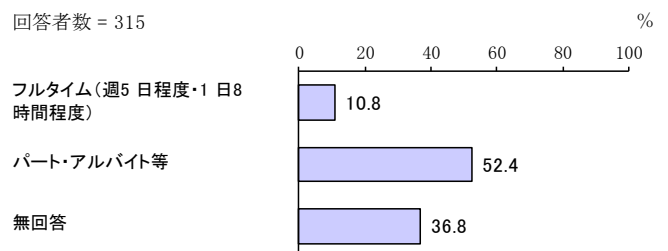
「4日」が1件となっています。

(イ) 父親の1日当たり就労時間

「4時間～5時間未満」が1件となっています。

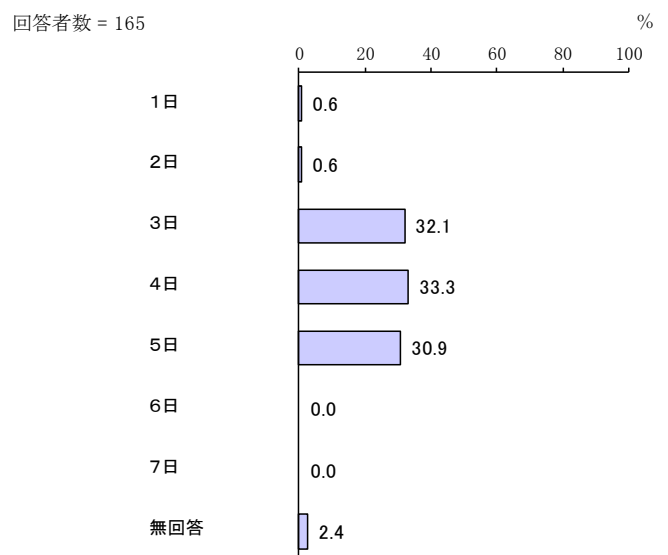
イ 母親

「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)」の割合が10.8%、「パート・アルバイト等」の割合が52.4%となっています。



(ア) 母親の1週当たり就労日数

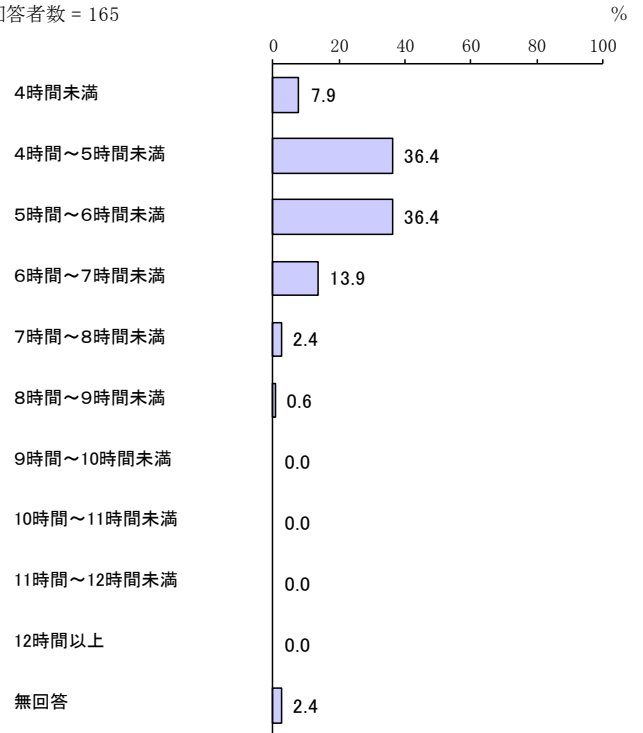
「4日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が32.1%、「5日」の割合が30.9%となっています。



(イ) 母親の1日当たり就労時間

「4時間～5時間未満」、「5時間～6時間未満」の割合が36.4%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 165

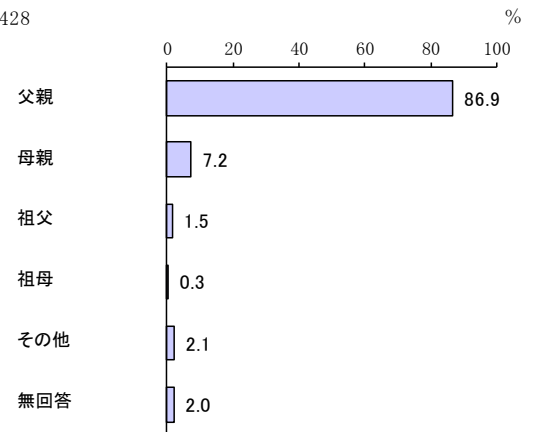


(4) あなたの現在の家計の状況について

問12 世帯の家計は、主にどなたの収入によって維持されていますか。
(あてはまる番号1つに○)

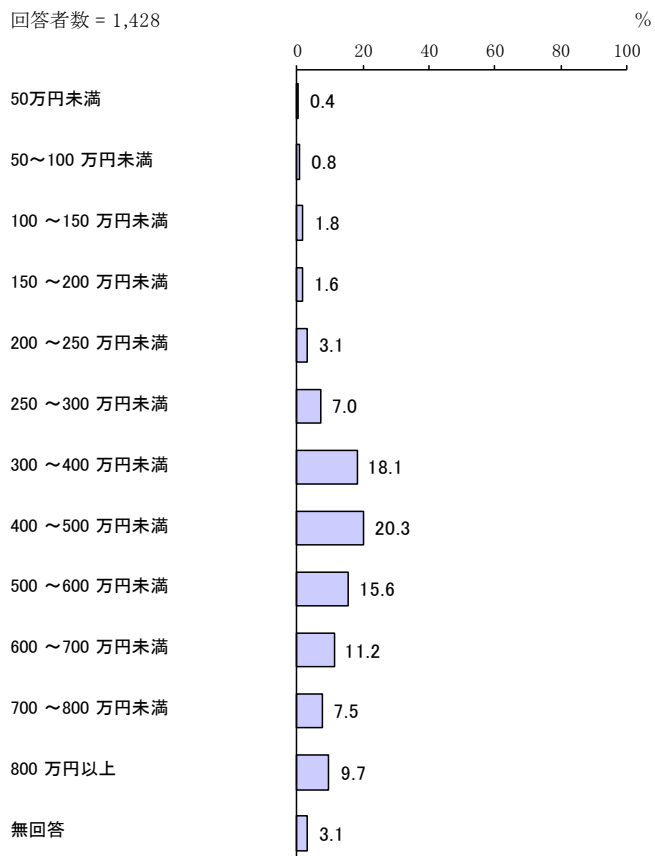
「父親」の割合が86.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,428



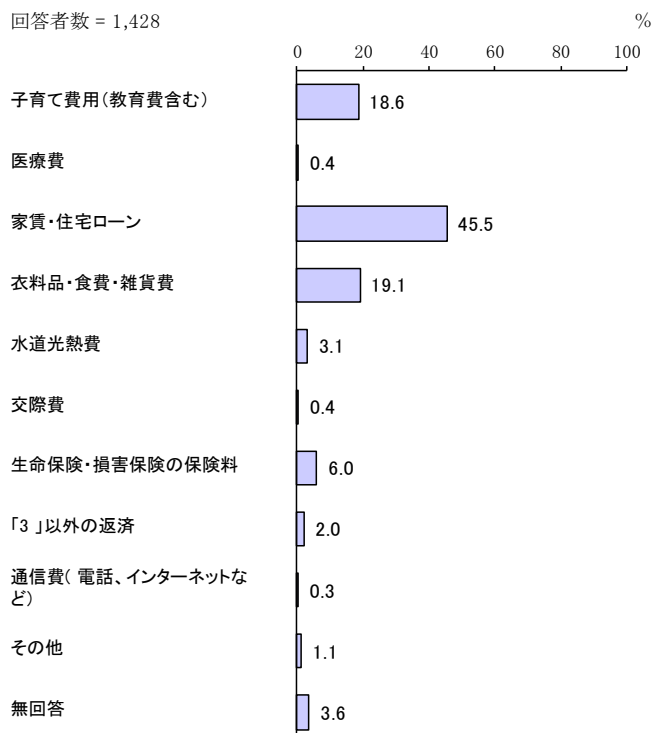
問13 平成29年中の、世帯を合わせたの年収（手取りの収入。副業や各種手当も含む。）は、およそどのくらいですか。（あてはまる番号1つに○）

「400～500万円未満」の割合が20.3%と最も高く、次いで「300～400万円未満」の割合が18.1%、「500～600万円未満」の割合が15.6%となっています。



問14 世帯の家計で最も負担となっているものは何ですか。（あてはまる番号1つに○）

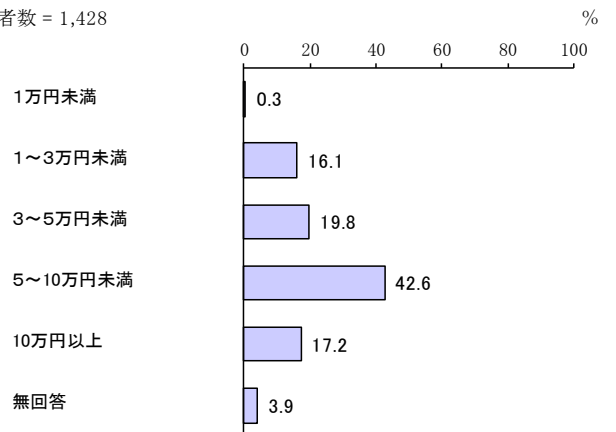
「家賃・住宅ローン」の割合が45.5%と最も高く、次いで「衣料品・食費・雑貨費」の割合が19.1%、「子育て費用（教育費含む）」の割合が18.6%となっています。



問 15 お子さん全員の子育てにかかる1か月あたりの費用について、およその金額で結構ですので記入してください。

「5～10万円未満」の割合が42.6%と最も高く、次いで「3～5万円未満」の割合が19.8%、「10万円以上」の割合が17.2%となっています。

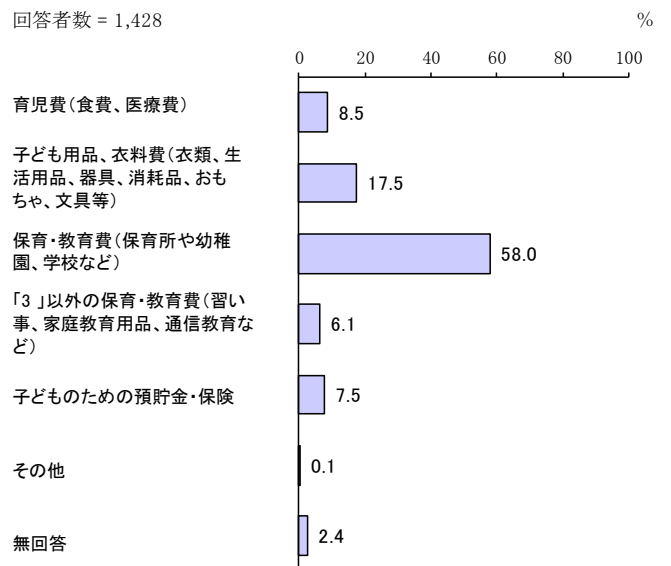
回答者数 = 1,428



問 16 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目はなんですか。(あてはまる番号1つに○)

「保育・教育費(保育所や幼稚園、学校など)」の割合が58.0%と最も高く、次いで「子ども用品、衣料費(衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等)」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 1,428

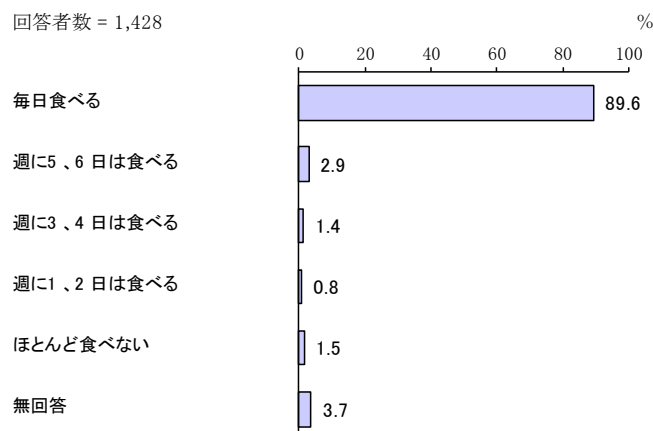


(5) お子さんの食習慣について

問17 お子さんは、一週間に朝食と夕食をどのくらいとっていますか。以下の選択肢から選び、ご記入ください。

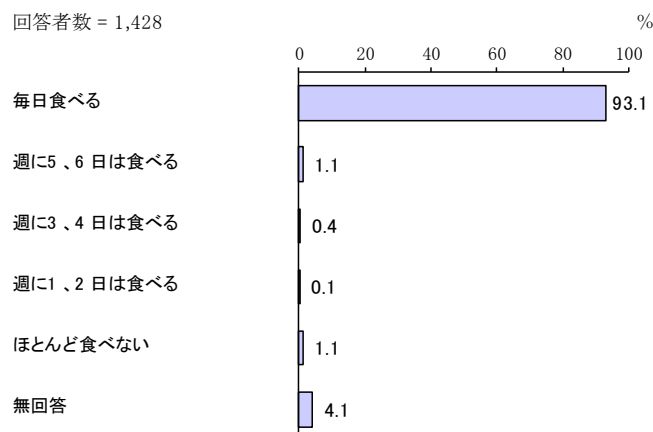
ア 朝食

「毎日食べる」の割合が89.6%と最も高くなっています。



イ 夕食

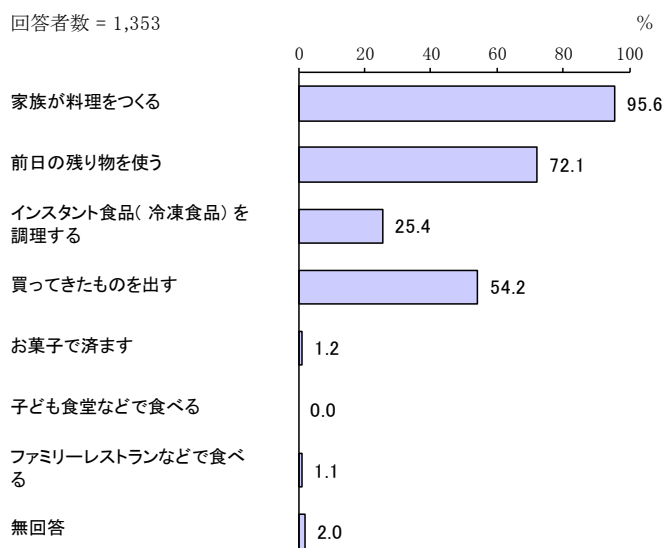
「毎日食べる」の割合が89.6%と最も高くなっています。



問18 問17で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。お子さんの朝食や夕食の準備はどのようにして いますか。以下の選択肢から多いものを3つ選び、ご記入ください。

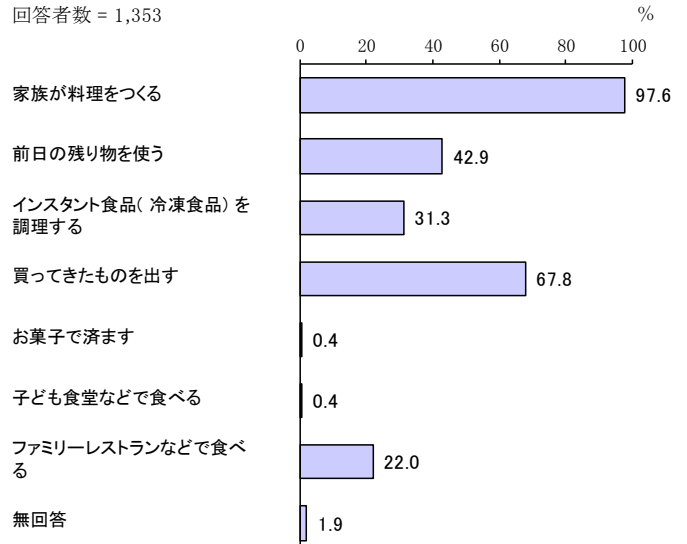
ア 朝食

「家族が料理をつくる」の割合が95.6%と最も高く、次いで「前日の残り物を使う」の割合が72.1%、「買って来たものを出す」の割合が54.2%となっています。



イ 夕食

「家族が料理をつくる」の割合が97.6%と最も高く、次いで「買ってきたものを出す」の割合が67.8%、「前日の残り物を使う」の割合が42.9%となっています。



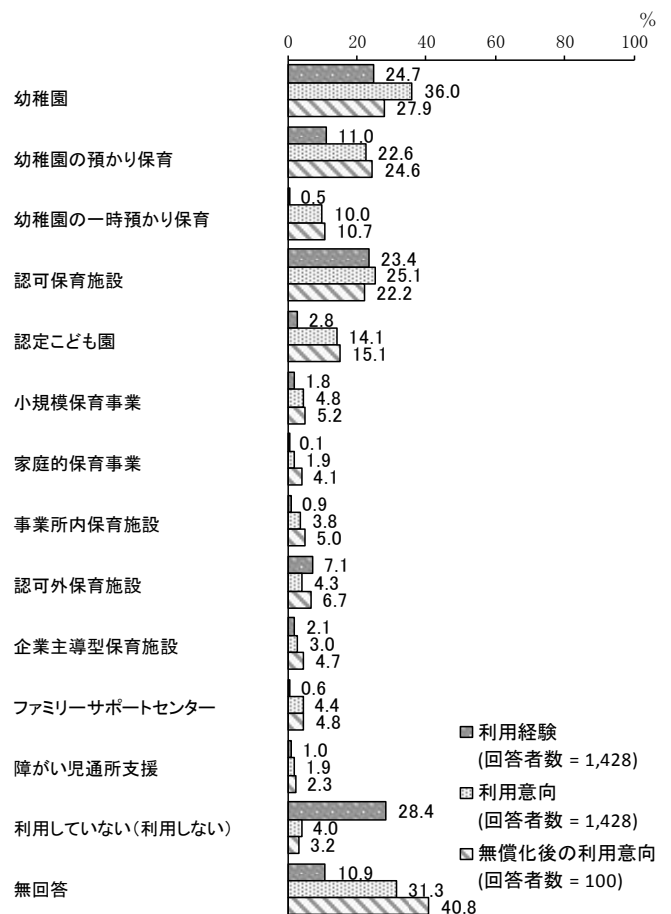
(6) 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望について

問 19 あて名のお子さんについて、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。(あてはまる項目すべてに○)

利用経験では、「利用していない(利用しない)」の割合が28.4%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が24.7%、「認可保育施設」の割合が23.4%となっています。

利用意向では、「幼稚園」の割合が36.0%と最も高く、次いで「認可保育施設」の割合が25.1%、「幼稚園の預かり保育」の割合が22.6%となっています。

無償化後の利用意向では、「幼稚園」の割合が27.9%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が24.6%、「認可保育施設」の割合が22.2%となっています。



【子どもの年齢別（利用経験）】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、4歳、5歳で「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が、0歳で「利用していない（利用しない）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	幼稚園の一時預かり保育	認可保育施設	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	認可外保育施設	企業主導型保育施設	ファミリーサポートセンター	障がい児通所支援	利用していない (利用しない)	無回答
0歳	419	1.2	0.5	—	10.0	1.0	1.7	—	0.7	5.5	2.1	0.5	—	57.3	21.2
1歳	242	3.7	0.4	0.8	28.5	1.7	3.7	—	1.7	9.5	3.7	0.4	0.8	36.0	12.8
2歳	223	10.8	6.3	1.3	31.8	2.7	4.5	0.4	1.8	12.1	1.8	0.4	0.9	22.4	12.1
3歳	187	51.9	19.8	0.5	26.2	5.9	—	—	—	6.4	2.7	1.1	1.1	5.3	2.7
4歳	180	61.7	28.9	—	27.2	3.9	—	—	1.1	5.0	0.6	—	2.8	2.8	0.6
5歳	151	63.6	29.8	0.7	29.1	5.3	—	—	—	4.6	0.7	1.3	2.0	6.6	1.3

【子どもの年齢別（利用意向）】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、2歳で「幼稚園」の割合が、0歳で「認可保育施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	幼稚園の一時預かり保育	認可保育施設	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	認可外保育施設	企業主導型保育施設	ファミリーサポートセンター	障がい児通所支援	利用していない (利用しない)	無回答
0歳	419	47.0	28.4	19.3	47.3	26.0	10.3	2.4	6.2	7.9	4.5	5.5	1.9	3.1	14.1
1歳	242	42.1	22.7	12.8	25.2	15.7	6.6	2.5	4.5	5.8	3.7	5.0	1.7	5.0	23.6
2歳	223	52.9	28.3	6.3	17.9	10.3	0.9	1.3	2.7	2.7	1.8	4.5	2.2	2.2	21.1
3歳	187	25.1	20.9	5.3	16.6	8.0	1.1	0.5	2.1	2.7	2.7	2.1	1.6	2.7	41.7
4歳	180	15.6	15.0	2.2	10.0	3.9	2.2	2.8	0.6	0.6	2.2	4.4	2.8	5.6	54.4
5歳	151	11.3	11.3	2.0	4.0	5.3	0.7	1.3	4.0	1.3	1.3	3.3	1.3	7.9	62.9

【子どもの年齢別（無償化後の利用意向）】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0歳、1歳で「幼稚園」の割合が、0歳で「認可保育施設」の割合が高くなっています。

単位：％

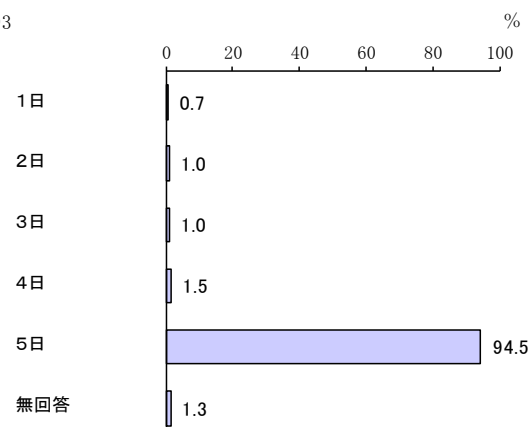
区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	幼稚園の一時預かり保育	認可保育施設	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育施設	認可外保育施設	企業主導型保育施設	ファミリーサポートセンター	障がい児通所支援	利用していない (利 用 し な い)	無回答
0歳	419	36.5	28.6	18.6	32.2	21.0	6.9	3.6	5.7	8.6	4.8	5.5	1.9	3.3	28.9
1歳	242	33.1	24.4	10.7	23.6	16.5	6.2	3.7	4.5	7.9	6.2	4.1	1.7	2.9	35.1
2歳	223	28.7	24.2	7.2	20.6	13.9	4.9	4.5	4.0	6.7	2.7	4.5	1.8	1.3	41.7
3歳	187	24.1	25.1	6.4	19.8	11.2	3.2	3.2	4.3	6.4	4.8	3.2	2.7	2.1	44.4
4歳	180	17.8	19.4	4.4	13.9	8.3	3.3	6.1	6.1	3.3	5.0	7.2	3.9	2.2	52.8
5歳	151	13.2	17.9	7.3	9.3	11.3	4.6	4.6	5.3	5.3	5.3	4.0	3.3	8.6	60.9

問 20 問 19 の(1)で①～⑫のいずれかを選んだ方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業はどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

ア 現在の利用状況

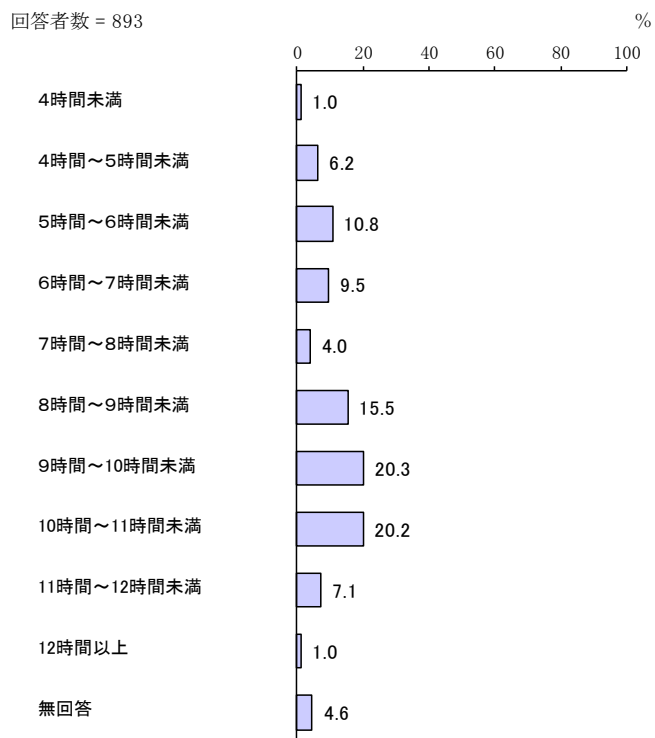
(ア) 1週あたり利用日数

「5日」の割合が94.5%と最も高くなっています。回答者数 = 893



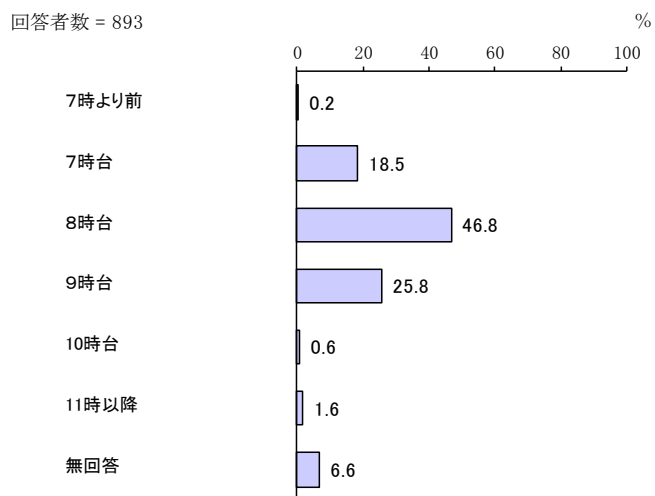
(イ) 1日あたり利用時間

「9時間～10時間未満」の割合が20.3%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が20.2%、「8時間～9時間未満」の割合が15.5%となっています。



(ウ) 利用開始時刻

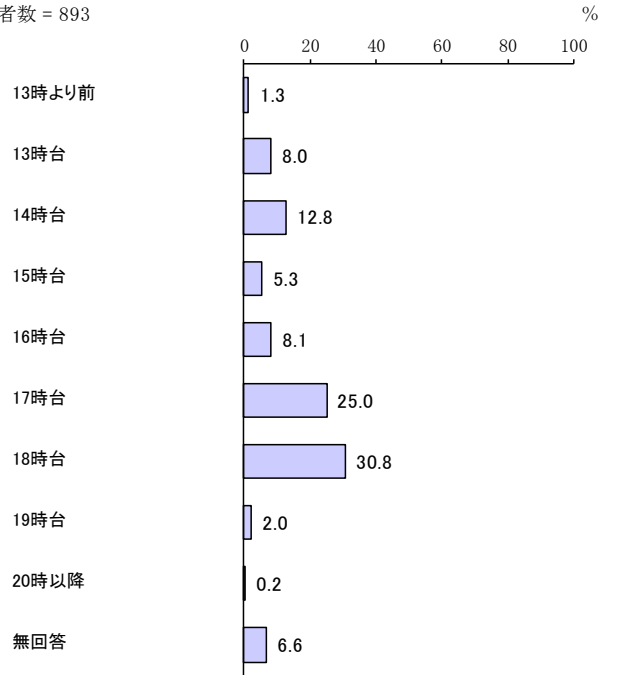
「8時台」の割合が46.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が25.8%、「7時台」の割合が18.5%となっています。



(エ) 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.0%、「14 時台」の割合が 12.8%となっています。

回答者数 = 893

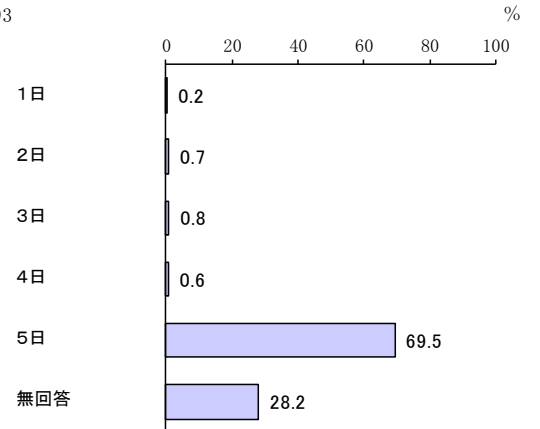


イ 利用希望

(ア) 1 週あたり利用日数

「5 日」の割合が 69.5%と最も高くなっています。

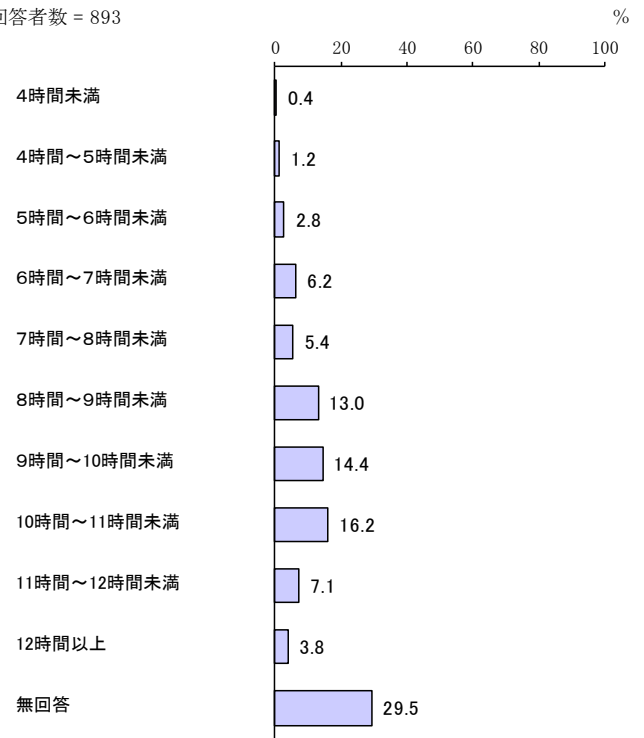
回答者数 = 893



(イ) 1日あたり利用時間

「10時間～11時間未満」の割合が16.2%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が14.4%、「8時間～9時間未満」の割合が13.0%となっています。

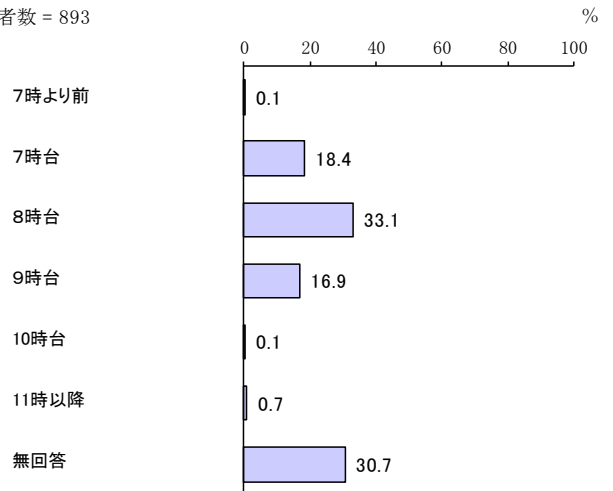
回答者数 = 893



(ウ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が33.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が18.4%、「9時台」の割合が16.9%となっています。

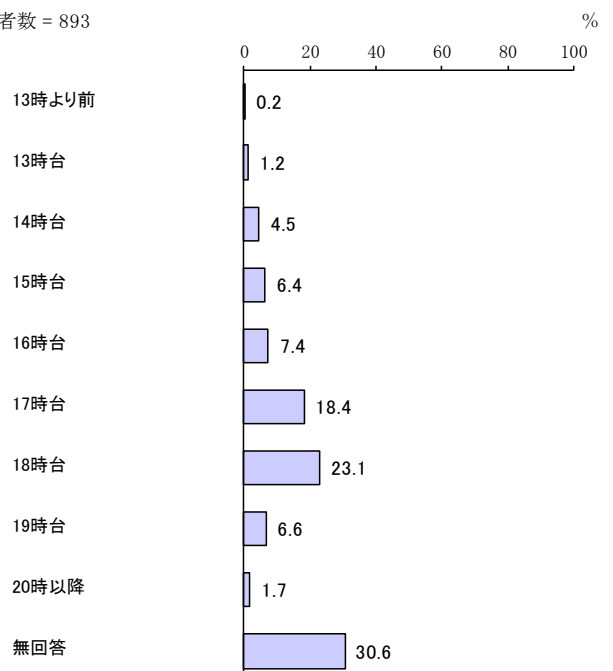
回答者数 = 893



(エ) 利用終了時刻

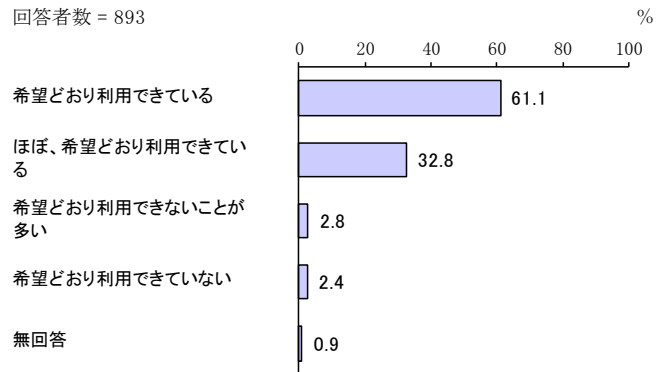
「18時台」の割合が23.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 893



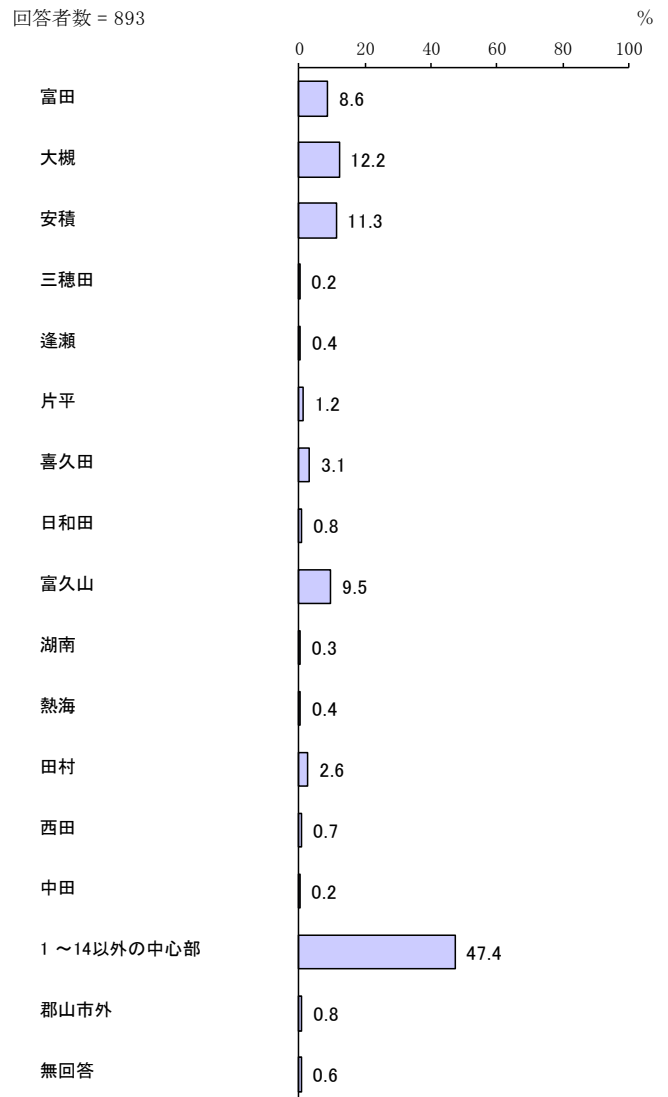
問 21 問 19 の(1)で①～⑫のいずれかを選んだ方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業は、施設の場所や利用時間について希望どおり利用できていますか。(あてはまる番号1つに○)

「希望どおり利用できている」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「ほぼ、希望どおり利用できている」の割合が 32.8%となっています。



問 22 問 19 の(1)で①～⑫のいずれかを選んだ方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の地区はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

「1～14 以外の中心部」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「大槻」の割合が 12.2%、「安積」の割合が 11.3%となっています。



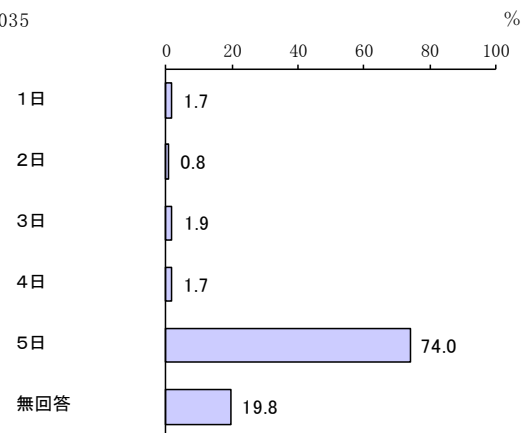
問 23 問 19 の(2)または(3)で①～⑫のいずれかを選んだ方にうかがいます。選んだ教育・保育事業を、今後どのくらい利用したいですか。

ア 希望

(ア) 1 週あたり利用日数

「5 日」の割合が 74.0%と最も高くなっています。

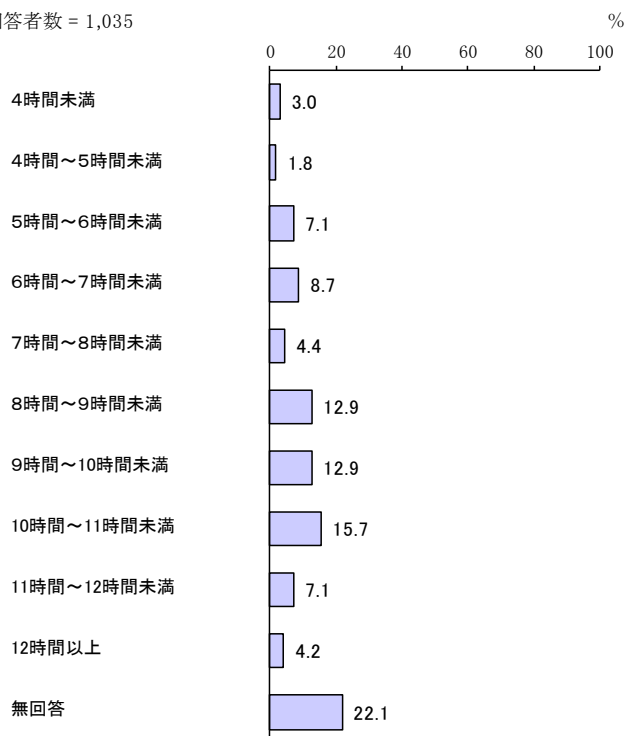
回答者数 = 1,035



(イ) 1 日あたり利用時間

「5 時間～6 時間未満」の割合が 7.1%と最も高くなっています。

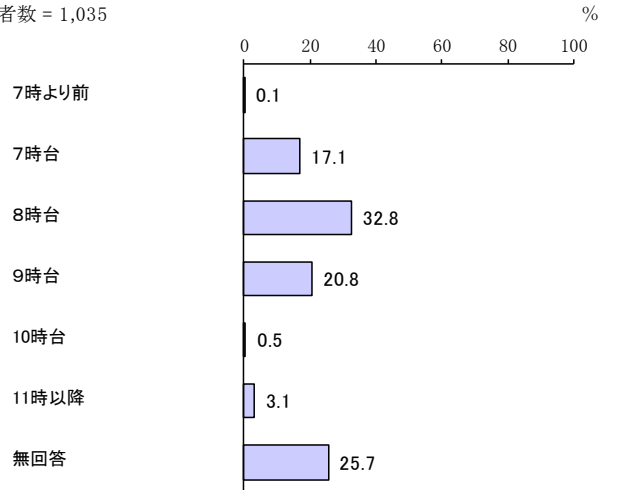
回答者数 = 1,035



(ウ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が32.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.8%、「7時台」の割合が17.1%となっています。

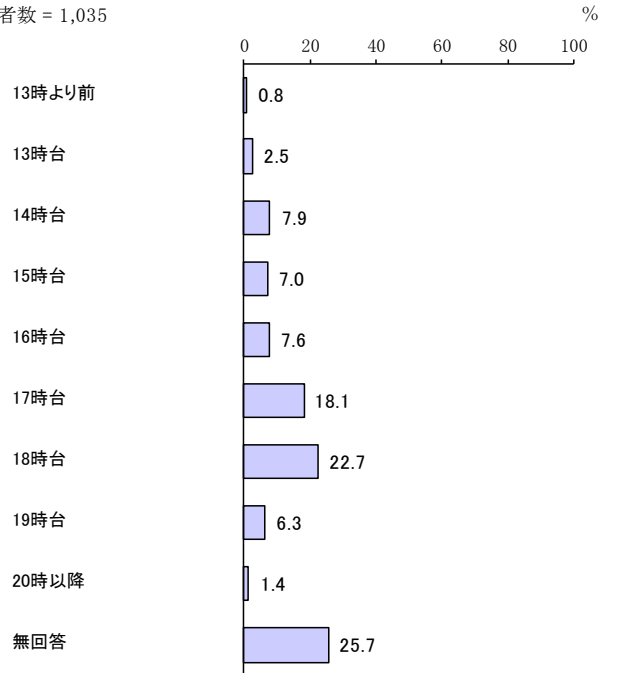
回答者数 = 1,035



(エ) 利用終了時刻

「18時台」の割合が22.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が18.1%となっています。

回答者数 = 1,035



問 24 問 19 の(2)または(3)で①～⑫のいずれかを選んだ方にうかがいます。選んだ教育・保育事業を利用したい地区はどこですか。また、その地区を選んだ理由は何ですか。以下の選択肢から選び、第1希望から第5希望までご記入ください。

ア 第1希望

(ア) 地区

「1～14以外の中心部」の割合が34.4%と最も高く、次いで「安積」の割合が10.9%、「富田」の割合が10.0%となっています。

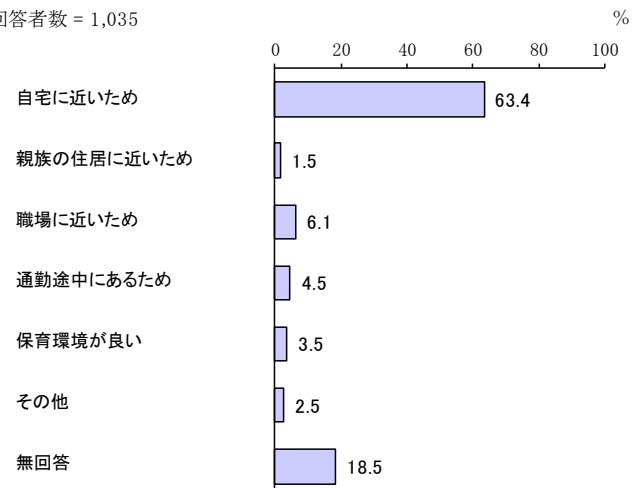
回答者数 = 1,035



(イ) 理由

「自宅に近い」の割合が63.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,035

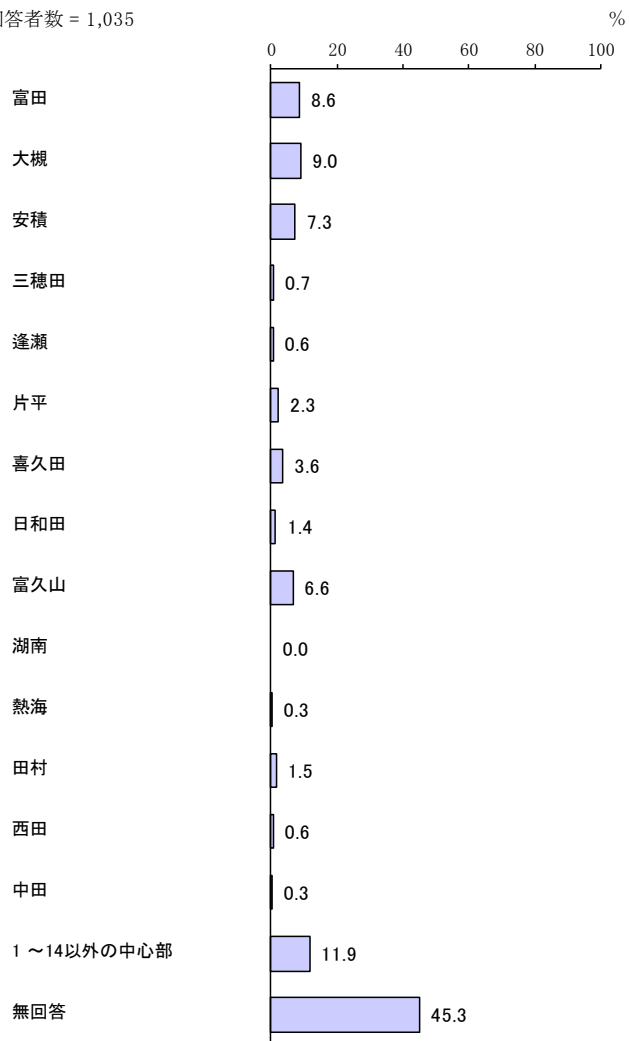


イ 第2希望

(ア) 地区

「1～14以外の中心部」の割合が11.9%と最も高くなっています。

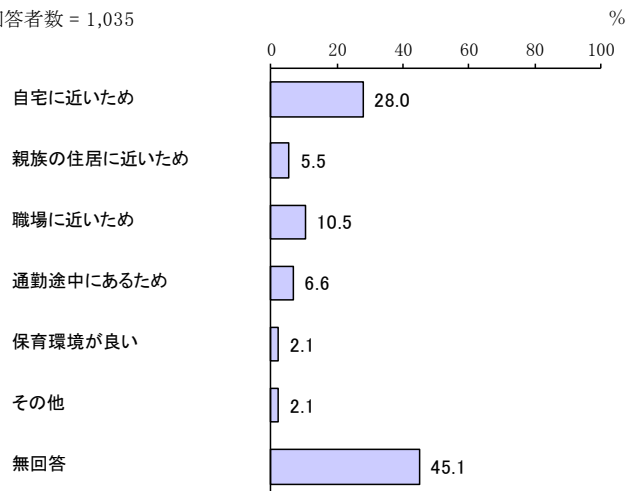
回答者数 = 1,035



(イ) 理由

「自宅に近い」の割合が28.0%と最も高く、次いで「職場に近い」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 1,035

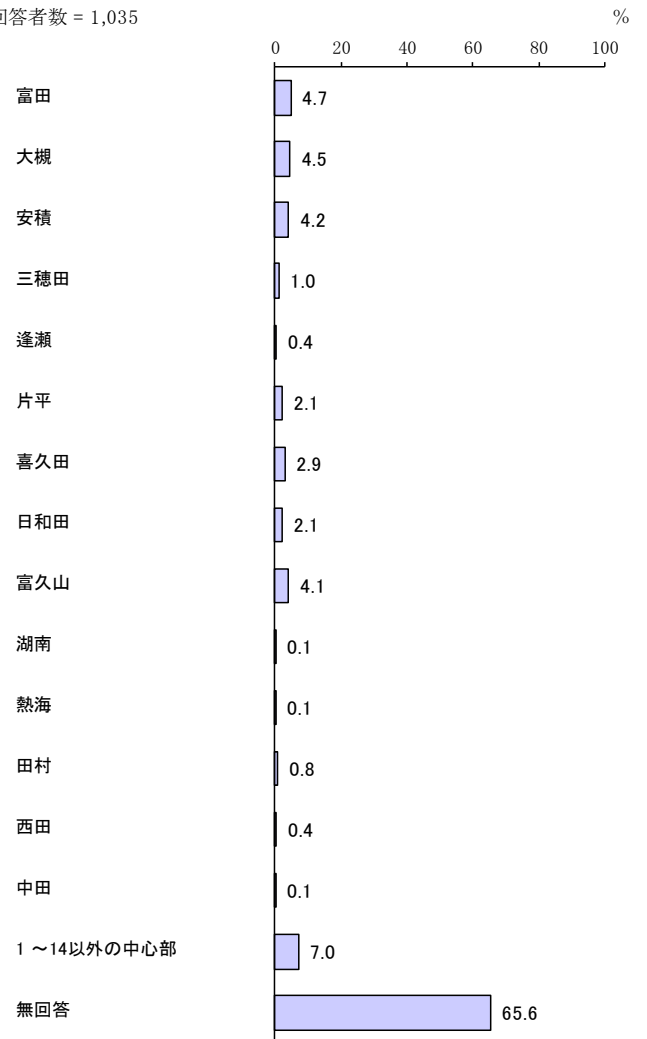


ウ 第3希望

(ア) 地区

「1～14 以外の中心部」の割合が 7.0%と最も高くなっています。

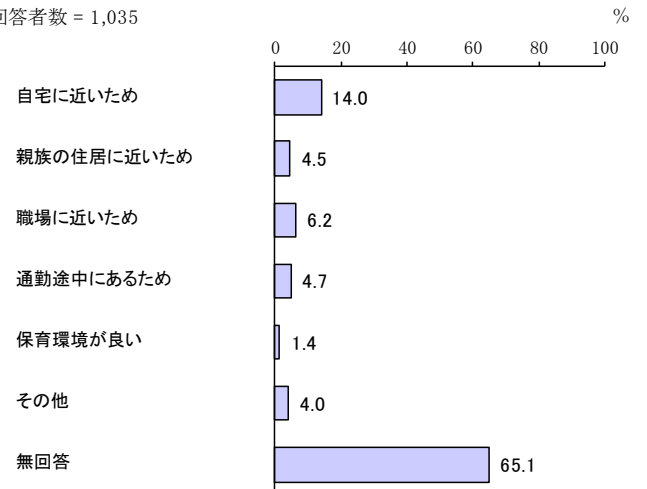
回答者数 = 1,035



(イ) 理由

「自宅に近い」の割合が 14.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,035

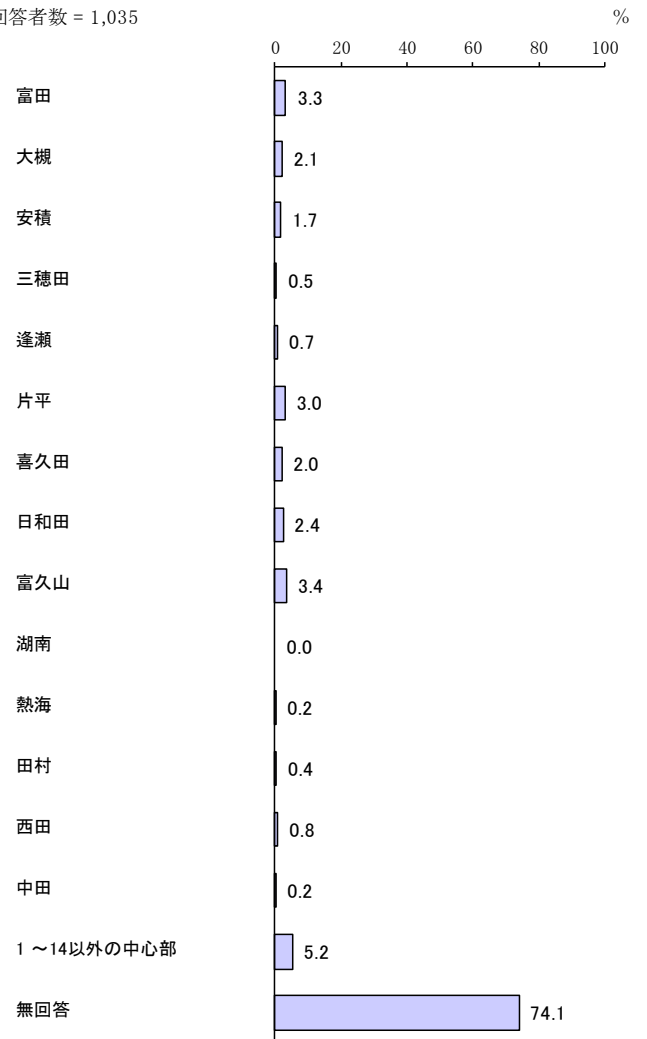


エ 第4希望

(ア) 地区

「1～14 以外の中心部」の割合が 5.2%と最も高くなっています。

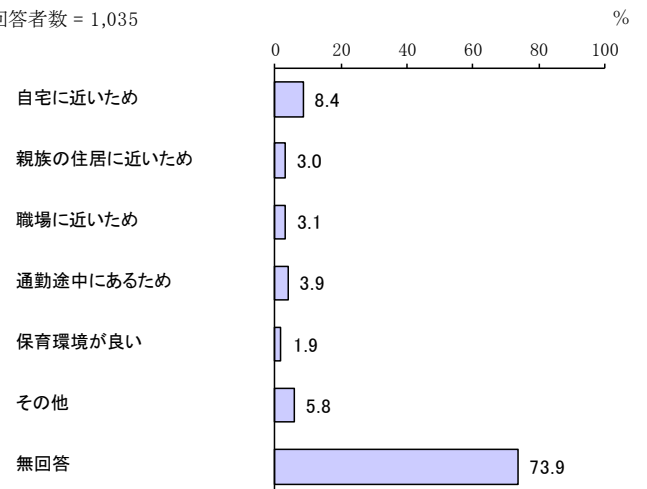
回答者数 = 1,035



(イ) 理由

「自宅に近い」の割合が 8.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,035

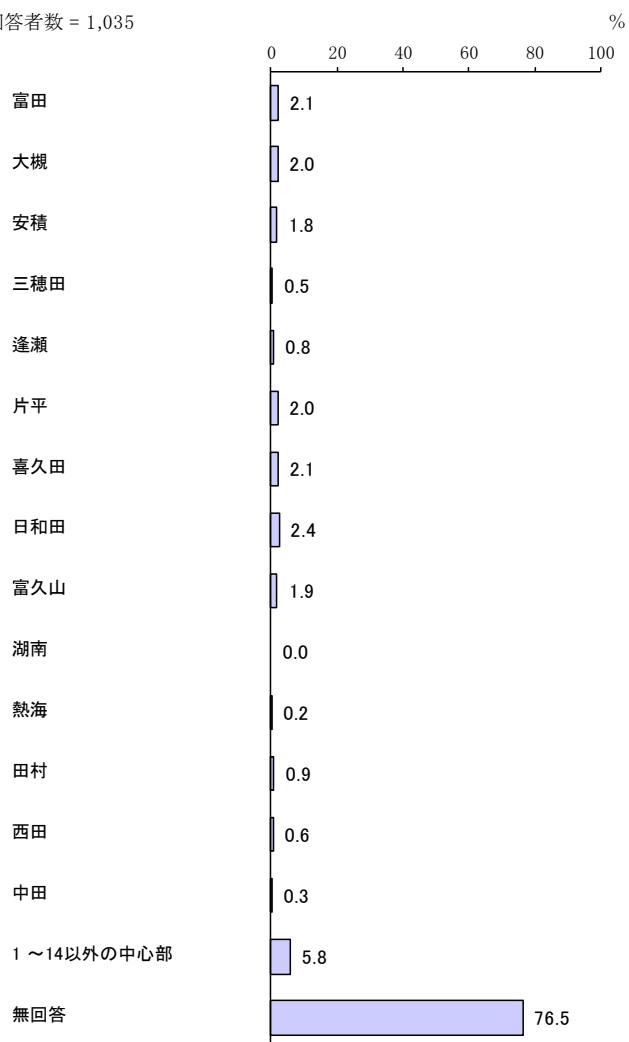


オ 第5希望

(ア) 地区

「1～14 以外の中心部」の割合が 5.8%と最も高くなっています。

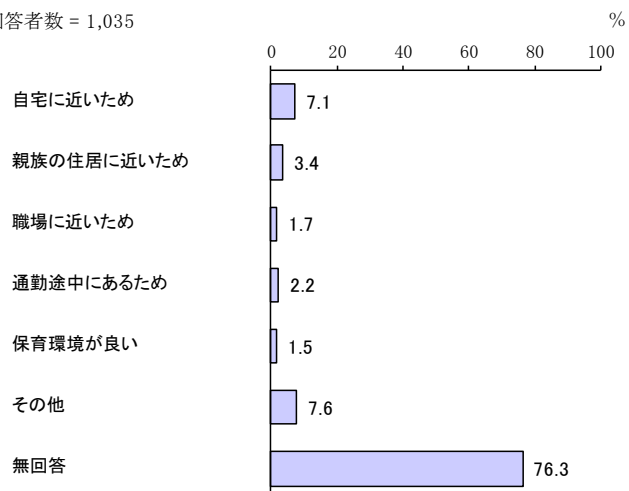
回答者数 = 1,035



(イ) 理由

「自宅に近いため」の割合が 7.1%と最も高くなっています。

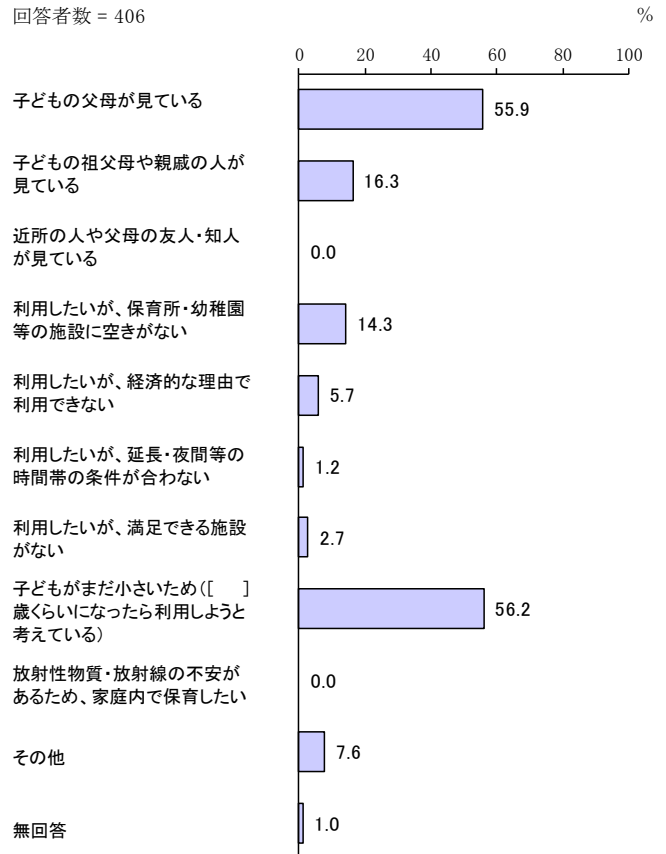
回答者数 = 1,035



問 25 問 19 の(1)で⑬を選んだ方にうかがいます。現在、利用していない理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入)

「子どもがまだ小さいため([]歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「子どもの父母が見ている」の割合が 55.9%、「子どもの祖父母や親戚の人が見ている」の割合が 16.3%となっています。

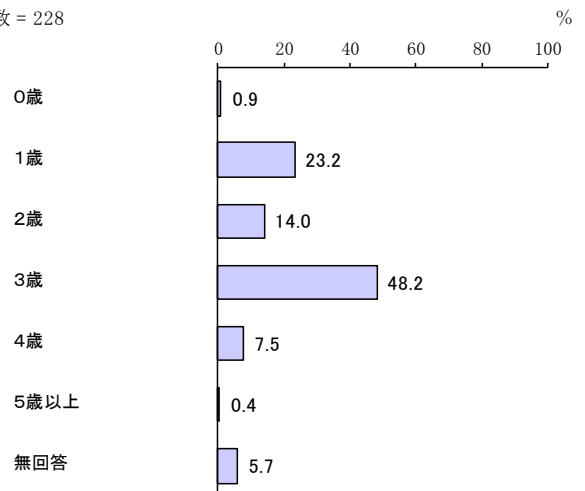
回答者数 = 406



子どもがまだ小さいため([]歳くらいになったら利用しようと考えている)

「3歳」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 23.2%、「2歳」の割合が 14.0%となっています。

回答者数 = 228

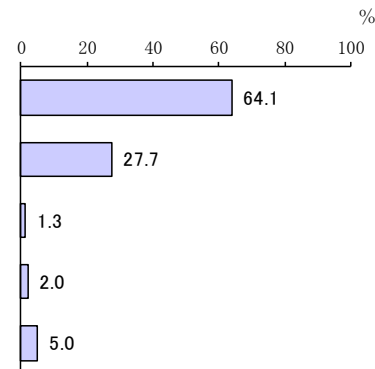


問 26 小学校入学前の教育は必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

「幼稚園で、希望する教育内容を受けさせたい」の割合が64.1%と最も高く、次いで「保育所での養護・教育の保育内容を受けさせたい」の割合が27.7%となっています。

回答者数 = 1,428

幼稚園で、希望する教育内容を受けさせたい
 保育所での養護・教育の保育内容を受けさせたい
 小学校入学前の教育は不要
 その他
 無回答



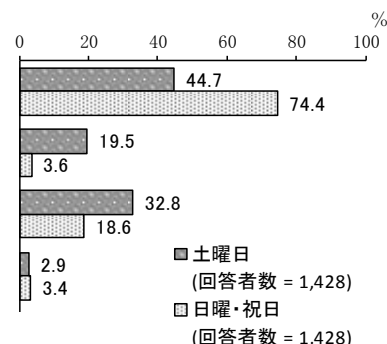
(7) 土曜や休日、長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望について

問 27 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。「2」または「3」を選ぶ方は、利用したい時間帯もご記入ください。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が32.8%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が19.5%となっています。

日曜、祝日では、「利用する必要はない」の割合が74.4%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が18.6%となっています。

利用する必要はない
 ほぼ毎週利用したい
 月に1~2回は利用したい
 無回答

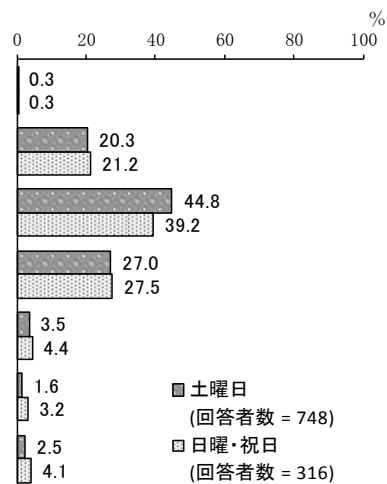


(ア) 利用開始時間

土曜日では、「8時台」の割合が44.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.0%、「7時台」の割合が20.3%となっています。

日曜、祝日では、「8時台」の割合が39.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.5%、「7時台」の割合が21.2%となっています。

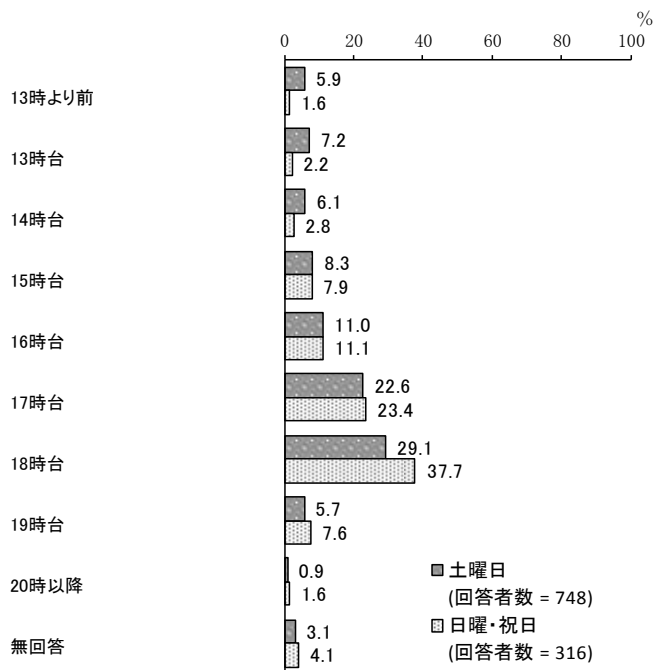
7時より前
 7時台
 8時台
 9時台
 10時台
 11時以降
 無回答



(イ) 利用終了時間

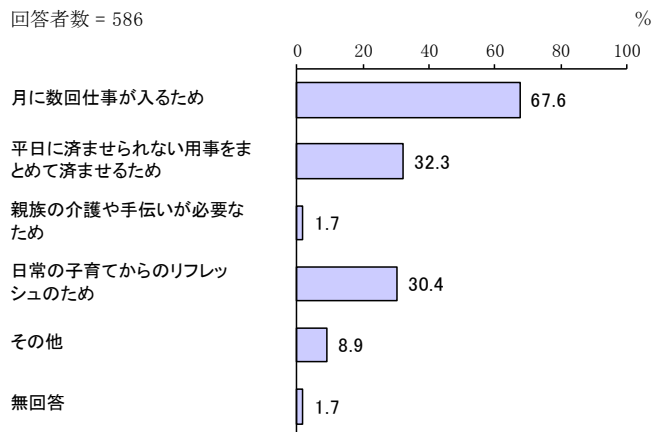
土曜日では、「18 時台」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.6%、「16 時台」の割合が 11.0%となっています。

日曜、祝日では、「18 時台」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.4%、「16 時台」の割合が 11.1%となっています。



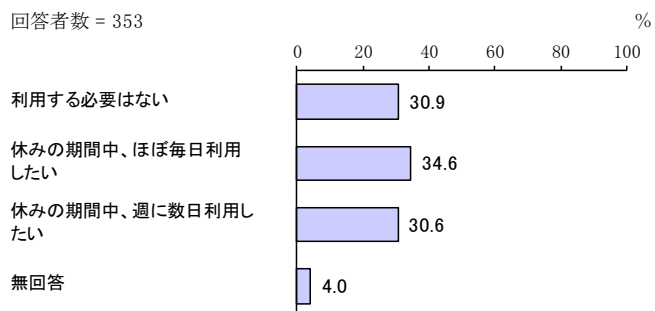
問 28 問 27 の(1)、(2)のいずれかで「3」を選んだ方にうかがいます。その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

「月に数回仕事が入るため」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 32.3%、「日常の子育てからのリフレッシュのため」の割合が 30.4%となっています。



問 29 あて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。幼稚園の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に、教育・保育事業の利用を希望しますか。「2」または「3」を選ぶ方は、利用したい時間帯もご記入ください。

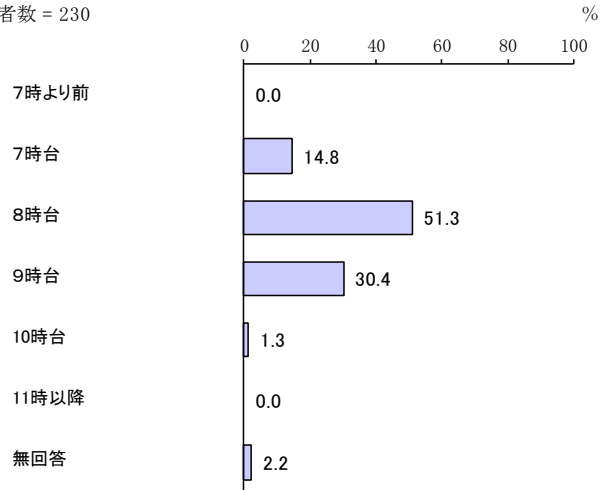
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 30.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 30.6%となっています。



(ア) 利用開始時間

「8時台」の割合が51.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.4%、「7時台」の割合が14.8%となっています。

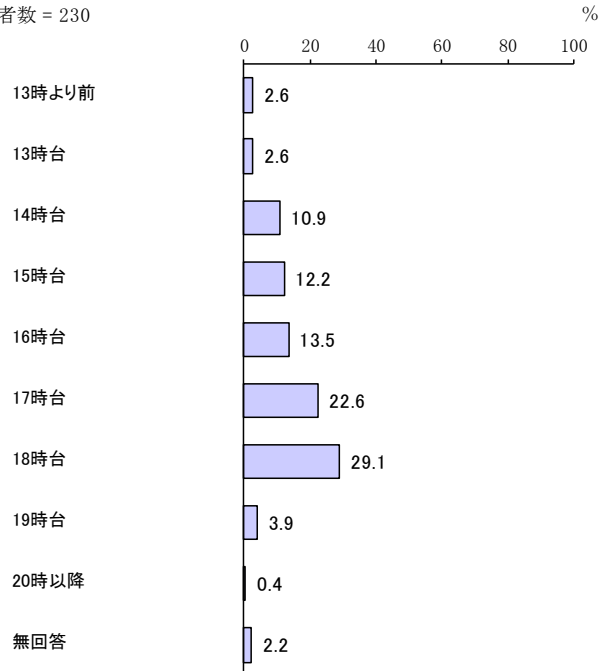
回答者数 = 230



(イ) 利用終了時間

「18時台」の割合が29.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.6%、「16時台」の割合が13.5%となっています。

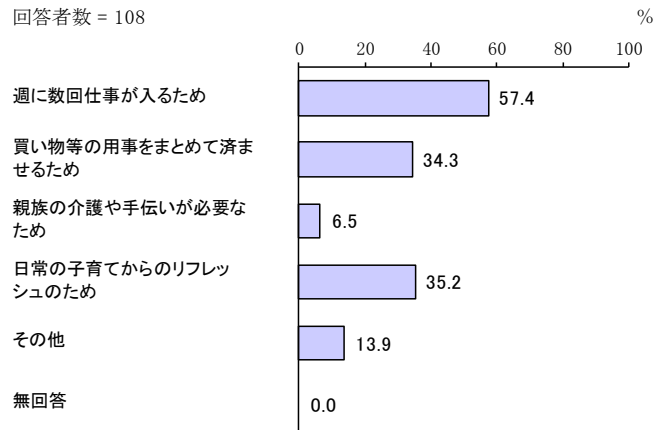
回答者数 = 230



問30 問29で「3」を選んだ方にうかがいます。その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

「週に数回仕事が入るため」の割合が57.4%と最も高く、次いで「日常の子育てからのリフレッシュのため」の割合が35.2%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が34.3%となっています。

回答者数 = 108

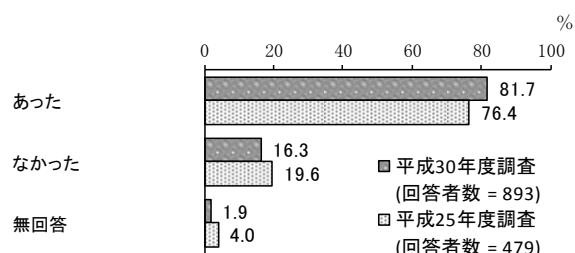


(8) 病気の際の対応について

問 31 問 19 の(1)で①～⑫のいずれかを選んだ方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことはありましたか。(あてはまる番号1つに○)

「あった」の割合が81.7%、「なかった」の割合が16.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別別でみると、他に比べ、0歳～2歳で「あった」の割合が、5歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
0歳	93	86.0	11.8	2.2
1歳	129	87.6	10.9	1.6
2歳	147	88.4	9.5	2.0
3歳	175	81.7	17.7	0.6
4歳	178	78.7	19.7	1.7
5歳	149	70.5	26.2	3.4

【母親の就労状況別】

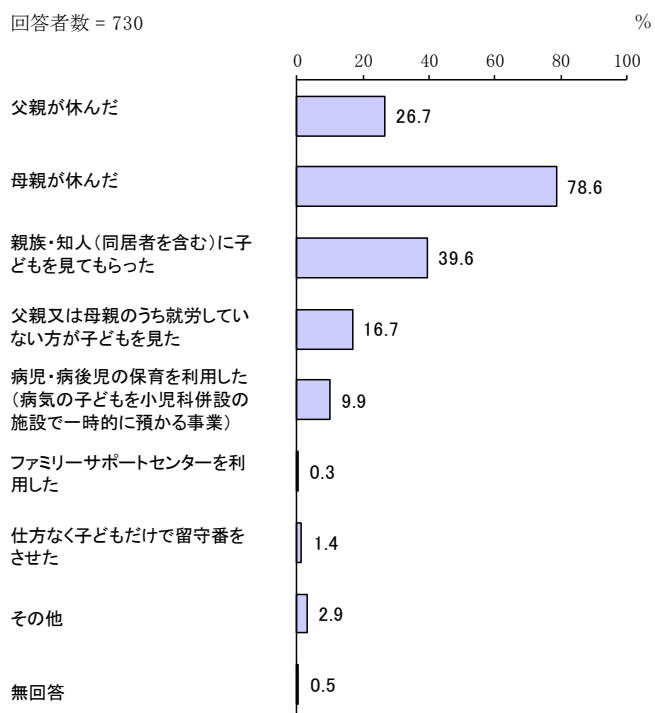
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムだが、産休・育休・介護休業中で「あった」の割合が、パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労中	442	87.1	11.8	1.1
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	28	92.9	7.1	—
パート・アルバイト等で就労中	251	78.5	19.1	2.4
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	3	33.3	66.7	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	131	69.5	26.7	3.8
これまで就労したことがない	7	85.7	14.3	—

問 32 問 31 で「1」を選んだ方にうかがいます。その時、どのような対処を、何日行いましたか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてお答えください。

「母親が休んだ」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった」の割合が 39.6%、「父親が休んだ」の割合が 26.7%となっています。



1年間の対処方法

1年間の対処方法では、他に比べ、7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせたで「1日」の割合が、1. 父親が休んだで「2日」の割合が高くなっています。また、2. 母親が休んだ、4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみただ「6日～10日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
1. 父親が休んだ	195	25.6	25.1	14.9	2.1	17.4	9.7	3.1	-	2.1
2. 母親が休んだ	574	11.0	13.9	13.6	4.4	15.2	25.8	9.9	4.4	1.9
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	289	13.1	19.7	18.0	3.1	16.6	18.0	8.3	1.4	1.7
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	122	9.8	12.3	14.8	2.5	18.9	26.2	7.4	4.1	4.1
5. 病児・病後児の保育を利用した(病気の子どもを小児科併設の施設で一時的に預かる事業)	72	15.3	20.8	13.9	4.2	15.3	20.8	4.2	2.8	2.8
6. ファミリーサポートセンターを利用した	2	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-
8. その他	21	9.5	14.3	28.6	-	9.5	-	9.5	14.3	14.3

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳、1歳で「母親が休んだ」の割合が、1歳で「親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった」の割合が高くなっています。また、3歳、4歳で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	病児 病後児の保育を利用した 病気の子どもを小児科併設 の施設で「一時的に預かる事業」	ファミリーサポートセンター を利用した	仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	その他	無回答
0歳	80	33.8	91.3	31.3	6.3	18.8	—	—	5.0	—
1歳	113	36.3	90.3	50.4	7.1	11.5	—	—	1.8	1.8
2歳	130	32.3	82.3	45.4	16.2	13.1	1.5	1.5	2.3	0.8
3歳	143	25.2	72.7	36.4	23.8	7.7	—	0.7	1.4	0.7
4歳	140	15.0	70.0	35.7	24.3	5.7	—	4.3	5.0	—
5歳	105	20.0	68.6	38.1	16.2	7.6	—	1.0	1.9	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムだが、産休・育休・介護休業中で「母親が休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が高くなっています。

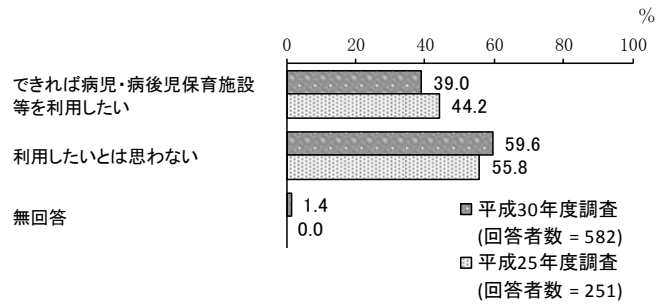
単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	病児 病後児の保育を利用した 病気の子どもを小児科併設 の施設で「一時的に預かる事業」	ファミリーサポートセンター を利用した	仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労中	385	36.1	89.6	50.1	5.7	12.2	0.5	1.3	2.6	0.5
フルタイムだが、 産休・育休・介護 休業中	26	53.8	100.0	46.2	3.8	7.7	—	3.8	—	—
パート・アルバイト 等で就労中	197	14.2	87.8	35.0	8.6	7.1	—	1.5	3.6	—
パート・アルバイト 等だが、産休・育 休・介護休業中	1	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、 現在は就労していない	91	6.6	15.4	7.7	78.0	3.3	—	—	2.2	2.2
これまで就労した ことがない	6	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

問 33 問 32 で「1」、「2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。「1」を選ぶ場合、希望する日数もご記入ください。

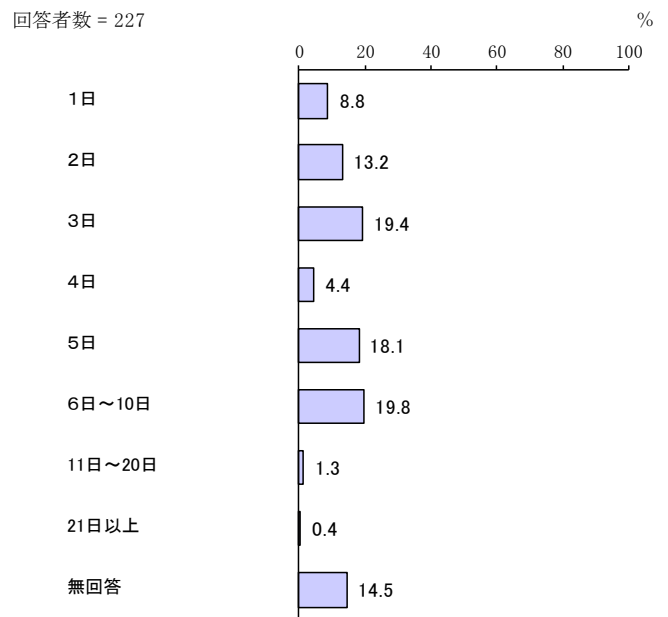
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 39.0%、「利用したいとは思わない」の割合が 59.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



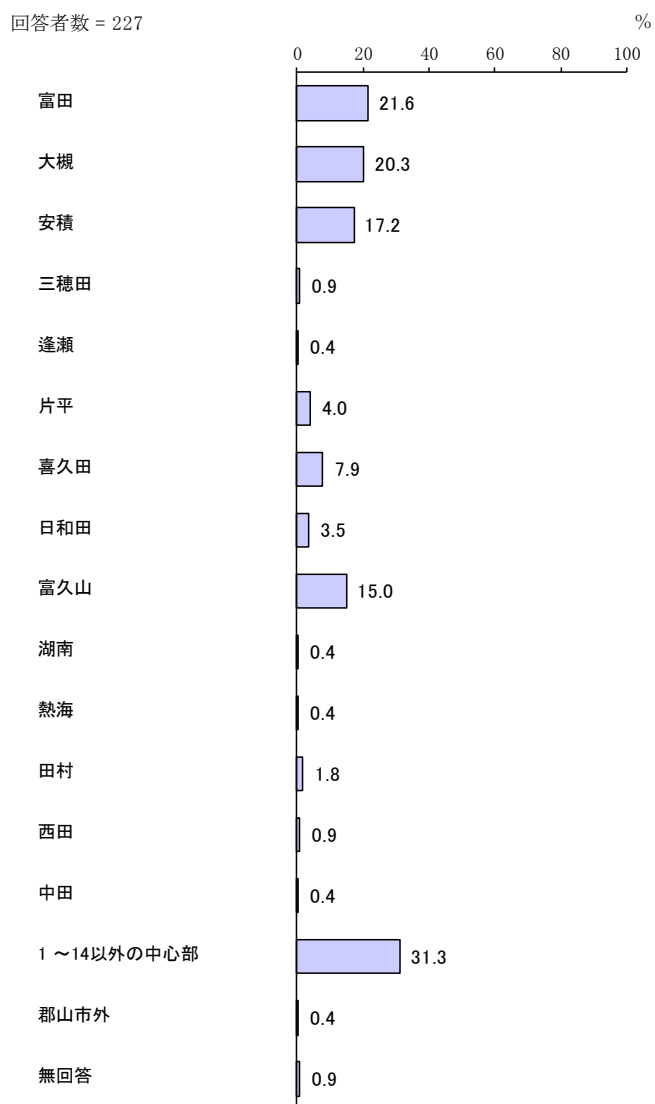
病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「6日～10日」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が 19.4%、「5日」の割合が 18.1%となっています。



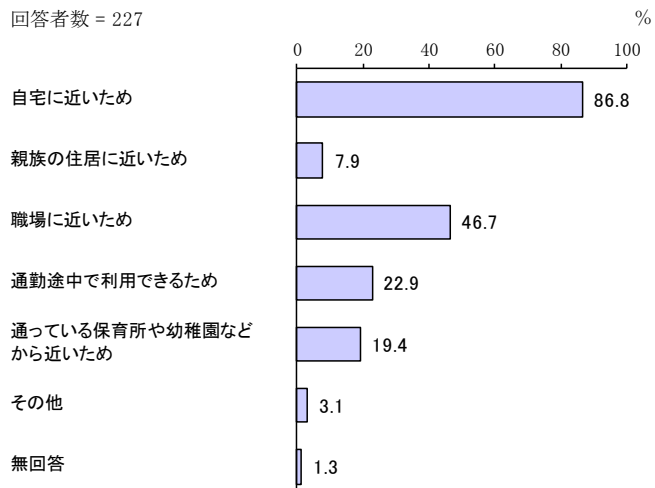
問 34 問 33 で「1」を選んだ方にうかがいます。病児・病後児保育施設等について、利用したい地区はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

「1～14 以外の中心部」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「富田」の割合が 21.6%、「大槻」の割合が 20.3%となっています。



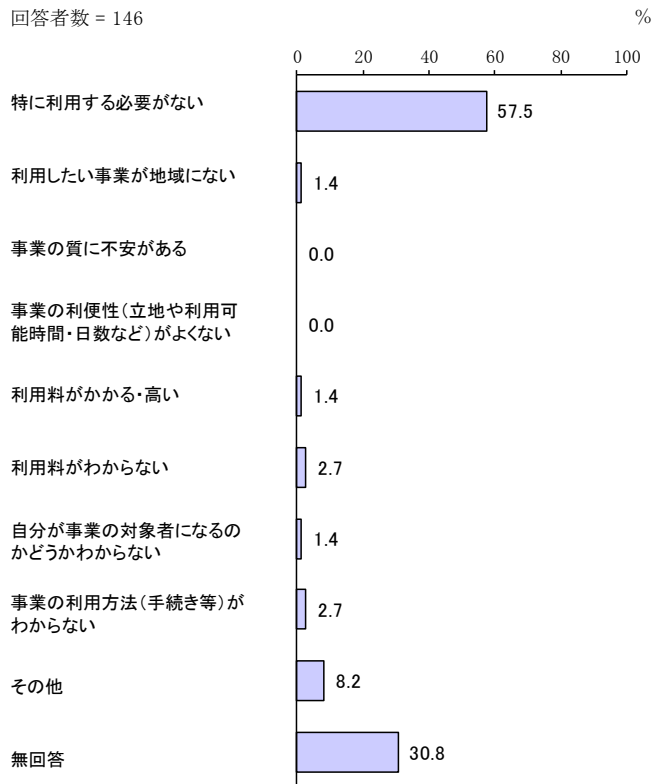
問 35 問 34 で回答した地区を選んだ理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「自宅に近い」の割合が 86.8%と最も高く、次いで「職場に近い」の割合が 46.7%、「通勤途中で利用できる」の割合が 22.9%となっています。



問 36 問 31 で「2」を選んだ方にうかがいます。その理由はなんですか。
(あてはまる番号すべてに○)

「特に利用する必要がない」の割合が 57.5%と最も高くなっています。

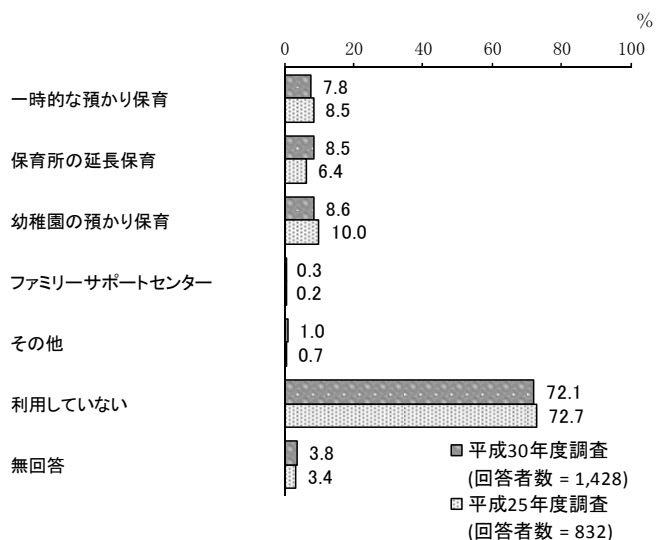


(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況について

問 37 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期的に利用している事業はありますか(子どもや保護者の病気は除きます)。また、あてはまる番号それぞれについて、1年間のおおよその利用日数はどのくらいですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。(あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入)

「利用していない」の割合が 72.1%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用している事業の年間日数

利用している事業の年間日数をみると、他に比べ、1. 一時的な預かり保育所、3. 幼稚園の預かり保育で「21日以上」の割合が高くなっています。

単位：％

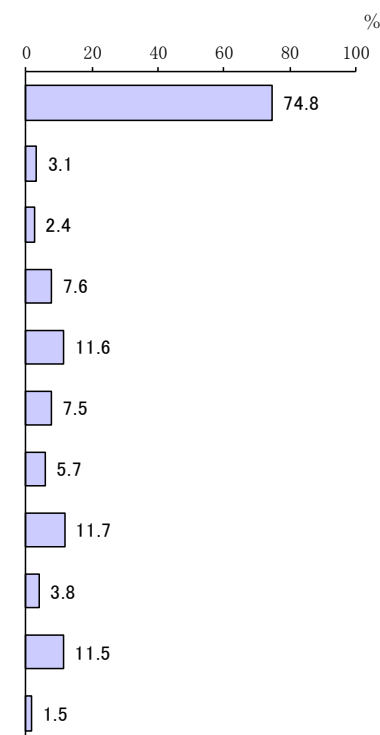
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 以上	無回答
1. 一時的な預かり保育所	111	13.5	11.7	13.5	2.7	7.2	18.9	9.0	21.6	1.8
2. 保育所の延長保育	121	7.4	12.4	12.4	4.1	15.7	19.0	8.3	18.2	2.5
3. 幼稚園の預かり保育	123	6.5	12.2	8.9	0.8	16.3	14.6	14.6	22.0	4.1
4. ファミリーサポートセンター	4	25.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0
5. その他	14	-	7.1	21.4	-	21.4	21.4	7.1	7.1	14.3

問38 問37で「6」を選んだ方にうかがいます。その理由はなんですか。
(あてはまる番号すべてに○)

「特に利用する必要がない」の割合が74.8%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が11.7%、「利用料がかかる・高い」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 1,030

特に利用する必要がない
利用したい事業が地域にない
地域の事業の質に不安がある
利便性(立地や利用可能時間、日数)がよくない
利用料がかかる・高い
利用料がわからない
自分が事業の対象者になるの
かどうかわからない
事業の利用方法(手続き等)が
わからない
事業自体あることを知らない
その他
無回答

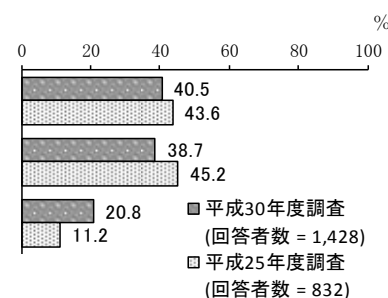


問39 あて名のお子さんについて、問37にある不定期に利用する事業の利用希望についてお答えください。

「利用したい」の割合が40.5%、「利用する必要はない」の割合が38.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

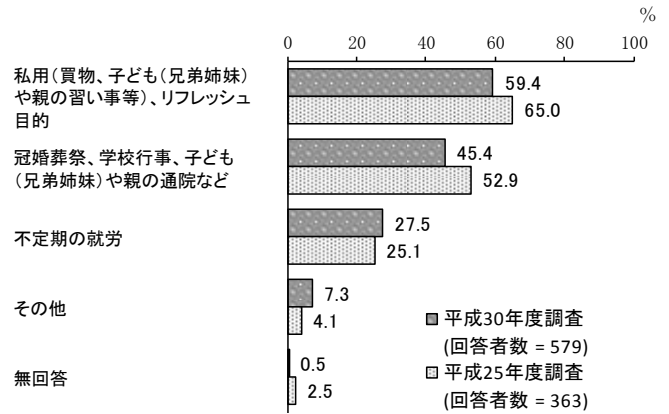
利用したい
利用する必要はない
無回答



利用したい

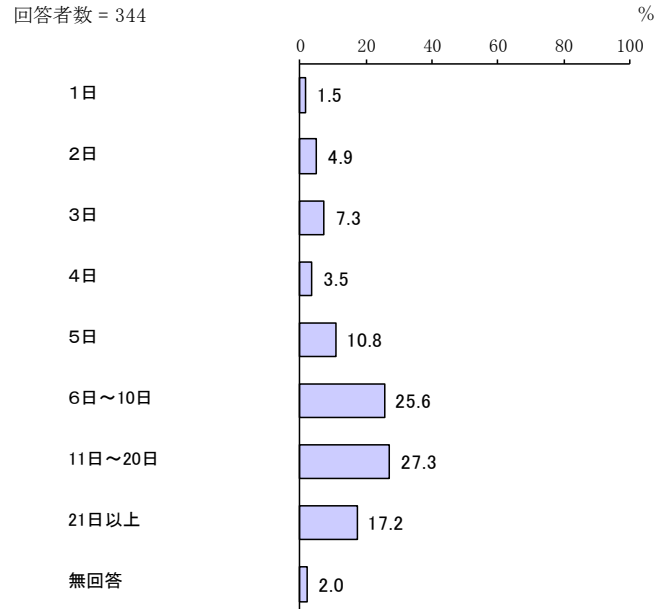
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が59.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院など」の割合が45.4%、「不特定の就労」の割合が27.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院など」の割合が減少しています。



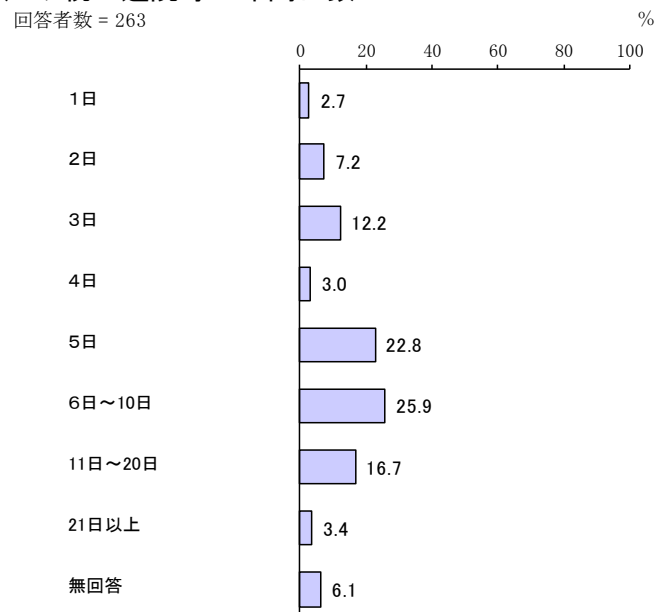
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）年間日数

「11日～20日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が25.6%、「21日以上」の割合が17.2%となっています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 年間日数

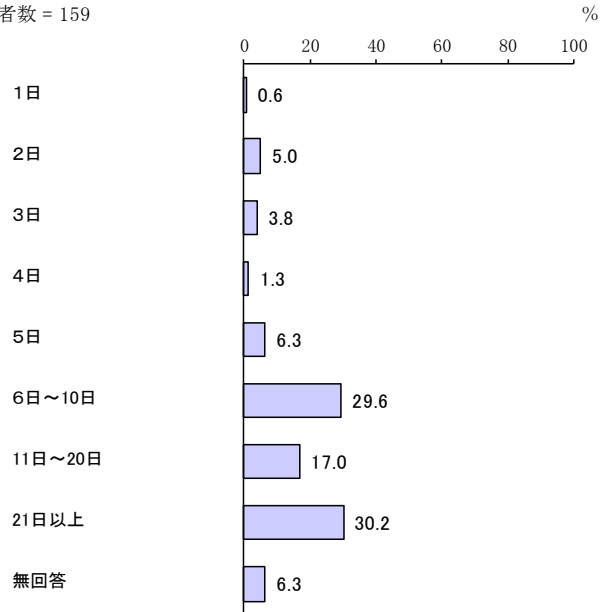
「6日～10日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「5日」の割合が22.8%、「11日～20日」の割合が16.7%となっています。



ウ 不定期の就労 年間日数

「21 日以上」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「6 日～10 日」の割合が 29.6%、「11 日～20 日」の割合が 17.0%となっています。

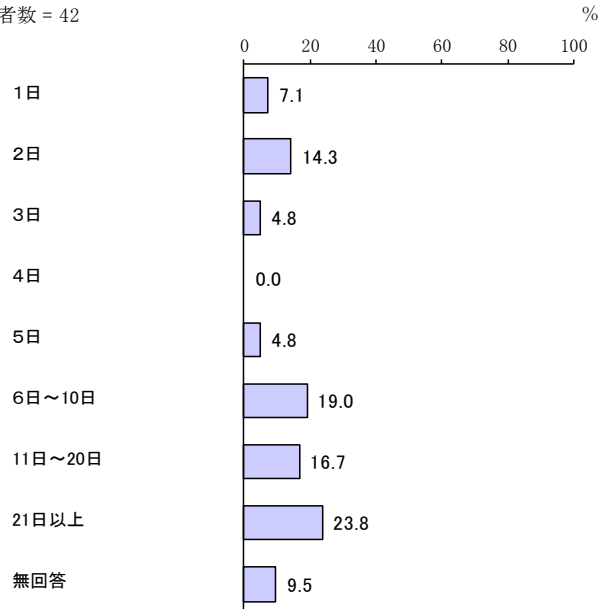
回答者数 = 159



エ その他 年間日数

「21 日以上」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「6 日～10 日」の割合が 19.0%、「11 日～20 日」の割合が 16.7%となっています。

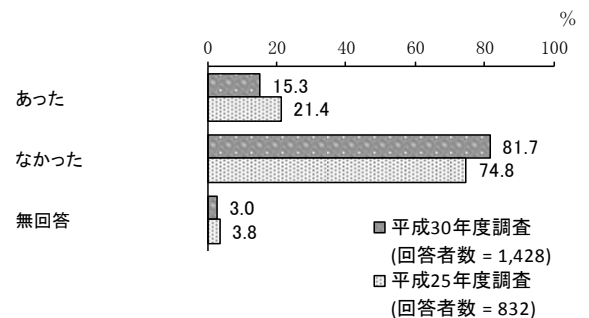
回答者数 = 42



問 40 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことはありましたか。あった場合には、対処方法ごとの年間の宿泊数もご記入ください。（預け先が見つからなかった場合も含みます）（あてはまる番号・記号すべてに○、[]内は数字を記入）

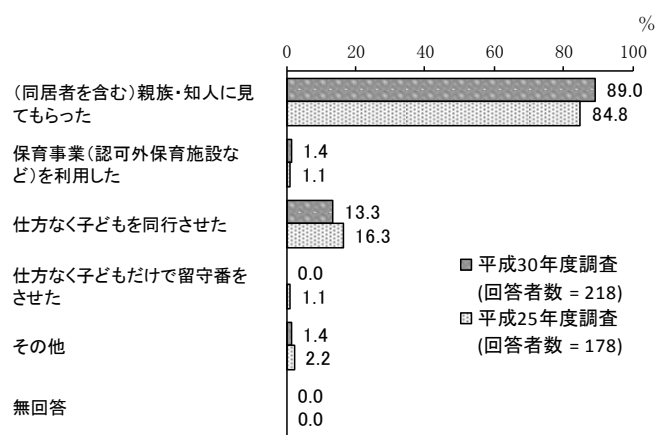
「あった」の割合が 15.3%、「なかった」の割合が 81.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。一方、「あった」の割合が減少しています。



「(同居者を含む) 親族・知人に見てもらった」の割合が 89.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合 13.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 年間の対処方法

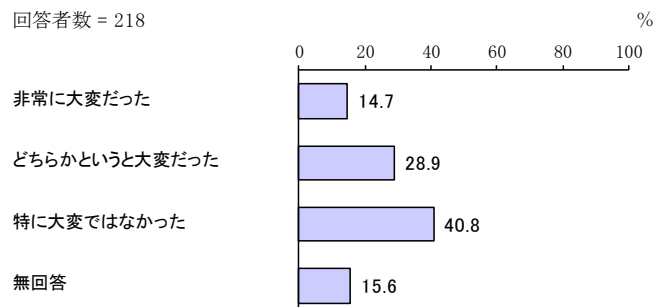
1 年間の対処方法をみると、他に比べ、ア (同居者を含む) 親族・知人に見てもらったで「1泊」の割合が、ウ. 仕方なく子どもを同行させたで「2泊」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
ア. (同居者を含む)親族・知人に見てもらった	194	26.3	16.5	13.4	5.7	10.3	14.4	6.2	4.1	3.1
イ. 保育事業(認可外保育施設など)を利用した	3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-
ウ. 仕方なく子どもを同行させた	29	13.8	34.5	31.0	-	6.9	6.9	-	-	6.9
エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オ. その他	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-

問 41 問 40 で「1」の「ア」を選んだ方にうかがいます。お子さんを泊りがけで預けることをお願いすることは大変でしたか。(あてはまる番号 1 つに○)

「特に大変ではなかった」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「どちらかという大変だった」の割合が 28.9%、「非常に大変だった」の割合が 14.7%となっています。

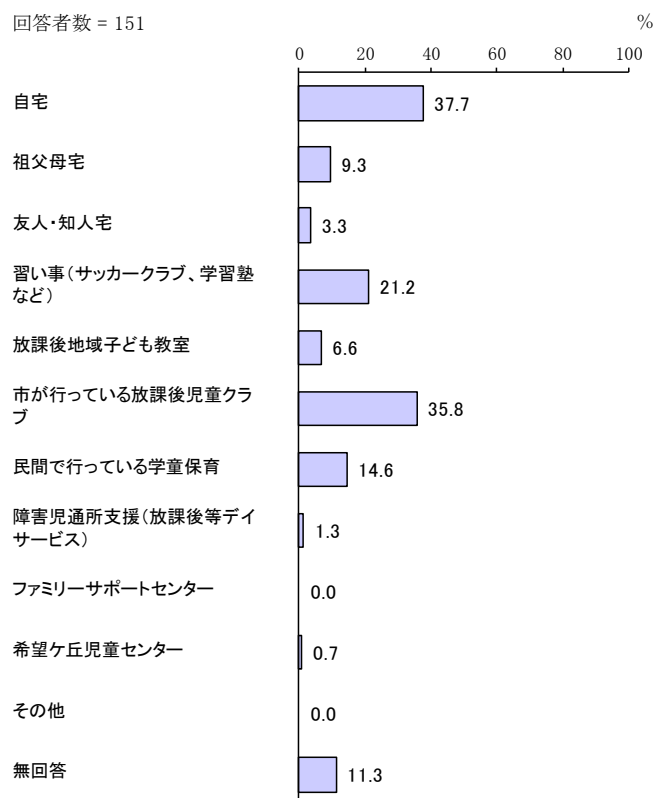


(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 42 あて名のお子さんが5歳以上の方にうかがいます。お子さんが小学校に入学し、低学年（1～3年生）の時、高学年（4～6年生）になった時のそれぞれの時期に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する日数（「5」、「6」、「7」）を選ぶ方は利用希望時間も）をご記入ください。（あてはまる項目すべてに○、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

ア 低学年

「自宅」の割合が37.7%と最も高く、次いで「市が行っている放課後児童クラブ」の割合が35.8%、「習い事（サッカークラブ、学習塾など）」の割合が21.2%となっています。



低学年の放課後の居場所

低学年の放課後の居場所をみると、他に比べ、⑦民間で行っている学童保育で「5日」の割合が、④習い事（サッカークラブ、学習塾など）で「1日」「2日」の割合が高くなっています。

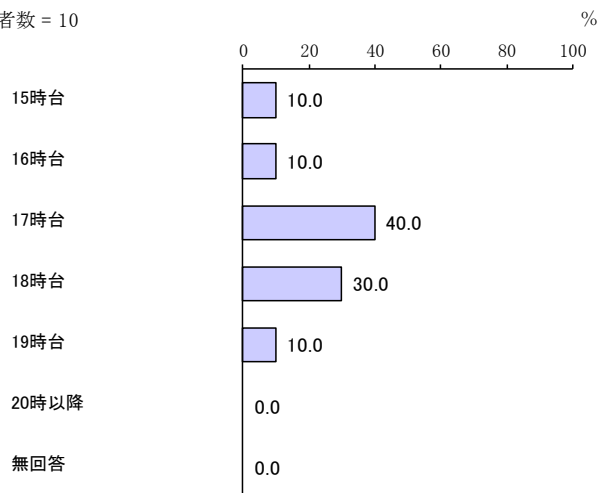
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
①自宅	57	5.3	14.0	12.3	1.8	59.6	7.0
②祖父母宅	14	-	14.3	-	7.1	71.4	7.1
③友人・知人宅	5	60.0	20.0	20.0	-	-	-
④習い事(サッカークラブ、学習塾など)	32	34.4	34.4	15.6	9.4	6.3	-
⑤放課後地域子ども教室	10	20.0	20.0	20.0	-	30.0	10.0
⑥市が行っている放課後児童クラブ	54	-	5.6	11.1	5.6	75.9	1.9
⑦民間で行っている学童保育	22	-	-	9.1	4.5	81.8	4.5
⑧障害児通所支援(放課後等デイサービス)	2	-	-	100.0	-	-	-
⑨ファミリーサポートセンター	-	-	-	-	-	-	-
⑩希望ヶ丘児童センター	1	-	-	-	-	100.0	-
⑪その他	0	-	-	-	-	-	-

(ア) 放課後地域子ども教室 利用終了時刻

「17時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.0%、「15時台」、「16時台」の割合が10.0%となっています。

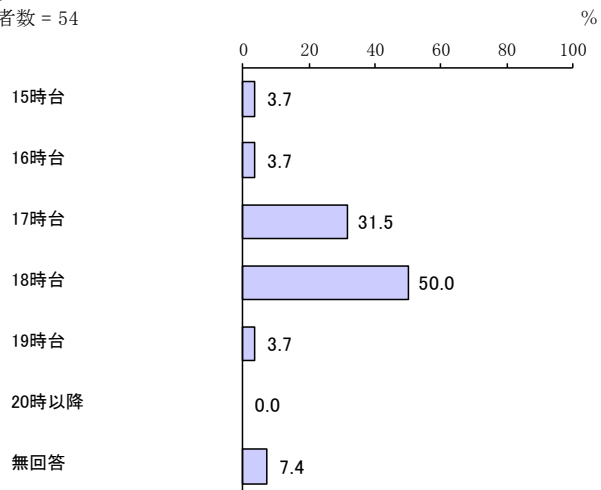
回答者数 = 10



(イ) 市が行っている放課後児童クラブ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 31.5%となっています。

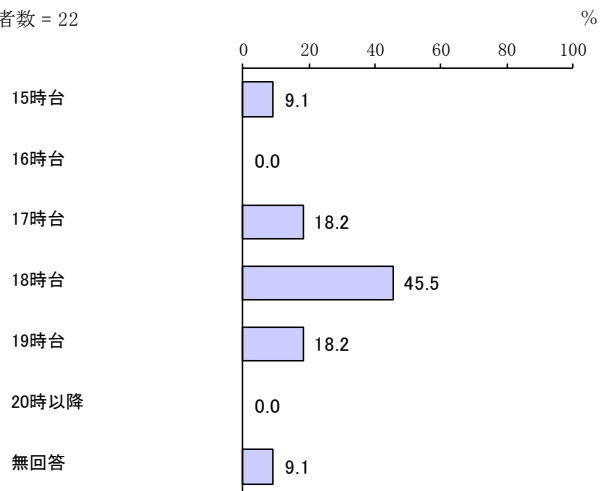
回答者数 = 54



(ウ) 民間で行っている学童保育 利用終了時刻

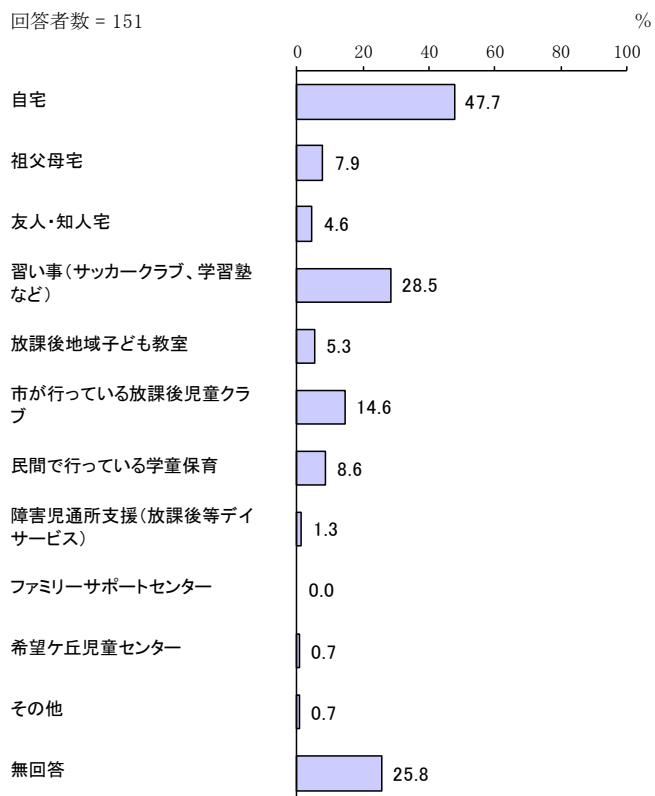
「18 時台」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「17 時台」、「19 時台」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 22



イ 高学年

「自宅」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「習い事(サッカークラブ、学習塾など)」の割合が 28.5%、「市が行っている放課後児童クラブ」の割合が 14.6%となっています。



高学年の放課後の居場所

高学年の放課後の居場所をみると、他に比べ、⑦民間で行っている学童保育で「5日」の割合が、④習い事(サッカークラブ、学習塾など)で「2日」の割合が高くなっています。

単位：%

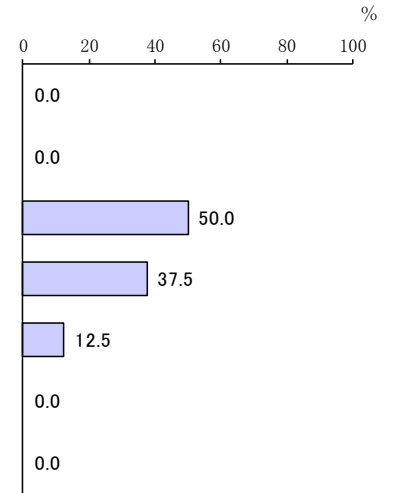
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
①自宅	72	2.8	15.3	16.7	4.2	56.9	4.2
②祖父父母宅	12	8.3	25.0	-	8.3	58.3	-
③友人・知人宅	7	28.6	14.3	42.9	-	-	14.3
④習い事(サッカークラブ、学習塾など)	43	14.0	51.2	16.3	11.6	7.0	-
⑤放課後地域子ども教室	8	12.5	25.0	37.5	-	25.0	-
⑥市が行っている放課後児童クラブ	22	-	4.5	18.2	-	77.3	-
⑦民間で行っている学童保育	13	-	-	15.4	-	84.6	-
⑧障害児通所支援(放課後等デイサービス)	2	-	-	50.0	-	50.0	-
⑨ファミリーサポートセンター	-	-	-	-	-	-	-
⑩希望ヶ丘児童センター	-	-	-	-	-	100.0	-
⑪その他	0	-	-	100.0	-	-	-

(ア) 放課後地域子ども教室 利用終了時刻

「17 時台」が 4 件となっています。「18 時台」が 3 件、「19 時台」が 1 件となっています。

回答者数 = 8

15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時以降
無回答

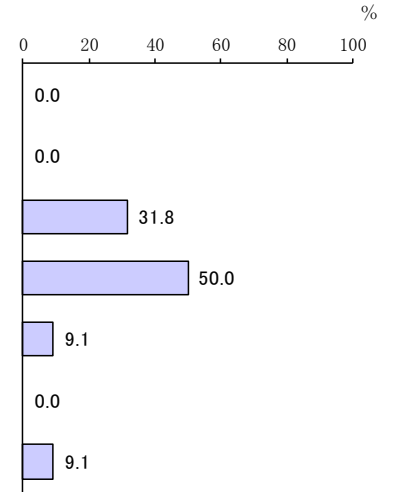


(イ) 市が行っている放課後児童クラブ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 31.8%となっています。

回答者数 = 22

15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時以降
無回答

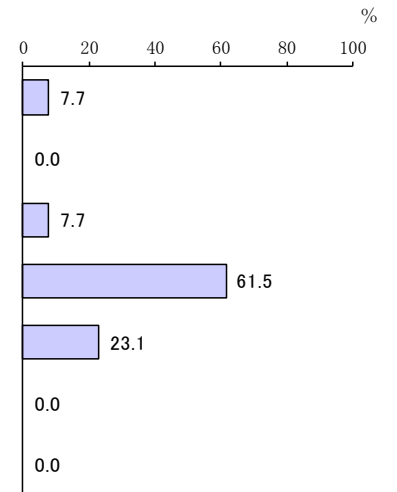


(ウ) 民間で行っている学童保育 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 23.1%となっています。

回答者数 = 13

15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時以降
無回答

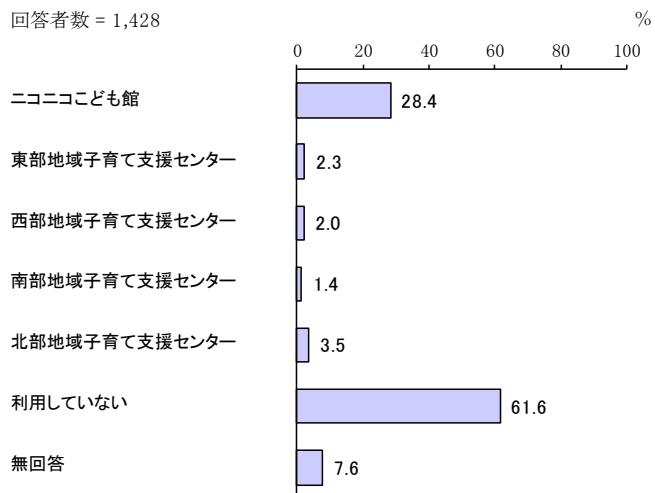


(11) 地域の子育て支援事業の利用状況、利用希望について

問 43 あて名のお子さんは、現在、ニコニコ子ども館及び各地域子育て支援センターをどのくらい利用していますか。また、「6」を選ぶ方は理由もご記入ください。（あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入）

「利用していない」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「ニコニコ子ども館」の割合が 28.4%となっています。

回答者数 = 1,428

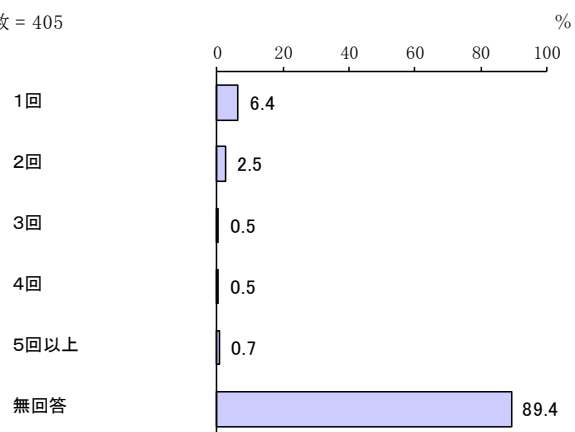


ア ニコニコ子ども館

(ア) 1週当たり利用回数

「1回」の割合が 6.4%と最も高くなっています。

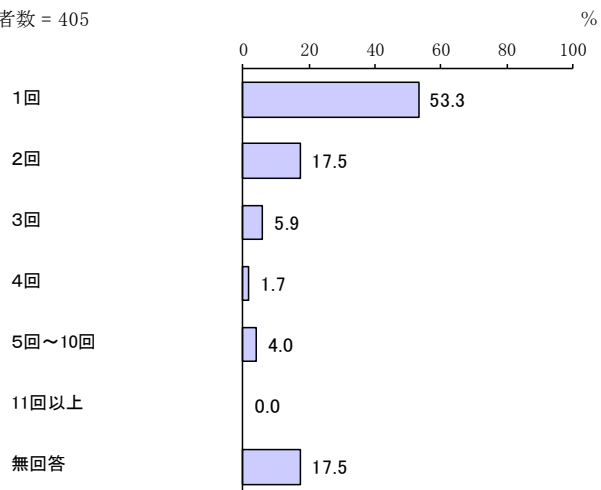
回答者数 = 405



(イ) 1か月あたり利用回数

「1回」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が 17.5%となっています。

回答者数 = 405

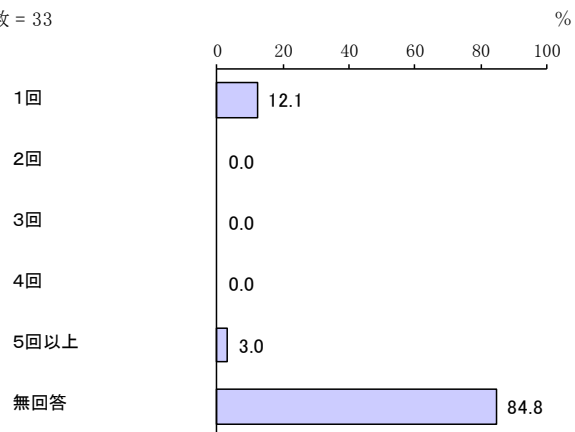


イ 東部地域子育て支援センター

(ア) 1週当たり利用回数

「1回」の割合が12.1%と最も高くなっています。

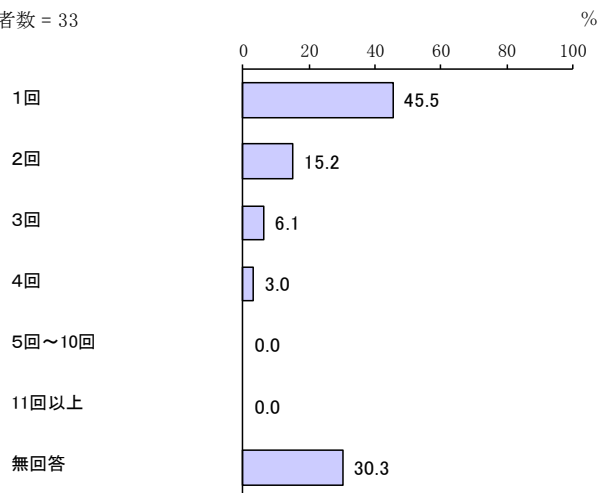
回答者数 = 33



(イ) 1か月あたり利用回数

「1回」の割合が45.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.2%となっています。

回答者数 = 33

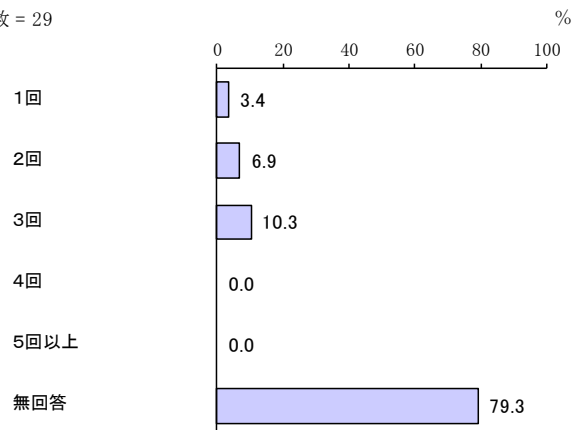


ウ 西部地域子育て支援センター

(ア) 1週当たり利用回数

「3回」の割合が10.3%と最も高くなっています。

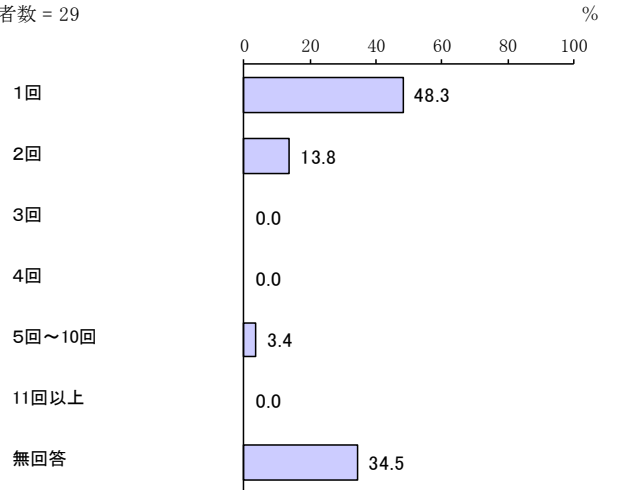
回答者数 = 29



(イ) 1か月あたり利用回数

「1回」の割合が48.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 29

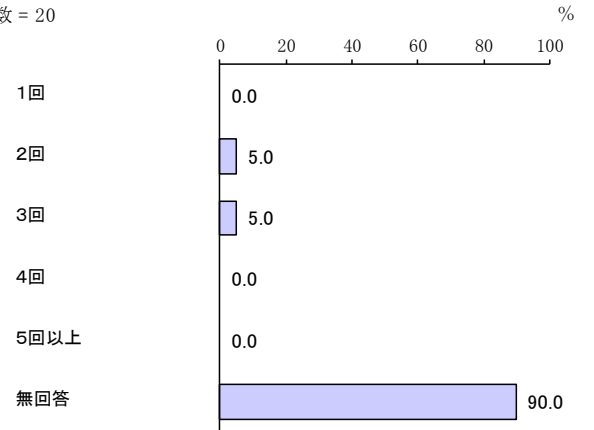


エ 南部地域子育て支援センター

(ア) 1週あたり利用回数

「2回」、「3回」の割合が5.0%と最も高くなっています。

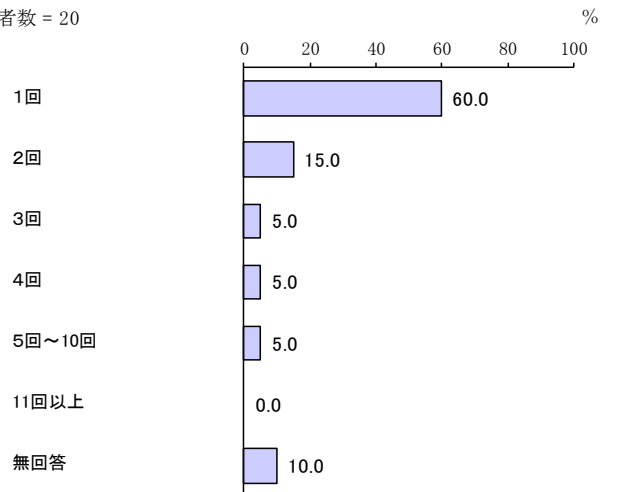
回答者数 = 20



(イ) 1か月あたり利用回数

「1回」の割合が60.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.0%となっています。

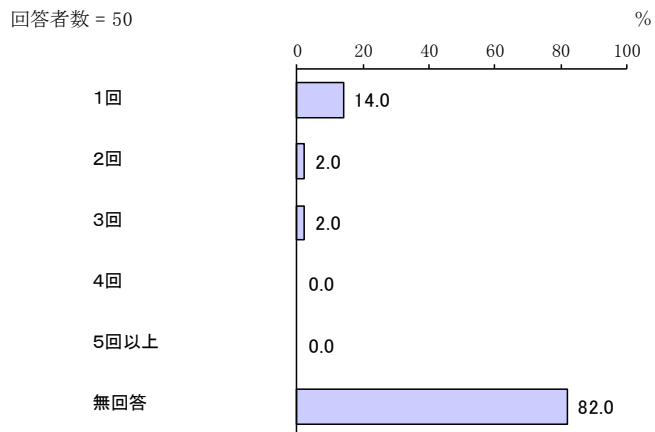
回答者数 = 20



オ 北部地域子育て支援センター

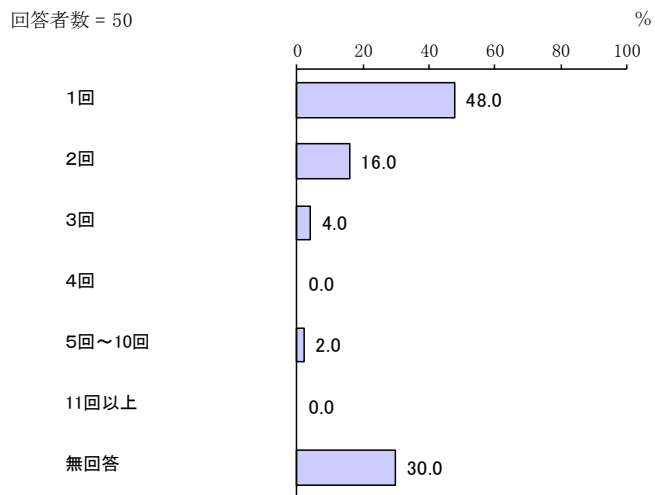
(ア) 1週あたり利用回数

「1回」の割合が14.0%と最も高くなっています。



(イ) 1か月あたり利用回数

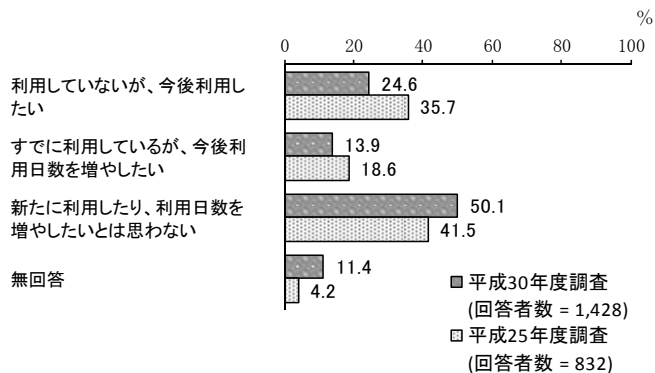
「1回」の割合が48.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が16.0%となっています。



問 44 問 43にある子育てを支援する施設について、今は利用していないが今後利用したい、あるいは 利用日数を増やしたいと思いますか。
(あてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が50.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が24.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が13.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。

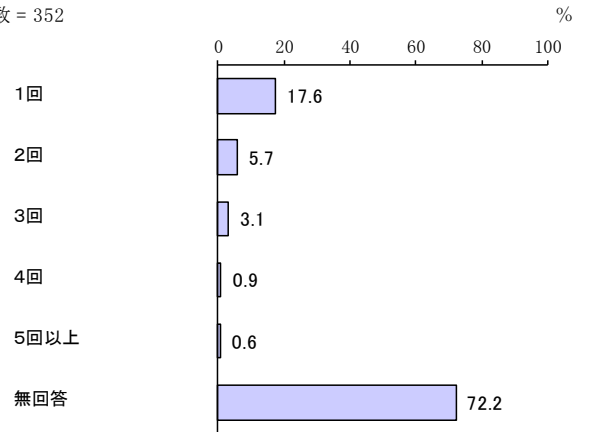


ア 利用していないが、今後利用したい

(ア) 1週あたりでの利用回数

「1回」の割合が17.6%と最も高くなっています。

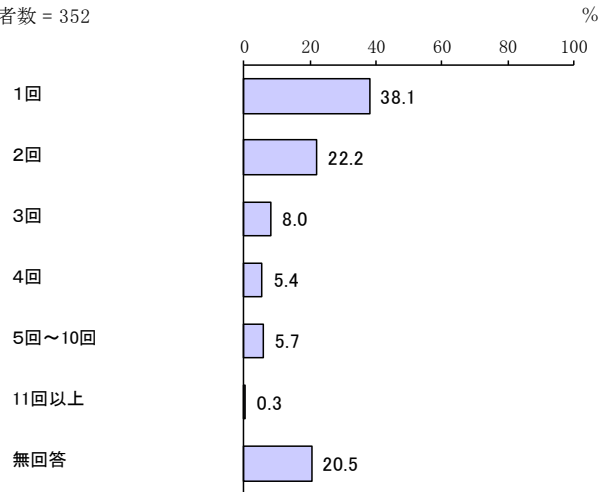
回答者数 = 352



(イ) 1か月あたりでの利用回数

「1回」の割合が38.1%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 352

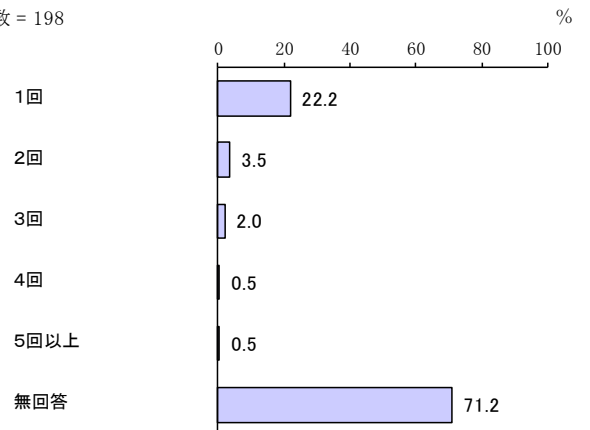


イ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

(ア) 1週あたりでの増やしたい回数

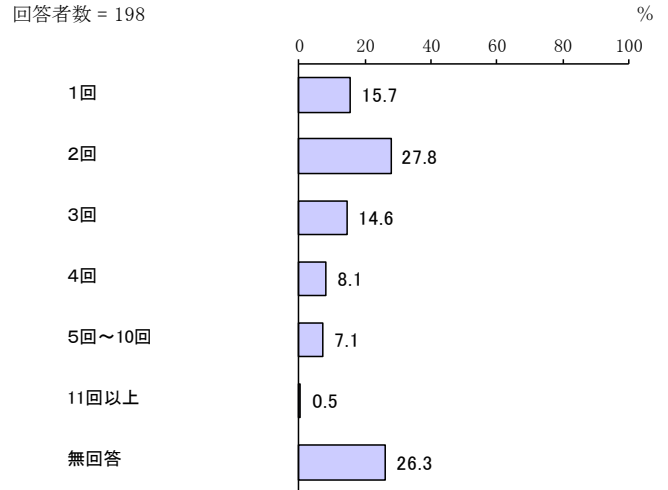
「1回」の割合が22.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 198



(イ) 1か月あたりでの増やしたい回数

「2回」の割合が27.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が15.7%、「3回」の割合が14.6%となっています。

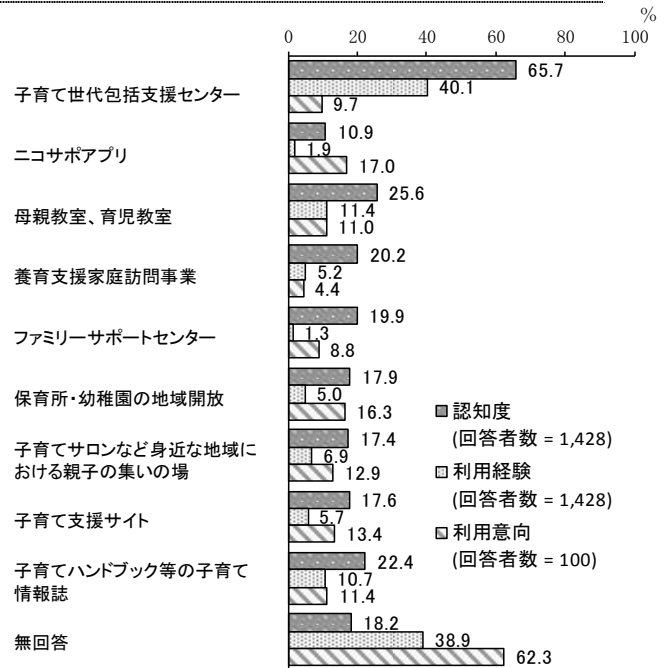


問 45 以下の事業などについて、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。(あてはまる項目すべてに○)

認知度では、「子育て世代包括支援センター」の割合が65.7%と最も高く、次いで「母親教室、育児教室」の割合が25.6%、「子育てハンドブック等の子育て情報誌」の割合が22.4%となっています。

利用経験では、「子育て世代包括支援センター」の割合が40.1%と最も高く、次いで「母親教室、育児教室」の割合が11.4%、「子育てハンドブック等の子育て情報誌」の割合が10.7%となっています。

利用意向では、「ニコサポアプリ」の割合が17.0%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園の地域開放」の割合が16.3%、「子育て支援サイト」の割合が13.4%となっています。

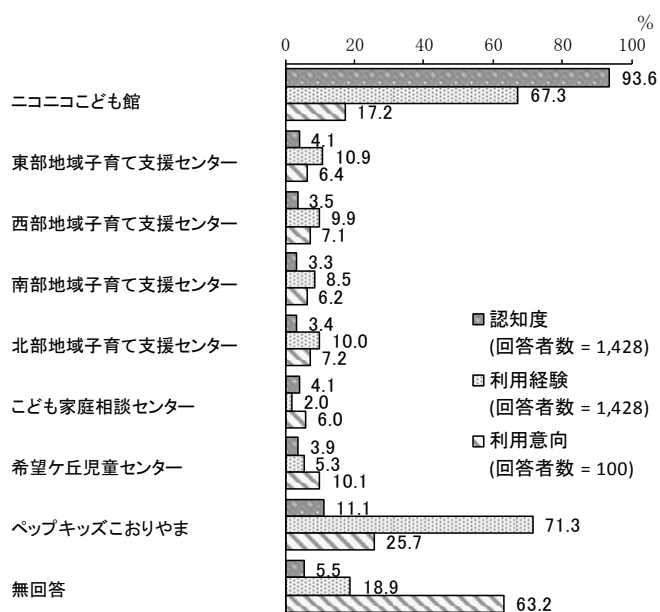


**問 46 以下の施設について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。
(あてはまる項目すべてに○)**

認知度では、「ニコニコこども館」の割合が93.6%と最も高く、次いで「ペップキッズこおりやま」の割合が11.1%、「東部地域子育て支援センター」と「こども家庭相談センター」の割合が4.1%となっています。

利用経験では、「ペップキッズこおりやま」の割合が71.3%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」の割合が67.3%、「東部地域子育て支援センター」の割合が10.9%となっています。

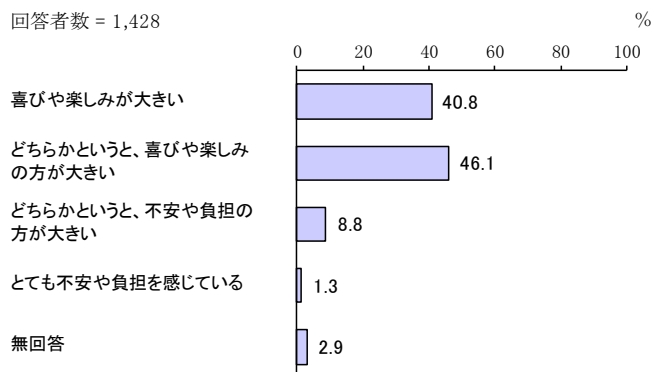
利用意向では、「ペップキッズこおりやま」の割合が25.7%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」の割合が17.2%、「希望ヶ丘児童センター」の割合が10.1%となっています。



(12) 地域の子育て支援について

問 47 子育てをどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

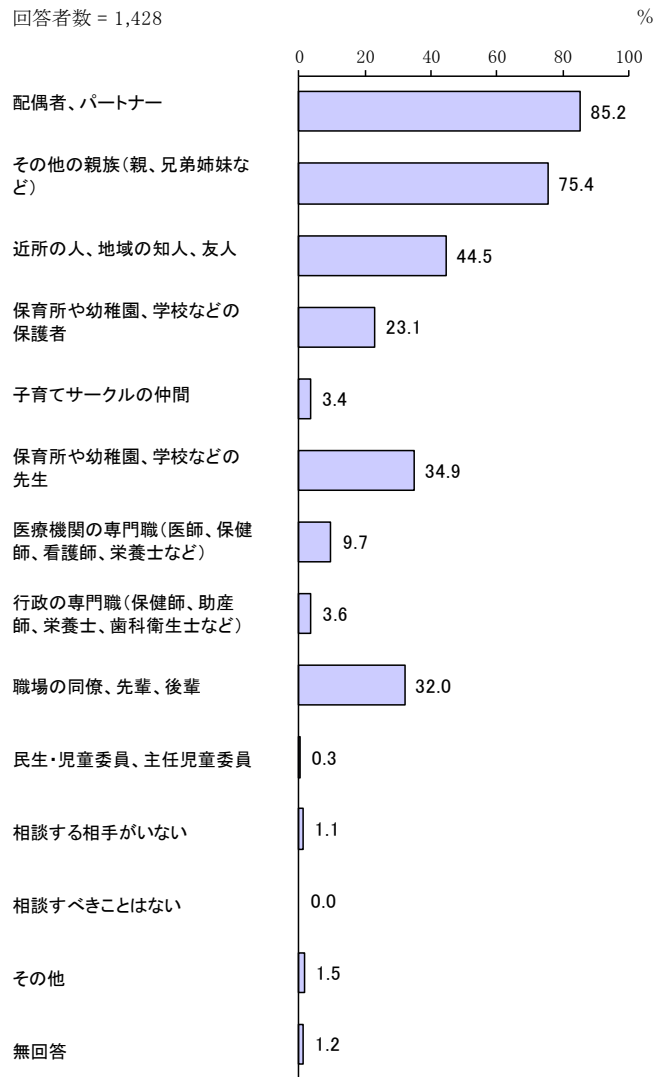
「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」の割合が46.1%と最も高く、次いで「喜びや楽しみが大きい」の割合が40.8%となっています。



問 48 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

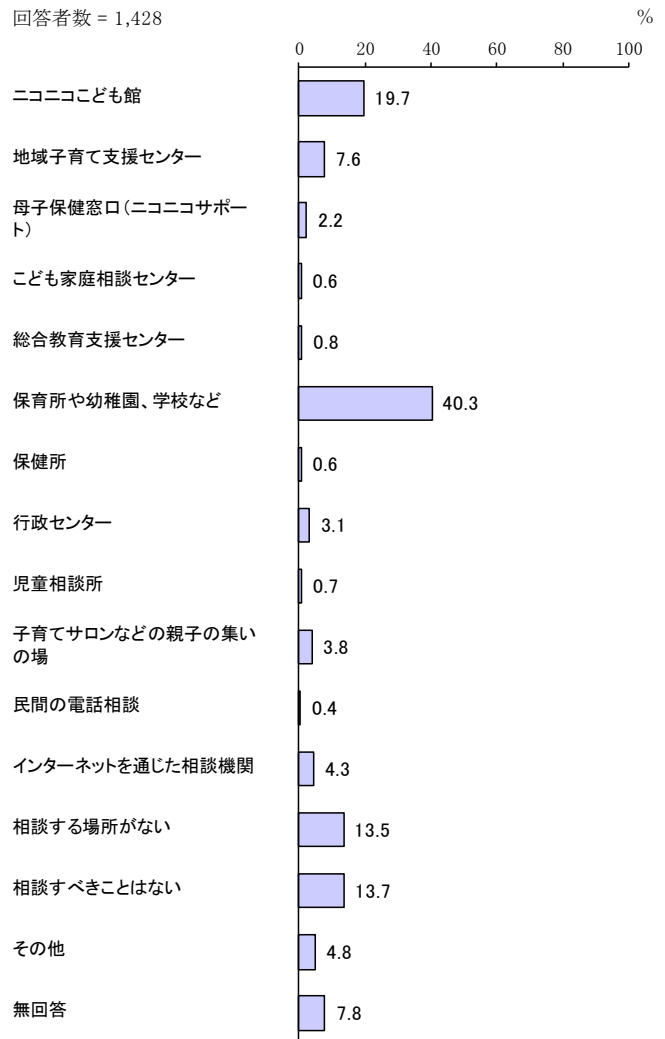
「配偶者、パートナー」の割合が85.2%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」の割合が75.4%、「近所の人、地域の知人、友人」の割合が44.5%となっています。

回答者数 = 1,428



**問 49 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる場所がありますか。
（あてはまる番号すべてに○）**

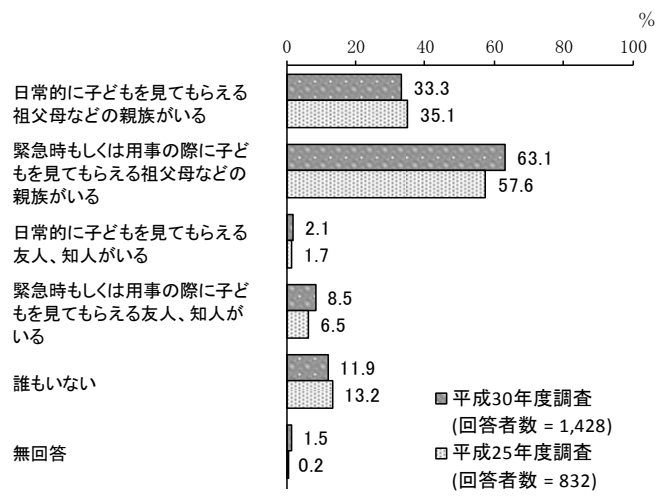
「保育所や幼稚園、学校など」の割合が 40.3% と最も高く、次いで「ニコニコこども館」の割合が 19.7%、「相談すべきことはない」の割合が 13.7%となっています。



**問 50 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）**

「緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」の割合が 63.1% と最も高く、次いで「日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」の割合が 33.3%、「誰もいない」の割合が 11.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」の割合が増加しています。



問 51 問 50 で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。お子さんを見てもらうことについてどのように感じていますか。あなたの考えに一番近いものをお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「親族・知人に負担をかけるが、おおむね安心して子どもを見てもらえている」の割合が 51.3% と最も高く、次いで「子どもを見てもらえるが、親族・知人に負担をかけてしまうことに少し不安がある」の割合が 23.1%、「親族・知人の負担を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」の割合が 19.2%となっています。

回答者数 = 1,237

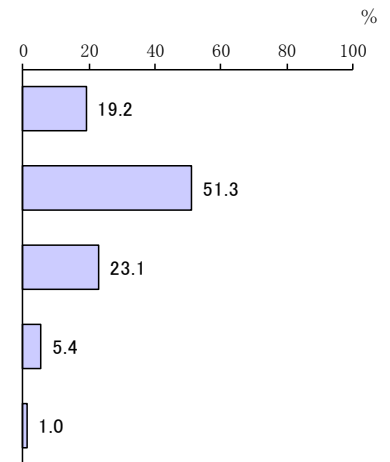
親族・知人の負担を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる

親族・知人に負担をかけるが、おおむね安心して子どもを見てもらえている

子どもを見てもらえるが、親族・知人に負担をかけてしまうことに少し不安がある

子どもを見てもらえるが、親族・知人の負担が大きく心苦しい

無回答



問 52 問 50 で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。お子さんを見てもらっている親族・知人は、どちらにお住まいですか。また、その場所までどのくらい時間がかかりますか。(あてはまる番号1つに○、[] 内は数字を記入)

「郡山市内」の割合が 68.5% と最も高く、次いで「郡山市外 (福島県内)」の割合が 26.1% となっています。

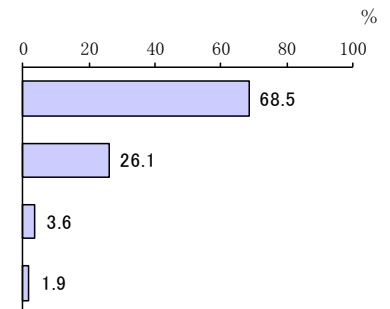
回答者数 = 1,237

郡山市内

郡山市外 (福島県内)

県外

無回答



ア 郡山市内

(ア) 車で

「15分未満」の割合が 44.7% と最も高く、次いで「15～30分未満」の割合が 23.7% となっています。

回答者数 = 847

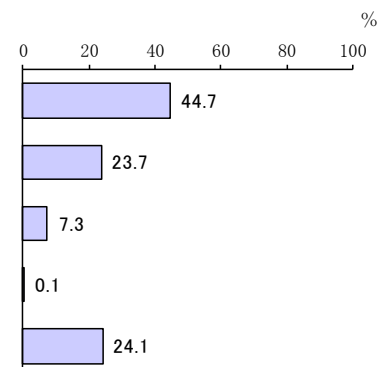
15分未満

15～30分未満

30～60分未満

60分以上

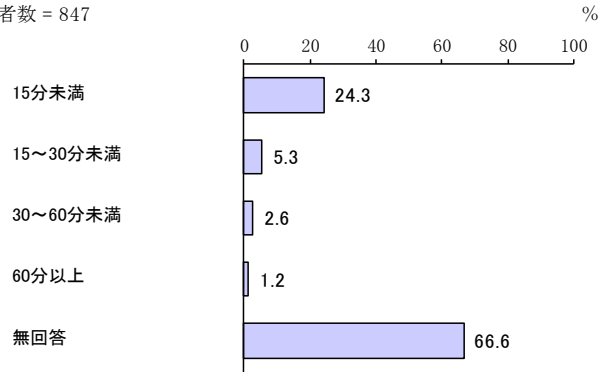
無回答



(イ) 徒歩で

「15分未満」の割合が24.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 847

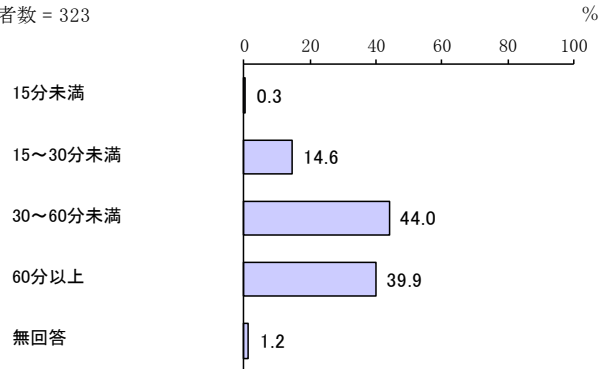


イ 郡山市街（福島県内）

(ア) 車で

「30~60分未満」の割合が44.0%と最も高く、次いで「60分以上」の割合が39.9%、「15~30分未満」の割合が14.6%となっています。

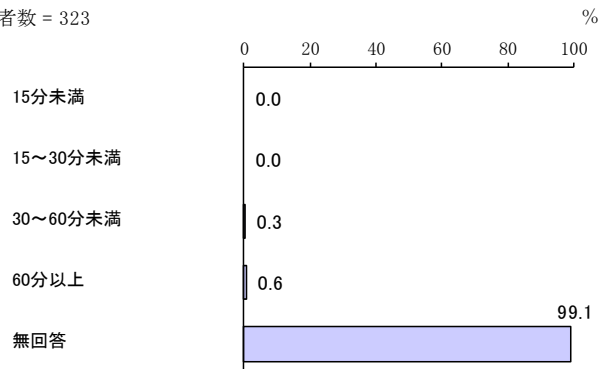
回答者数 = 323



(イ) 徒歩で

「60分以上」の割合が0.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 323

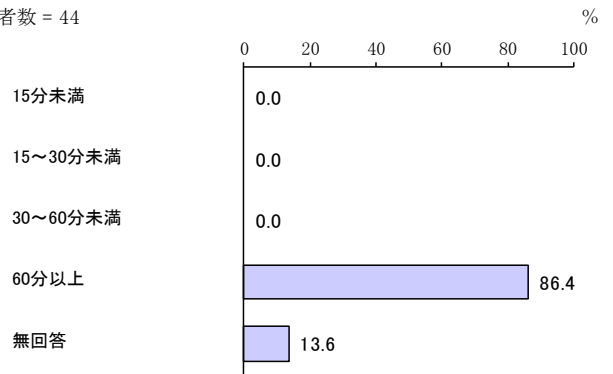


ウ 県外

(ア) 車で

「60分以上」の割合が86.4%と最も高くなっています。

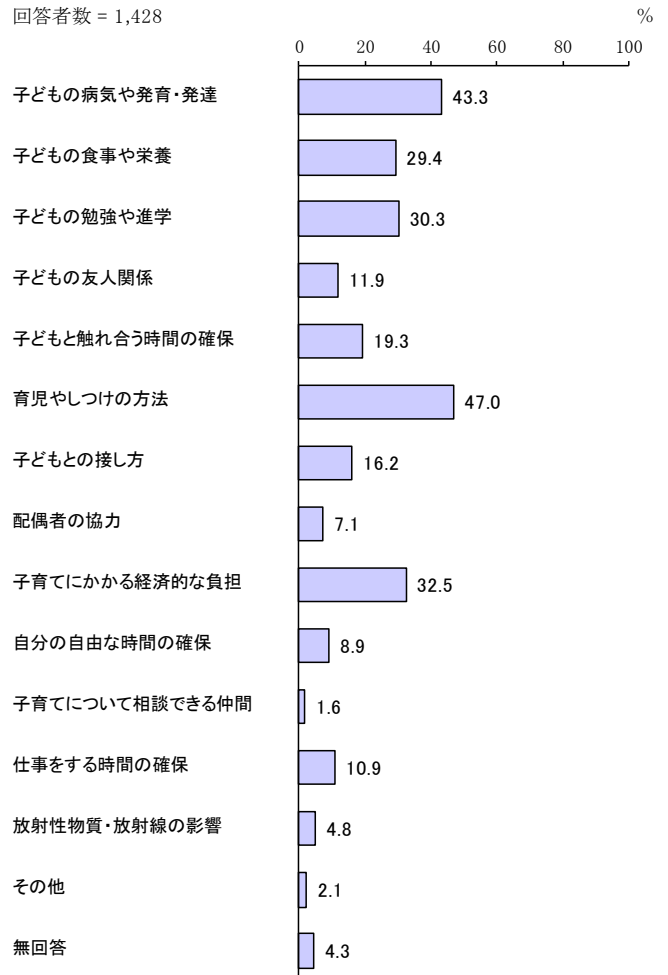
回答者数 = 44



問 53 子育てに関して、悩みや心配ごとはありませんか。
(上位3つまで選んでください。あてはまる番号3つまで○)

「育児やしつけの方法」の割合が47.0%と最も高く、次いで「子どもの病気や発育・発達」の割合が43.3%、「子育てにかかる経済的な負担」の割合が32.5%となっています。

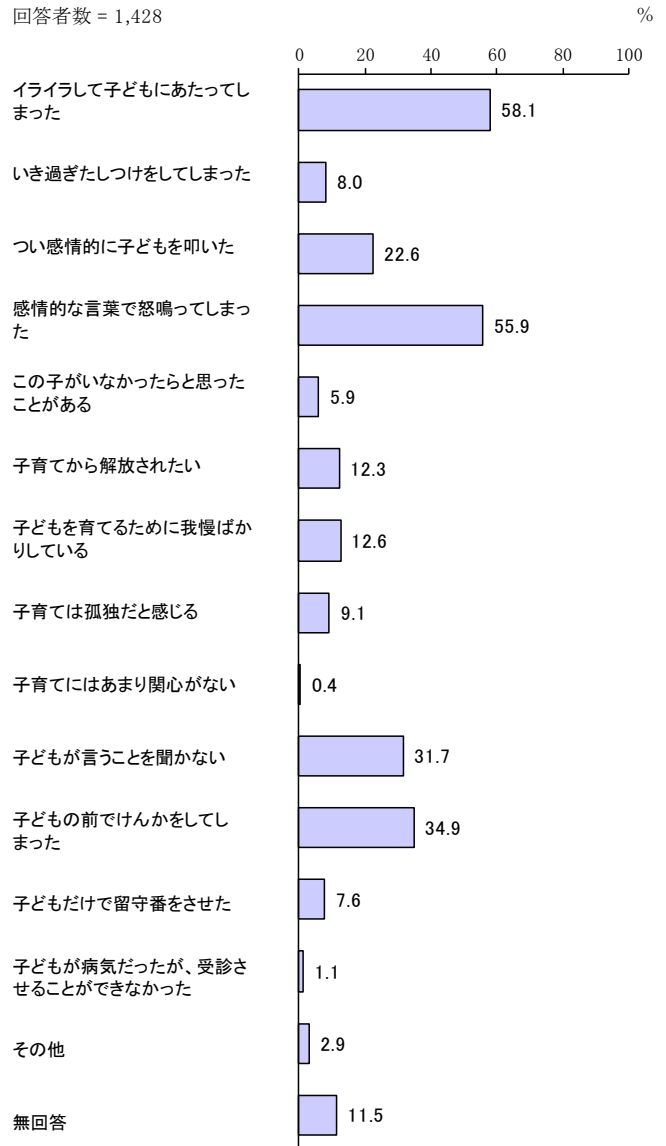
回答者数 = 1,428



問 54 あなたはこれまで、子育て中に次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「イライラして子どもにあたってしまった」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「感情的な言葉で怒鳴ってしまった」の割合が 55.9%、「子どもの前でけんかをしてしまった」の割合が 34.9%となっています。

回答者数 = 1,428

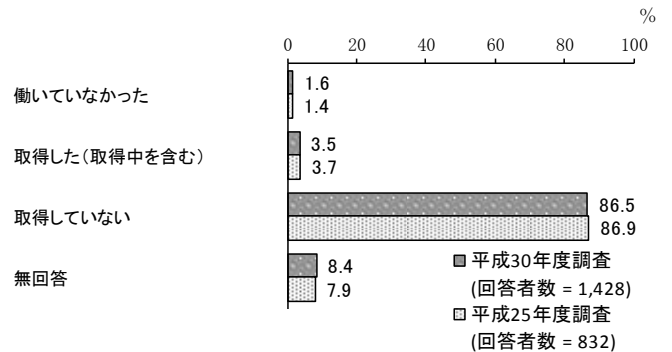


問 55 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。「3」を選ぶ方は、点線の枠から、その理由にあてはまる記号をすべてご記入ください。(父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、[] 内にあてはまる記号すべて記入)

ア 父親

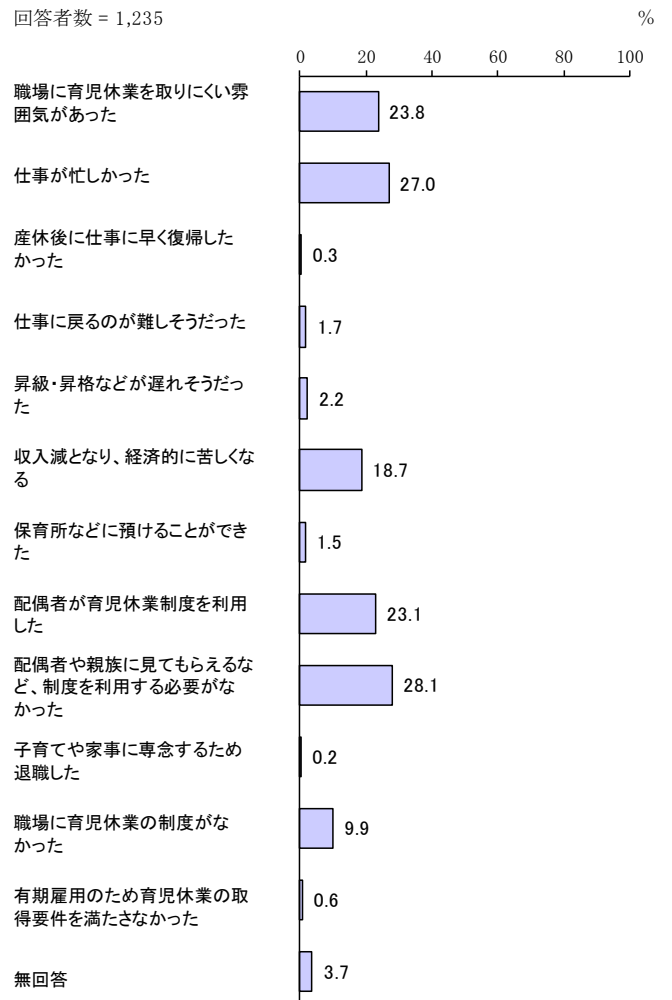
「取得していない」の割合が86.5%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(ア) 取得していない主な理由

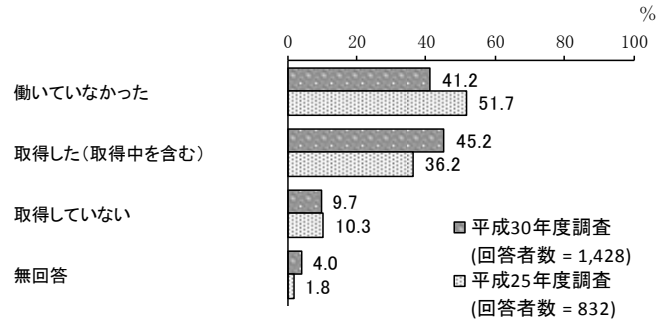
「配偶者や親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が28.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が27.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が23.8%となっています。



イ 母親

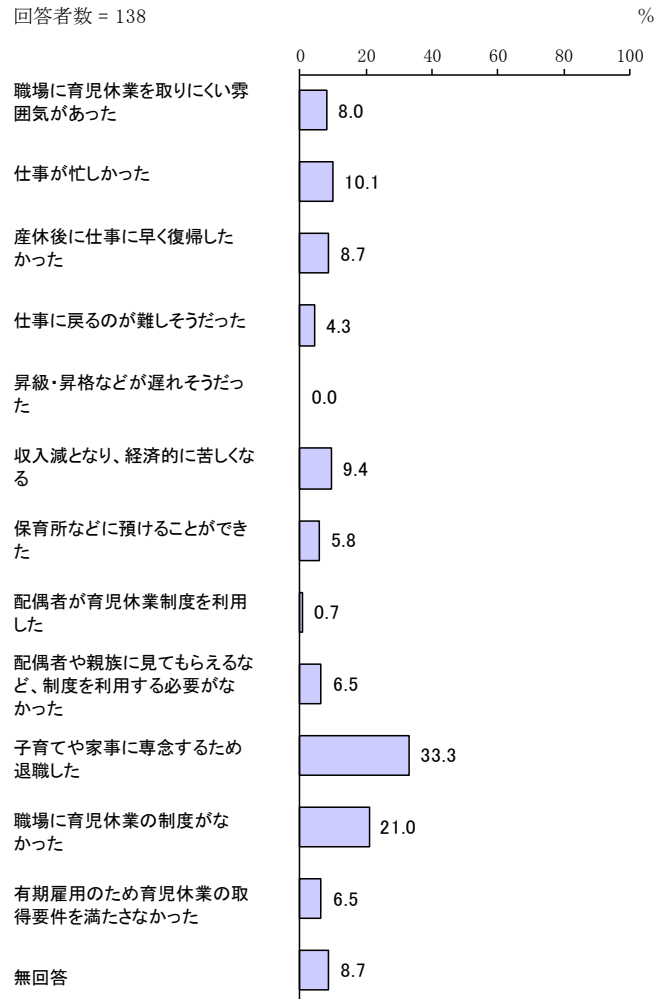
「取得した（取得中を含む）」の割合が45.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が41.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中を含む）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



(ア) 取得していない主な理由

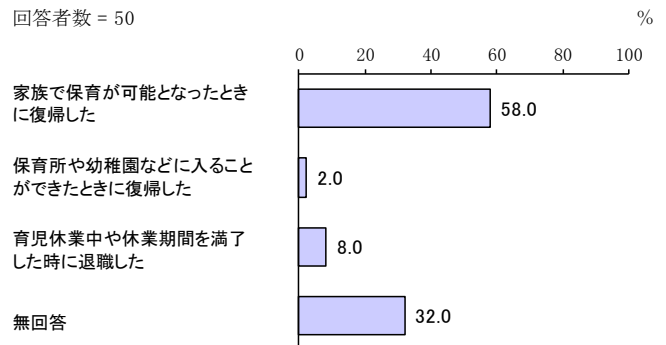
「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が33.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が21.0%、「仕事が忙しかった」の割合が10.1%となっています。



問 56 問 55 で「2」を選んだ方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。復帰した方は、お子さんが何歳何ヶ月のときに復帰したかもお答えください。(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○)、[]内は数字を記入)

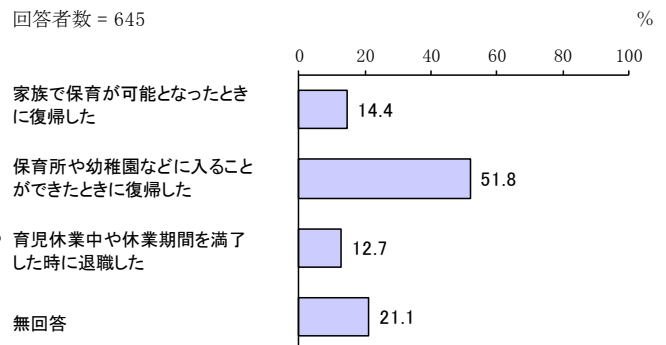
ア 父親

「家族で保育が可能となったときに復帰した」の割合が 58.0%と最も高くなっています。



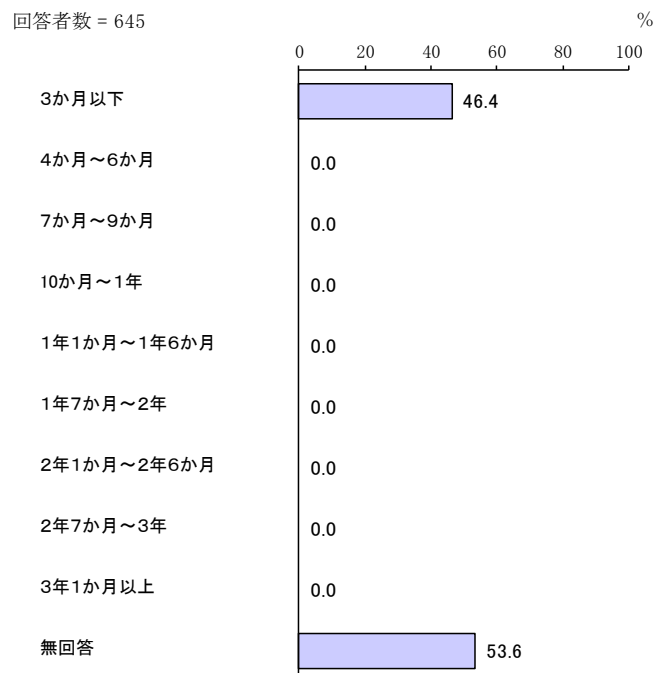
イ 母親

「保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「家族で保育が可能となったときに復帰した」の割合が 14.4%、「育児休業中や休業期間を満了した時に退職した」の割合が 12.7%となっています。



(ア) 父親の復帰時期

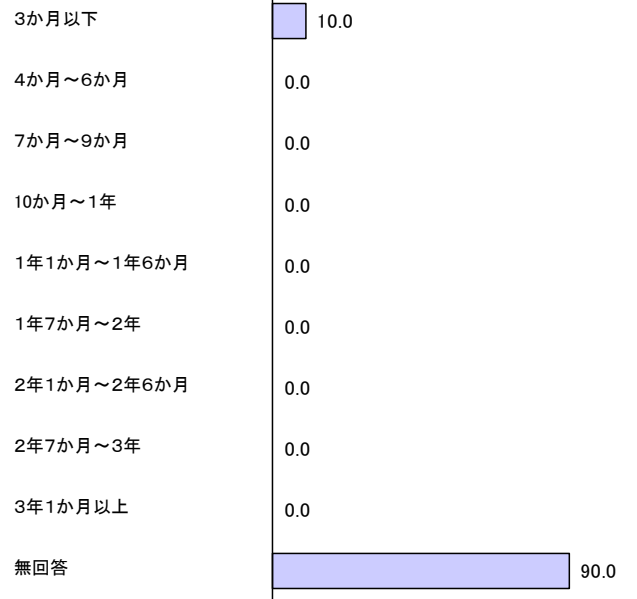
「3か月以下」の割合が 46.4%と最も高くなっています。



(イ) 母親の復帰時期

「3か月以下」の割合が10.0%と最も高くなっています。

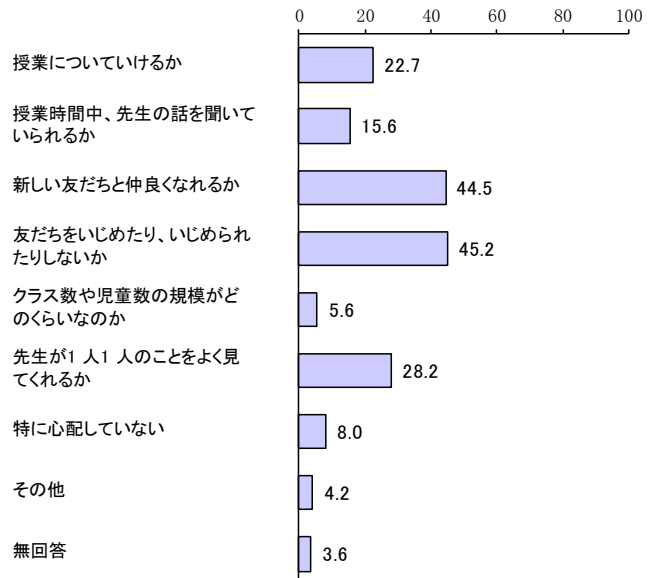
回答者数 = 50



問 57 お子さんが小学校に入学する際に心配することはなんですか。上位2つまで選んでください。(あてはまる番号2つまで○)

「友だちをいじめたり、いじめられないか」の割合が45.2%と最も高く、次いで「新しい友だちと仲良くなれるか」の割合が44.5%、「先生が1人1人のことをよく見てくれるか」の割合が28.2%となっています。

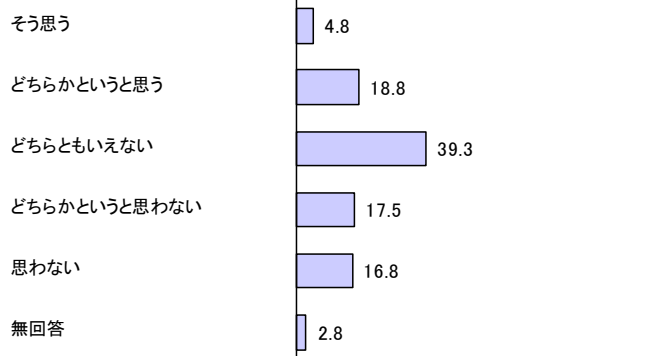
回答者数 = 1,428



問 58 地域における防犯活動が活発であると感じますか。(あてはまる番号1つに○)

「どちらともいえない」の割合が39.3%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」の割合が18.8%、「どちらかというと思わない」の割合が17.5%となっています。

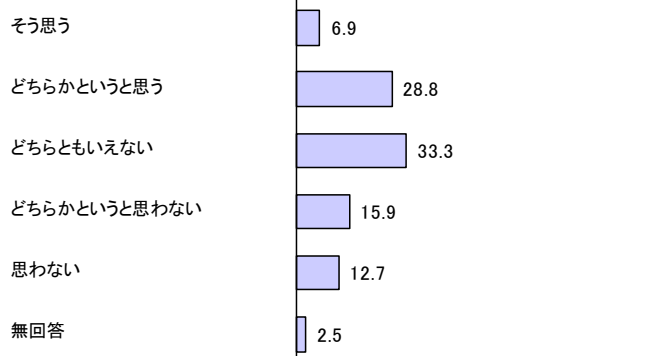
回答者数 = 1,428



問 59 子どもや親が安心して外出できる環境（子どもの遊び場や公園等）になっていると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

「どちらともいえない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」の割合が28.8%、「どちらかというと思わない」の割合が15.9%となっています。

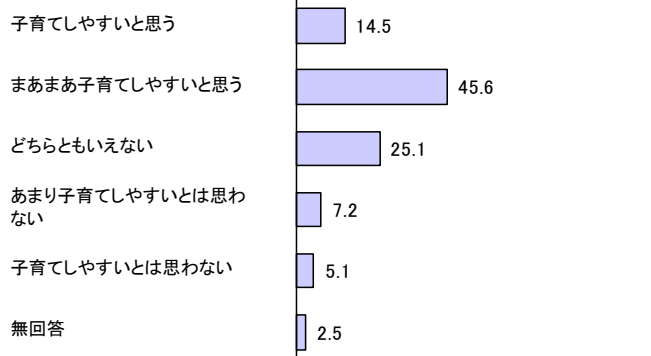
回答者数 = 1,428



問 60 あなたのお住まいの地区は、子育てしやすい環境だと感じますか。(あてはまる番号1つに○)

「まあまあ子育てしやすいと思う」の割合が45.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が25.1%、「子育てしやすいと思う」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 1,428

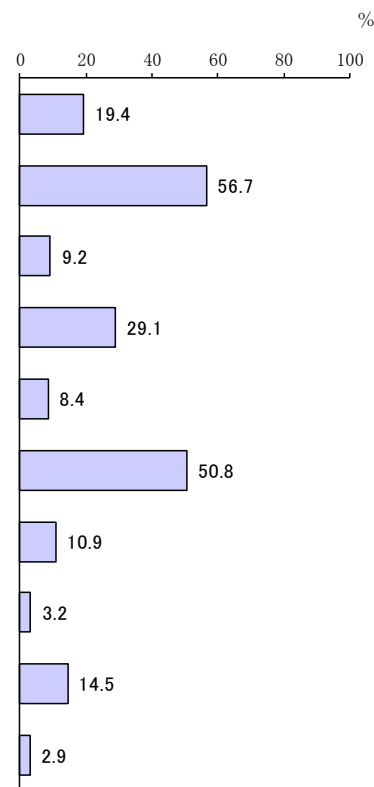


問 61 子育てをするにあたって、地域の方々に求めることはありますか。上位3つまで選んでください。(あてはまる番号3つまで○)

「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」の割合が56.7%と最も高く、次いで「地域で子どもを見守り育てるといい気持ちを持ってほしい」の割合が50.8%、「子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい」の割合が29.1%となっています。

回答者数 = 1,428

- 子育ての相談や情報交換をしたい
- 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
- 遊びの相手やスポーツと一緒にしてほしい
- 子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい
- 緊急時に子どもを預かってほしい
- 地域で子どもを見守り育てるといい気持ちを持ってほしい
- ともに子育てできるグループやサークル、仲間がほしい
- その他
- 特になし
- 無回答

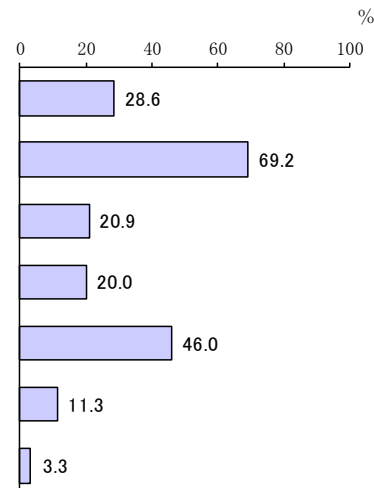


問 62 児童虐待に関する相談窓口で知っているものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「児童相談所」の割合が69.2%と最も高く、次いで「警察署」の割合が46.0%、「こども家庭相談センター」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 1,428

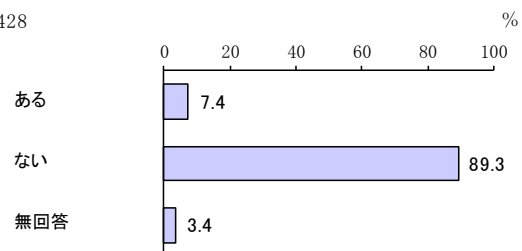
- こども家庭相談センター
- 児童相談所
- 児童相談所全国共通ダイヤル「189」
- 子どもの人権110番
- 警察署
- 知らない
- 無回答



**問 63 あなたは、児童虐待と思われる場面を見たり、聞いたりしたことがありますか。
(あてはまる番号1つに○)**

「ある」の割合が 7.4%、「ない」の割合が 89.3%となっています。

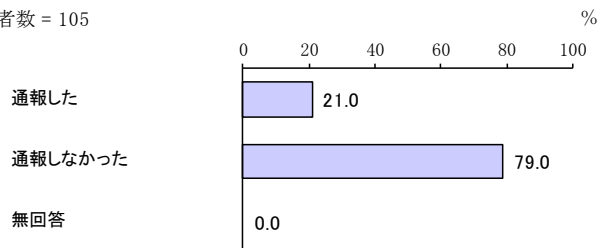
回答者数 = 1,428



問 64 問 63 で「1」を選んだ方にうかがいます。その時、市や児童相談所等に通報しましたか。(あてはまる番号1つに○)

「通報した」の割合が 21.0%、「通報しなかった」の割合が 79.0%となっています。

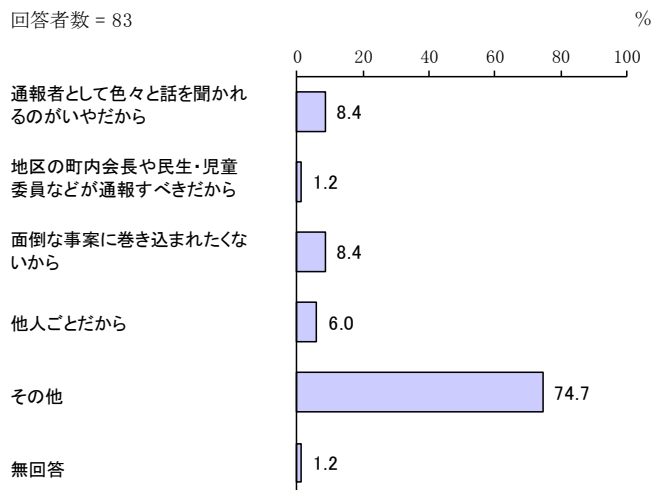
回答者数 = 105



**問 65 問 64 で「2」を選んだ方にうかがいます。通報しなかった理由はなんですか。
(あてはまる番号1つに○)**

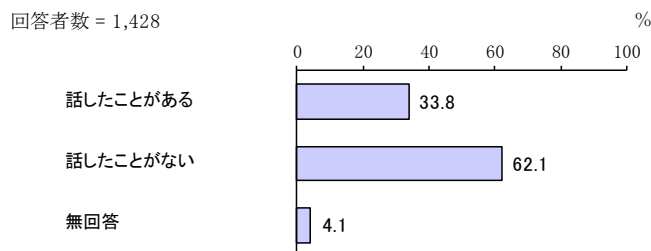
「通報者として色々と話を聞かれるのがいやだから」、「面倒な事案に巻き込まれたくないから」の割合が 8.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 83



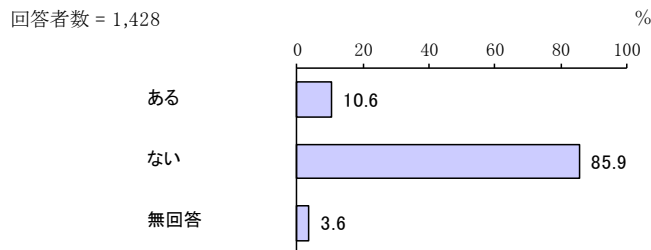
**問 66 あなたは、「いじめ」に関して、お子さんと話しあうことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)**

「話したことがある」の割合が33.8%、「話したことがない」の割合が62.1%となっています。



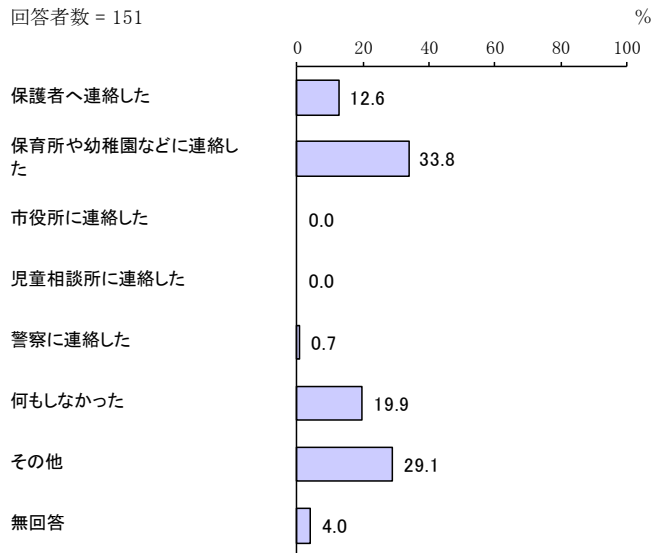
問 67 あなたは、子ども同士のいじめと思われる場面を見たり、聞いたりしたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

「ある」の割合が10.6%、「ない」の割合が85.9%となっています。



**問 68 問 67で「1」を選んだ方にうかがいます。子ども同士のいじめと思われる場面を見たり、聞いたりした時にどのような対応をされましたか。
(あてはまる番号1つに○)**

「保育所や幼稚園などに連絡した」の割合が33.8%と最も高く、次いで「何もしなかった」の割合が19.9%、「保護者へ連絡した」の割合が12.6%となっています。

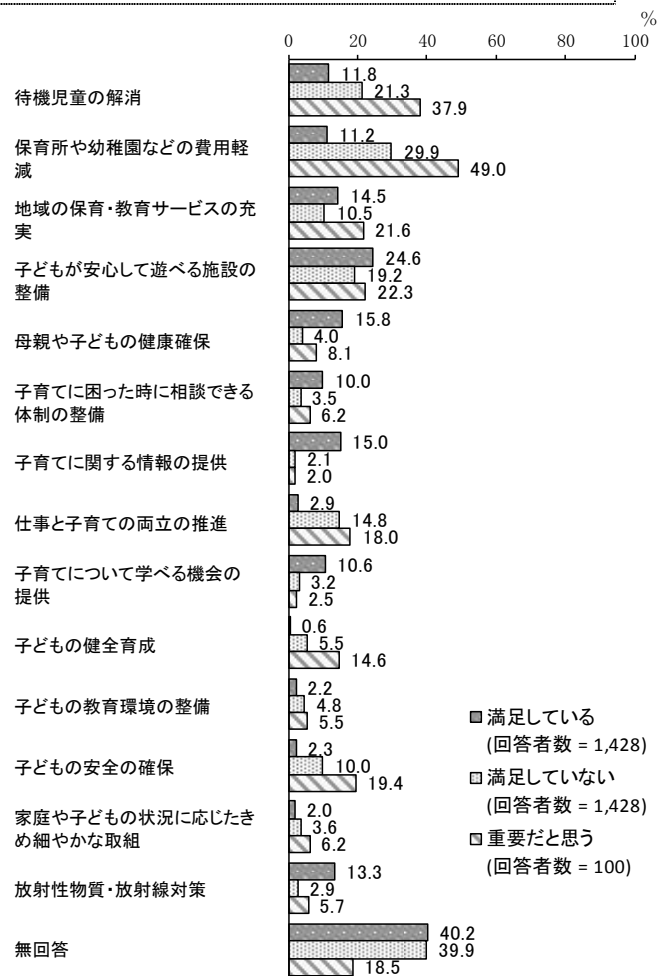


問 69 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。(あてはまる項目3つまで○)

満足しているでは、「子どもが安心して遊べる施設の整備」の割合が24.6%と最も高く、次いで「母親や子どもの健康確保」の割合が15.8%、「子育てに関する情報の提供」の割合が15.0%となっています。

満足していないでは、「保育所や幼稚園などの費用軽減」の割合が29.9%と最も高く、次いで「待機児童の解消」の割合が21.3%、「子どもが安心して遊べる施設の整備」の割合が19.2%となっています。

重要だと思うでは、「保育所や幼稚園などの費用軽減」の割合が49.0%と最も高く、次いで「待機児童の解消」の割合が37.9%、「子どもが安心して遊べる施設の整備」の割合が22.3%となっています。



2 小学生の保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

「1 ～14以外の中心部」の割合が33.7%と最も高く、次いで「安積」の割合が11.1%、「富田」、「大槻」の割合が11.0%となっています。

回答者数 = 1,073

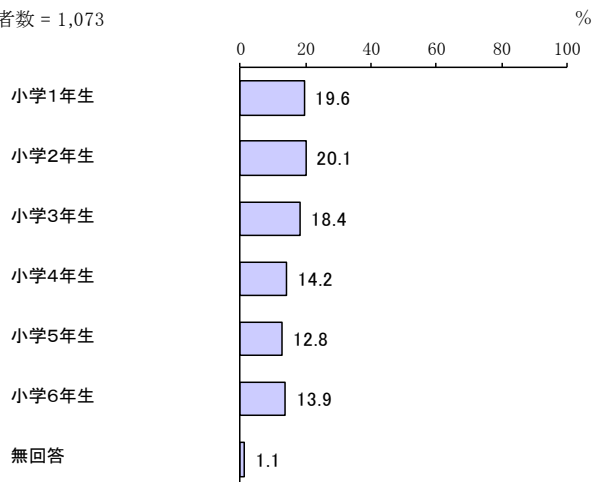


(2) お子さんのご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの平成30年度の学年をご記入ください。

「小学2年生」の割合が20.1%と最も高く、次いで「小学1年生」の割合が19.6%、「小学3年生」の割合が18.4%となっています。

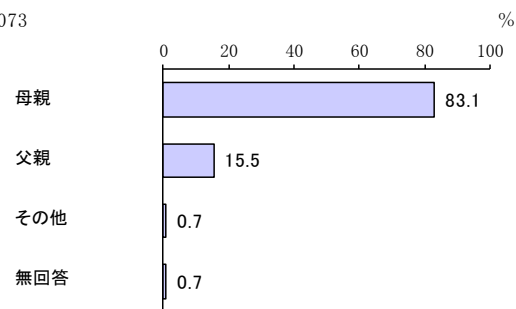
回答者数 = 1,073



問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「母親」の割合が83.1%、「父親」の割合が15.5%となっています。

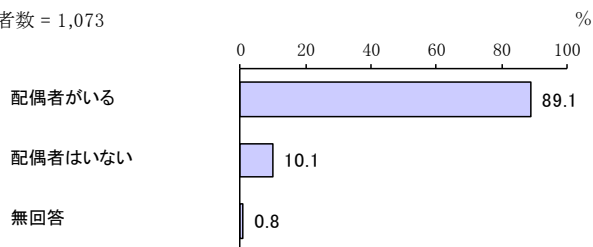
回答者数 = 1,073



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者（夫または妻）の有無についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「配偶者がいる」の割合が89.1%、「配偶者がいない」の割合が10.1%となっています。

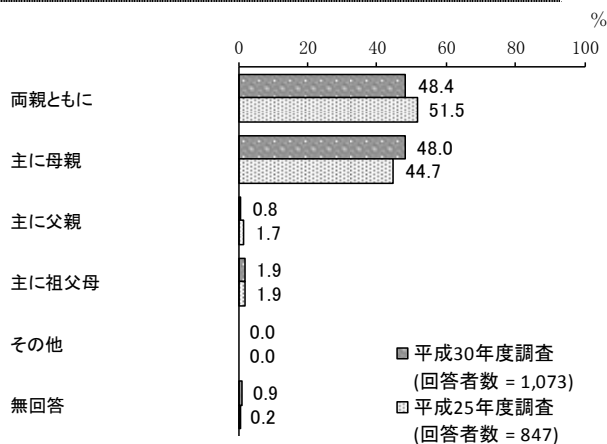
回答者数 = 1,073



問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「両親ともに」の割合が48.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が48.0%となっています。

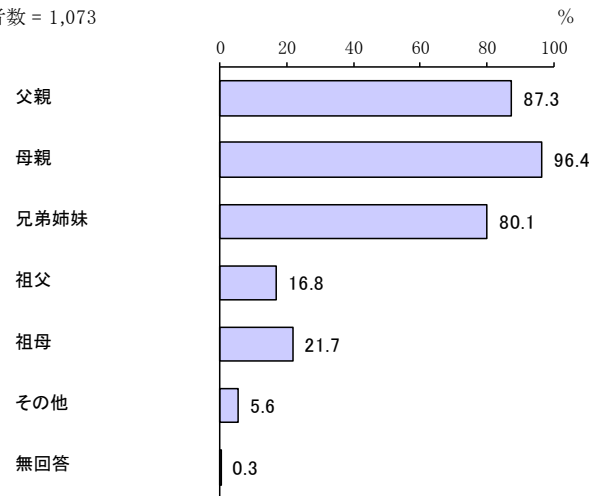
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お子さんと同居しているご家族の構成はどのようになっていますか。お子さんからみた関係で お答えください。また、お子さんに兄弟姉妹がいる場合、その内訳もご記入ください。

「母親」の割合が96.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が87.3%、「兄弟姉妹」の割合が80.1%となっています。

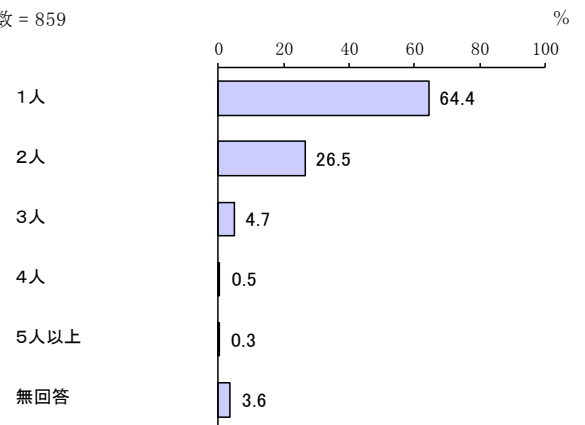
回答者数 = 1,073



ア 兄弟姉妹

「1人」の割合が64.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 859

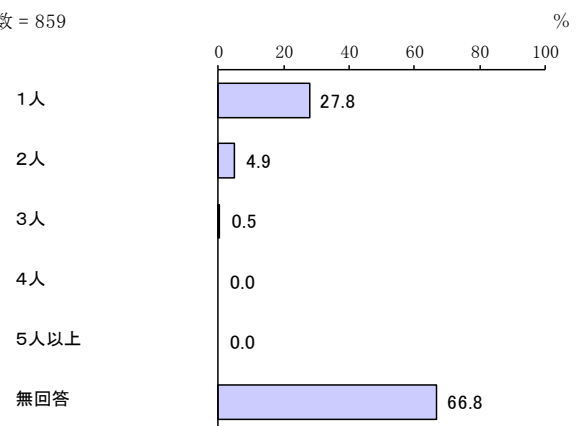


(ア) 兄弟姉妹 (内訳)

①未就学児

「1人」の割合が27.8%と最も高くなっています。

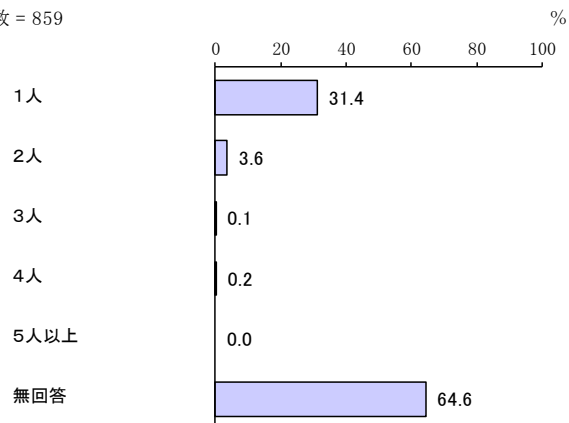
回答者数 = 859



②小学生

「1人」の割合が31.4%と最も高くなっています。

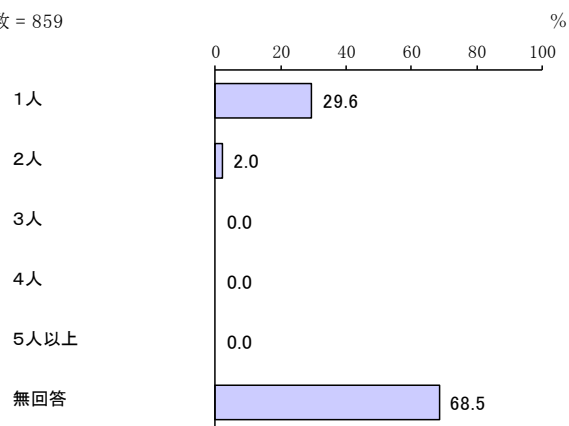
回答者数 = 859



③中学生

「1人」の割合が29.6%と最も高くなっています。

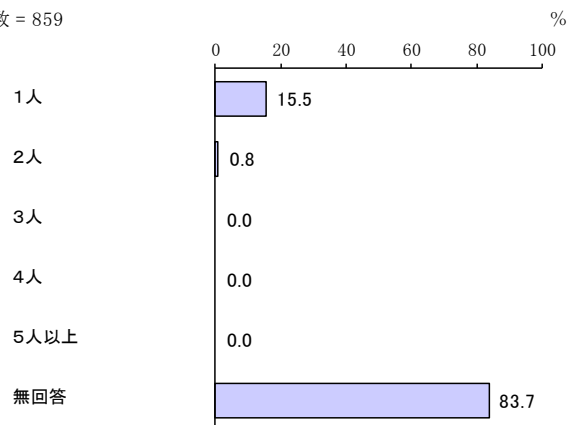
回答者数 = 859



④高校生

「1人」の割合が15.5%と最も高くなっています。

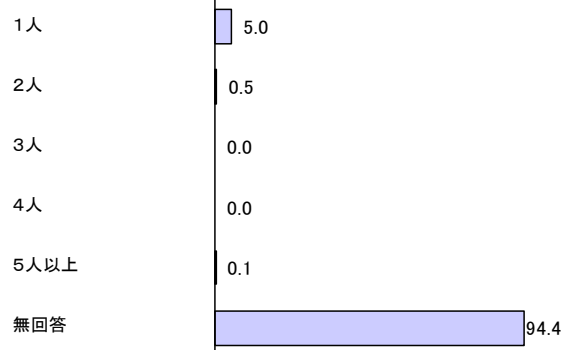
回答者数 = 859



⑤それ以上

「1人」の割合が5.0%と最も高くなっています。

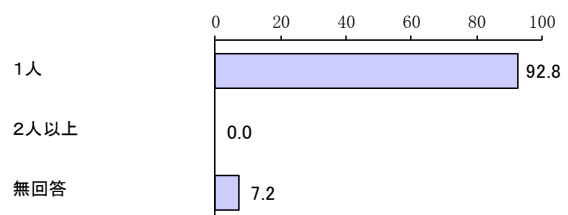
回答者数 = 859



イ 祖父

「1人」の割合が92.8%、「2人以上」の割合が0.0%となっています。

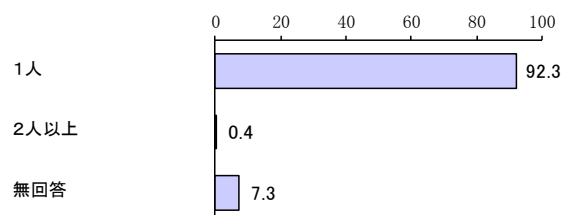
回答者数 = 180



ウ 祖母

「1人」の割合が92.3%、「2人以上」の割合が0.4%となっています。

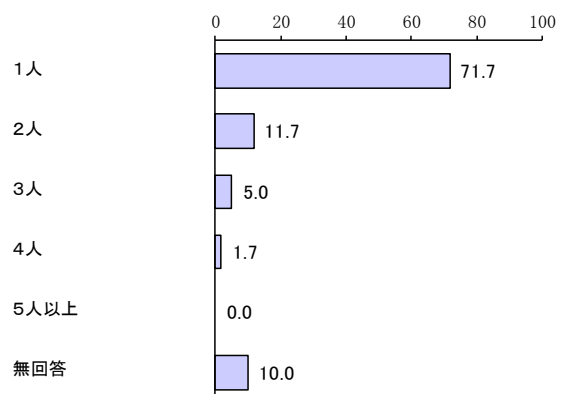
回答者数 = 233



エ その他

「1人」の割合が71.7%と最も高く、次いで「2人」の割合が11.7%となっています。

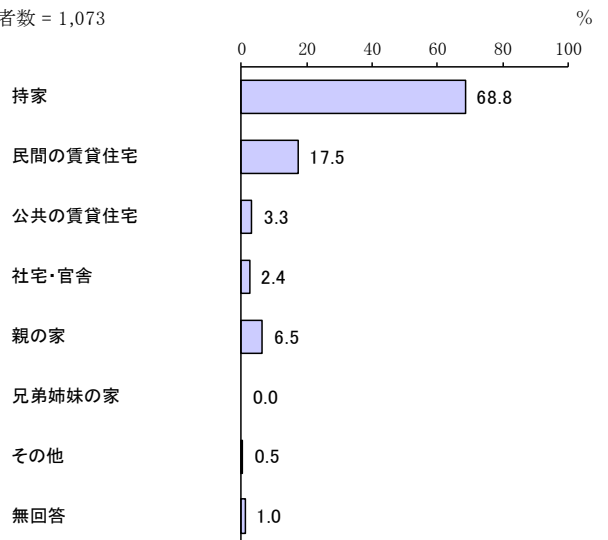
回答者数 = 60



問7 お住まいの住宅について、あてはまるものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

「持家」の割合が68.8%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 1,073



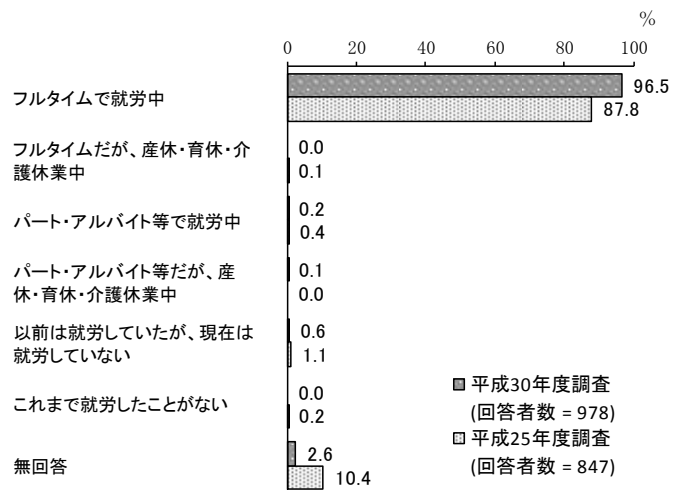
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問8 あて名のお子さんの保護者の、現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(父親、母親それぞれのあてはまる項目1つに○)

ア 父親

「フルタイムで就労中」の割合が96.5%と最も高くなっています。

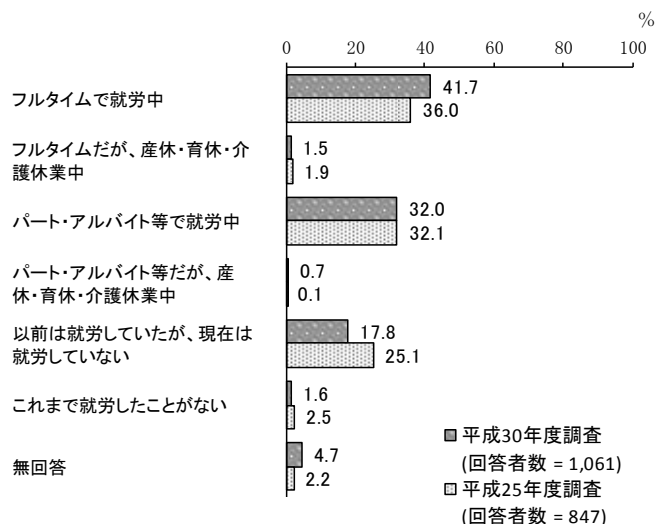
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が増加しています。



イ 母親

「フルタイムで就労中」の割合が41.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労中」の割合が32.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が17.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



問9 問8で「3」または「4」を選んだ方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○)

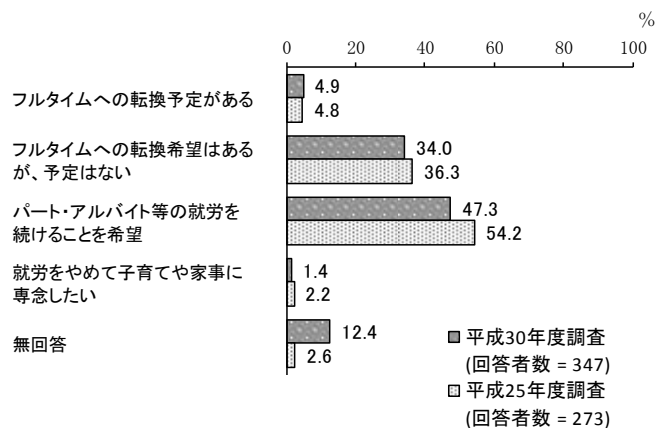
ア 父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

イ 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が47.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」の割合が34.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



問10 問8で「5」または「6」を選んだ方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○)

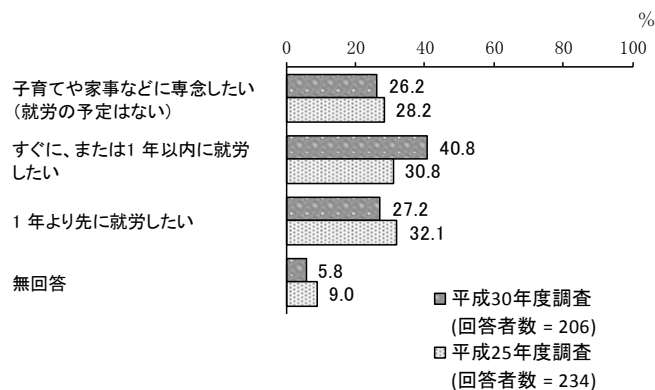
ア 父親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐに、または1年以内に就労したい」が2件となっています。

イ 母親

「すぐに、または1年以内に就労したい」の割合が40.8%と最も高く、次いで「1年より先に就労したい」の割合が27.2%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が26.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「すぐに、または1年以内に就労したい」の割合が増加しています。



問11 問10で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。
どのような就労を希望しますか。(父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入)

ア 父親

「パート・アルバイト等」が1件となっています。

(ア) 父親の1週あたり就労日数

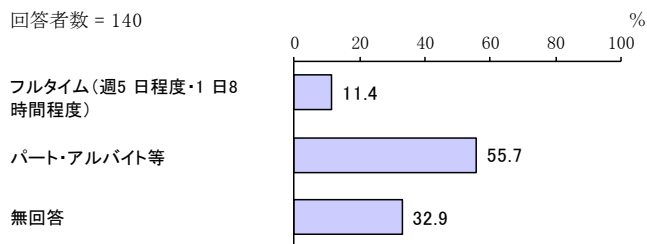
「4日」が1件となっています。

(イ) 父親の1日あたり就労時間

「4時間～5時間未満」が1件となっています。

イ 母親

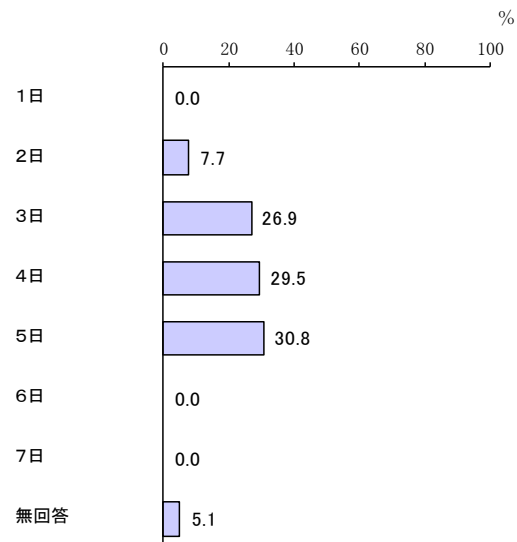
「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)」の割合が11.4%、「パート・アルバイト等」の割合が55.7%となっています。



(ア) 母親の1週あたり就労日数

「5日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が29.5%、「3日」の割合が26.9%となっています。

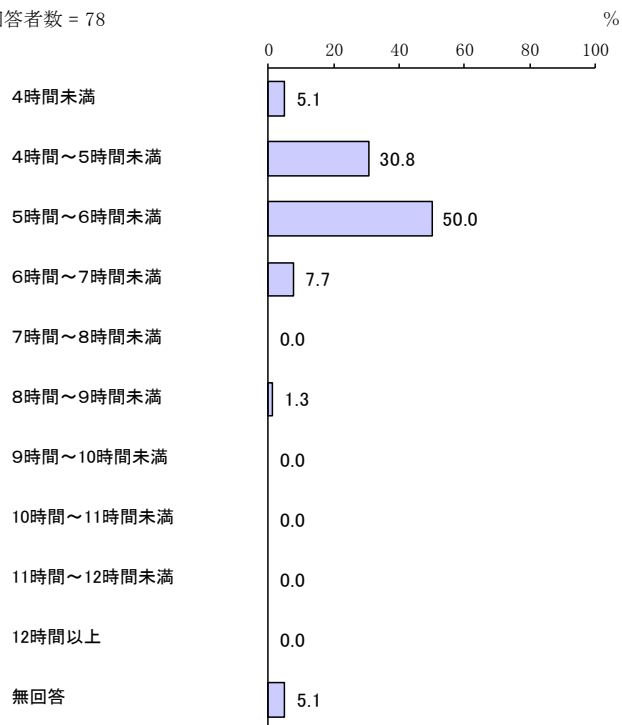
回答者数 = 78



(イ) 母親の1日あたり就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が50.0%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が30.8%となっています。

回答者数 = 78

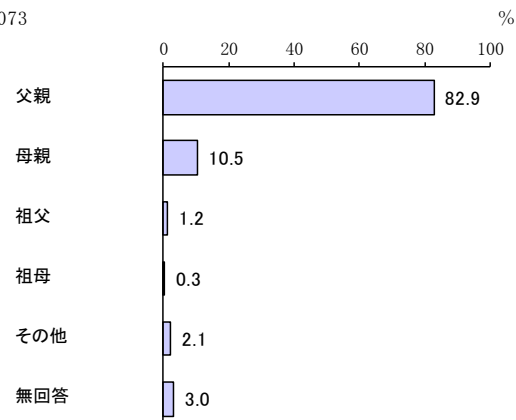


(4) 現在の家計の状況について

問12 世帯の家計は、主にどなたの収入によって維持されていますか。(あてはまる番号1つに○)

「父親」の割合が82.9%と最も高く、次いで「母親」の割合が10.5%となっています。

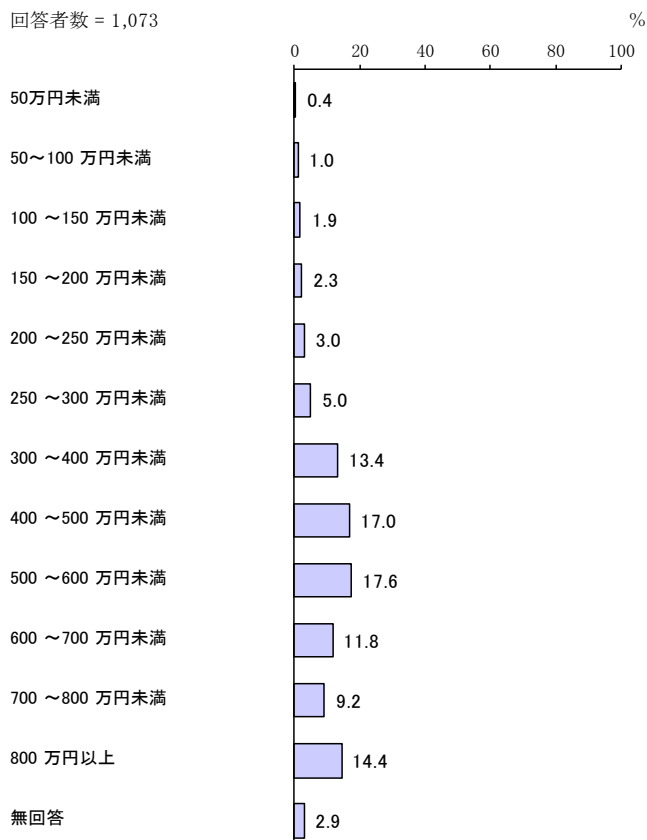
回答者数 = 1,073



問13 平成29年中の、世帯を合わせたの年収(手取りの収入。副業や各種手当も含む。)は、およそどのくらいですか。(あてはまる番号1つに○)

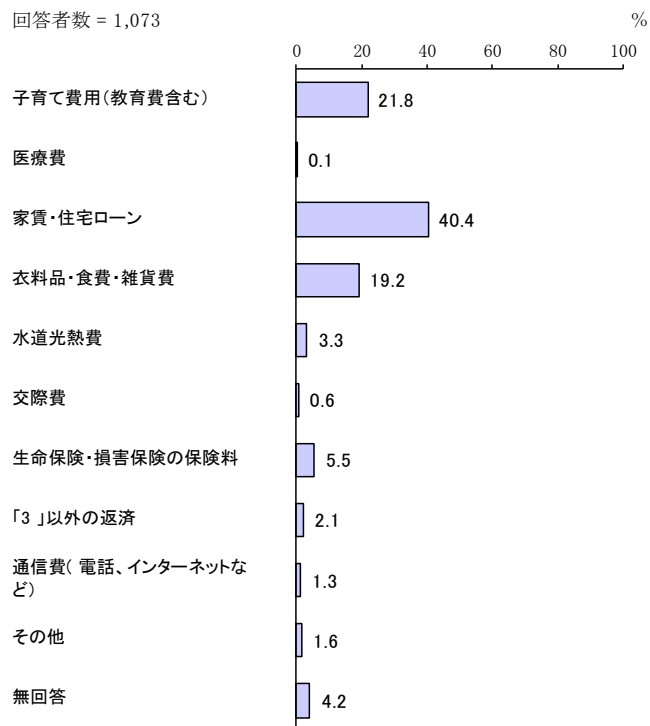
「500～600万円未満」の割合が17.6%と最も高く、次いで「400～500万円未満」の割合が17.0%、「800万円以上」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 1,073



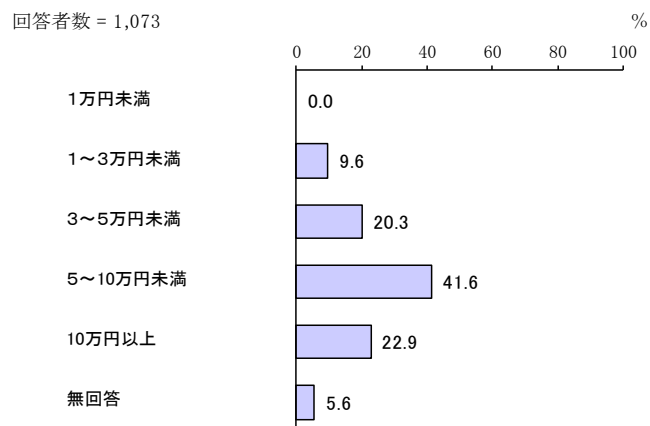
問14 世帯の家計で最も負担となっているものは何ですか。(あてはまる番号1つに○)

「家賃・住宅ローン」の割合が40.4%と最も高く、次いで「子育て費用(教育費含む)」の割合が21.8%、「衣料品・食費・雑貨費」の割合が19.2%となっています。



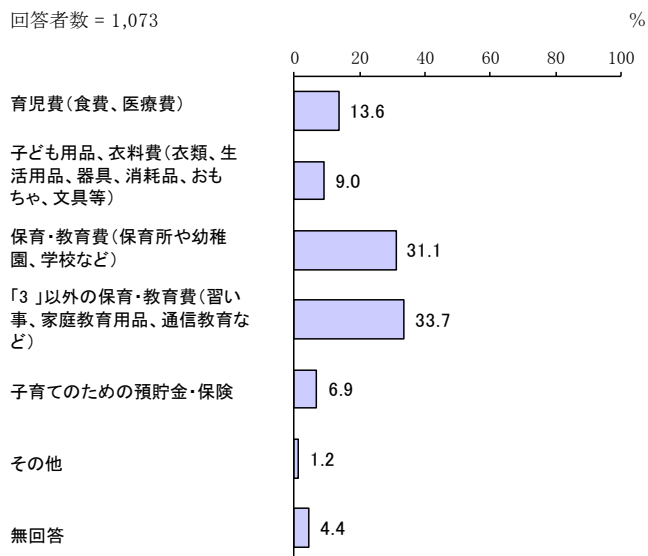
問15 子育てにかかる1か月あたりの費用

「5～10万円未満」の割合が41.6%と最も高く、次いで「10万円以上」の割合が22.9%、「3～5万円未満」の割合が20.3%となっています。



問16 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目はなんですか。(あてはまる番号1つに○)

「3」以外の保育・教育費（習い事、家庭教育用品、通信教育など）の割合が33.7%と最も高く、次いで「保育・教育費（保育所や幼稚園、学校など）」の割合が31.1%、「育児費（食費、医療費）」の割合が13.6%となっています。

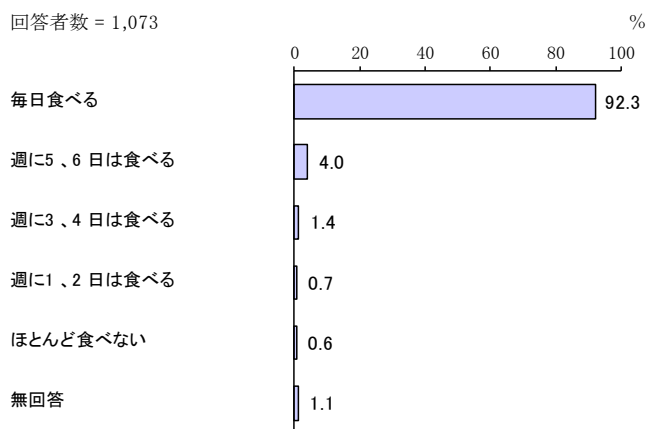


(5) お子さんの食習慣について

問17 お子さんは、一週間に朝食と夕食をどのくらいとっていますか。以下の選択肢から選び、ご記入ください。

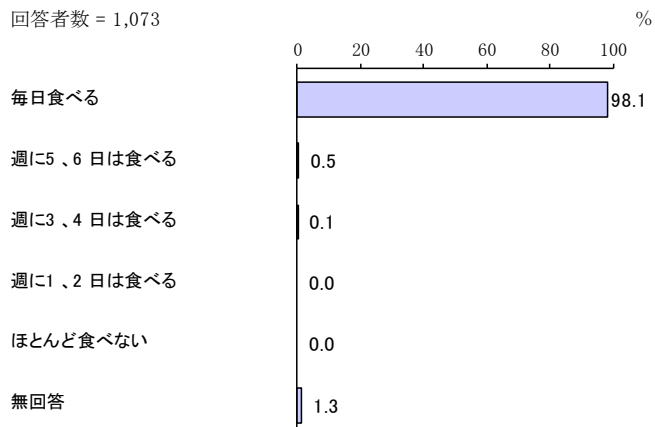
ア 朝食

「毎日食べる」の割合が92.3%と最も高くなっています。



イ 夕食

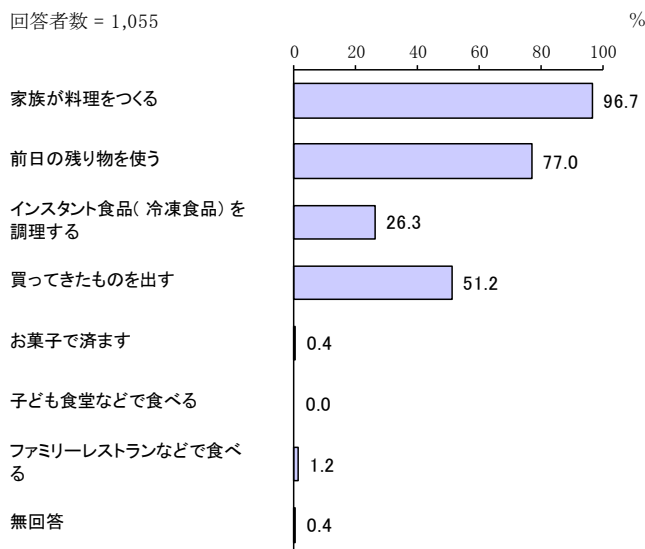
「毎日食べる」の割合が98.1%と最も高くなっています。



問18 問17で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。
 お子さんの朝食や夕食の準備はどのようにしていますか。以下の選択肢から多いものを3つ選び、ご記入ください。

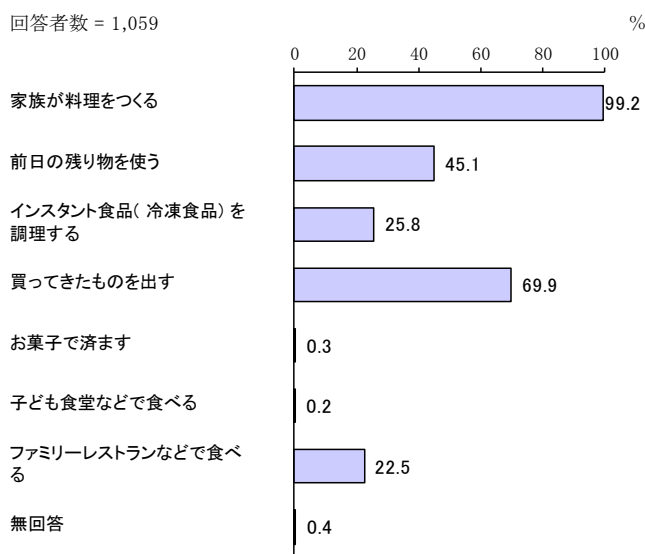
ア 朝食

「家族が料理をつくる」の割合が96.7%と最も高く、次いで「前日の残り物を使う」の割合が77.0%、「買ってきたものを出す」の割合が51.2%となっています。



イ 夕食

「家族が料理をつくる」の割合が99.2%と最も高く、次いで「買ってきたものを出す」の割合が69.9%、「前日の残り物を使う」の割合が45.1%となっています。

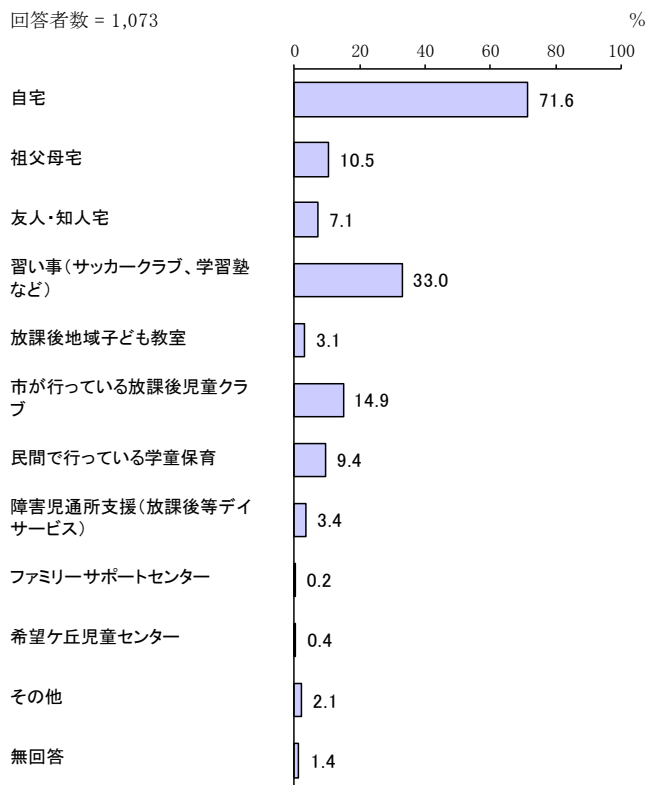


(6) 放課後の過ごし方について

問 19 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、利用している日数（「5」、「6」、「7」を選ぶ方は利用時間も）をご記入ください。
 （あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

「自宅」の割合が71.6%と最も高く、次いで「習い事（サッカークラブ、学習塾など）」の割合が33.0%、「市が行っている放課後児童クラブ」の割合が14.9%となっています。

回答者数 = 1,073



1 週あたりの利用日数

1 週あたりの利用日数をみると、他に比べ、3. 友人・知人宅で「1 日」の割合が、4. 習い事（サッカークラブ、学習塾など）で「2 日」の割合が高くなっています。

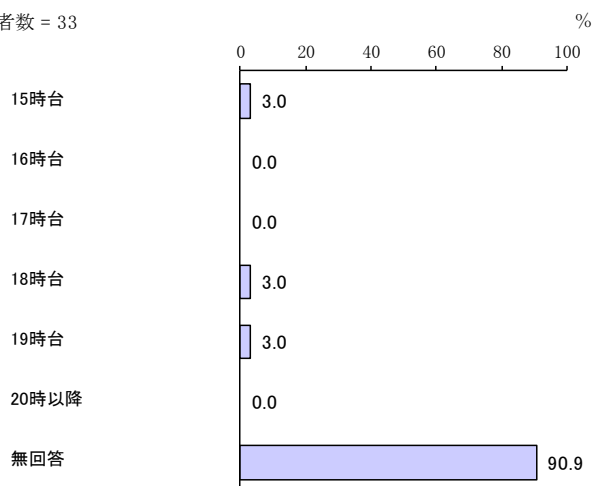
単位：%

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無回答
1. 自宅	768	6.0	8.9	9.4	7.4	64.2	4.2
2. 祖父母宅	113	25.7	17.7	8.0	8.0	39.8	0.9
3. 友人・知人宅	76	51.3	21.1	15.8	1.3	6.6	3.9
4. 習い事(サッカークラブ、学習塾など)	354	33.3	35.3	17.5	7.9	5.6	0.3
5. 放課後地域子ども教室	33	9.1	12.1	6.1	6.1	51.5	15.2
6. 市が行っている放課後児童クラブ	160	-	1.3	6.9	14.4	73.1	4.4
7. 民間で行っている学童保育	101	6.9	5.9	5.9	9.9	71.3	-
8. 障害児通所支援(放課後等デイサービス)	36	19.4	22.2	22.2	11.1	25.0	-
9. ファミリーサポートセンター	2	50.0	-	-	-	50.0	-
10. 希望ヶ丘児童センター	4	25.0	-	-	-	50.0	25.0
11. その他	23	13.0	8.7	13.0	26.1	30.4	8.7

(ア) 放課後地域子ども教室 利用終了時刻

「15 時台」、「18 時台」、「19 時台」の割合が 3.0% と最も高くなっています。

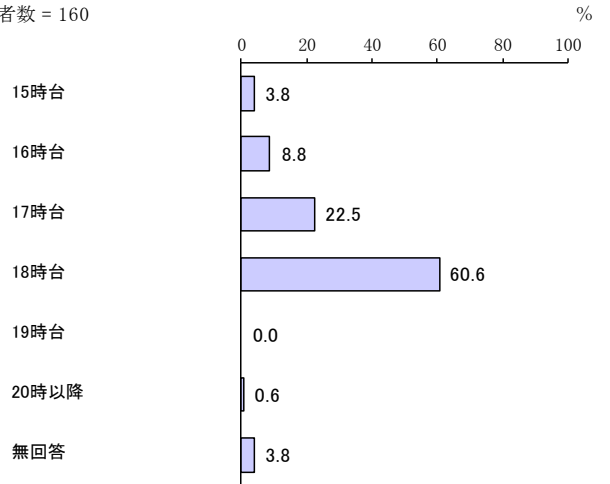
回答者数 = 33



(イ) 市が行っている放課後児童クラブ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.5%となっています。

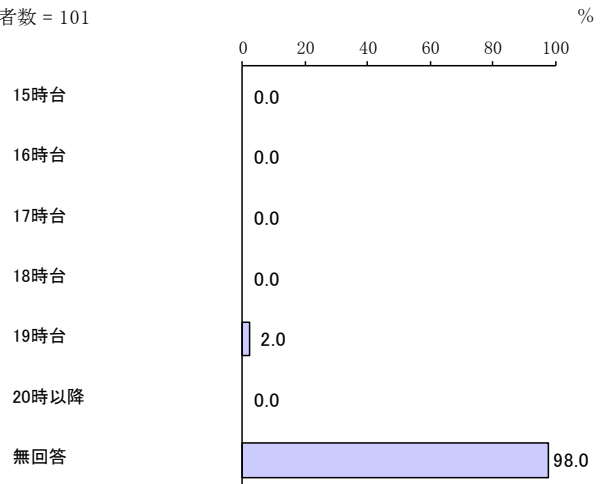
回答者数 = 160



(ウ) 民間で行っている学童保育 利用終了時刻

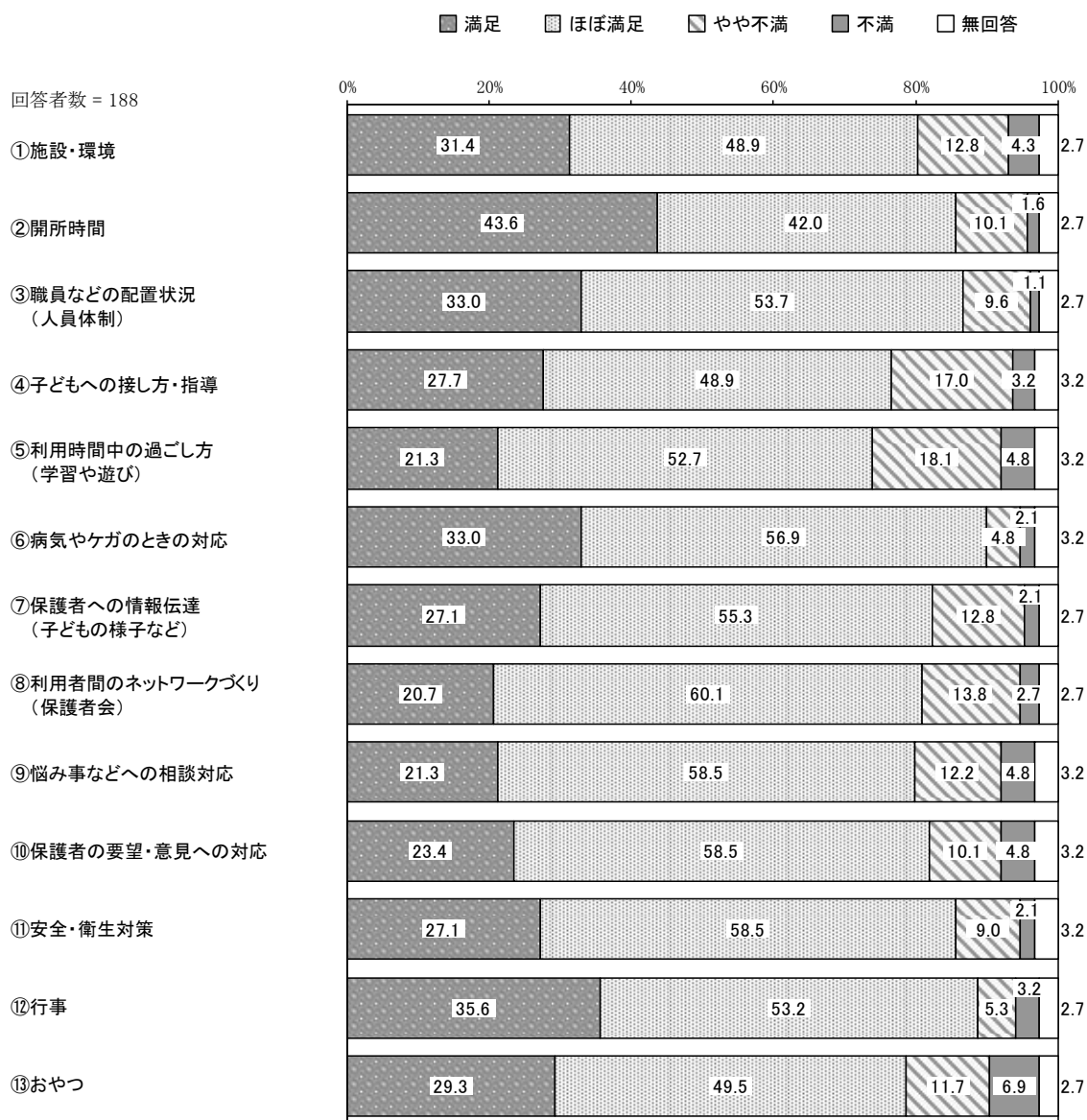
「19 時台」の割合が 2.0%となっています。

回答者数 = 101



問20 問19で「5」または「6」を選んだ方にうかがいます。次の項目に対してどのように感じていますか。(項目ごとにあてはまる番号1つに○)

『⑥病気やケガのときの対応』で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足”の割合が高くなっています。また、『⑤利用時間中の過ごし方(学習や遊び)』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高くなっています。

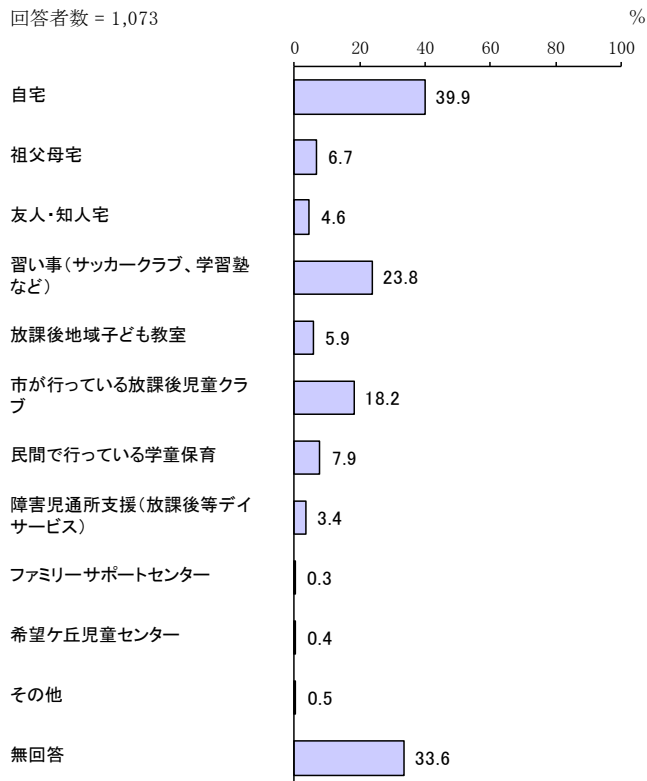


問 21 あて名のお子さんが、低学年（1～3年生）と高学年（4～5年生）のそれぞれの時期に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する日数（「5」、「6」、「7」を選ぶ方は利用希望時間も）はどのくらいですか。
 現在、お子さんが低学年の場合は、低学年・高学年の両方を、お子さんが高学年の場合は、高学年のみをご記入ください。（あてはまる項目すべてに○、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

ア 低学年 放課後の居場所

「自宅」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「習い事（サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 23.8%、「市が行っている放課後児童クラブ」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 1,073



低学年の放課後の居場所

低学年の放課後の居場所をみると、他に比べ、3. 友人・知人宅で「1日」の割合が、4. 習い事（サッカークラブ、学習塾など）で「2日」の割合が高くなっています。

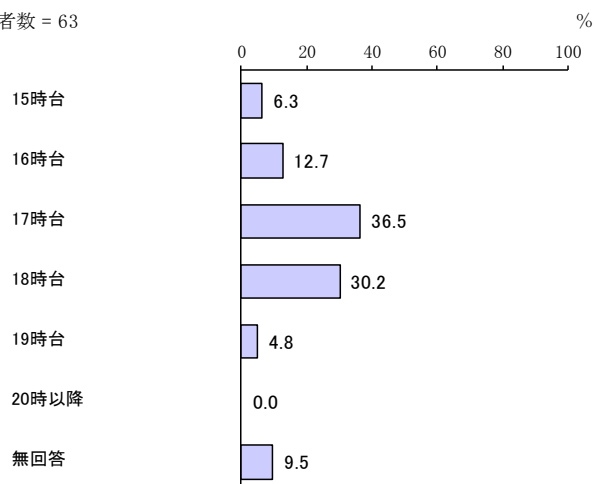
単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	428	6.1	11.4	14.3	10.3	52.8	5.1
2. 祖父母宅	72	34.7	12.5	12.5	9.7	27.8	2.8
3. 友人・知人宅	49	57.1	28.6	12.2	-	-	2.0
4. 習い事(サッカークラブ、学習塾など)	255	34.9	39.2	14.5	5.1	4.7	1.6
5. 放課後地域子ども教室	63	19.0	14.3	7.9	7.9	47.6	3.2
6. 市が行っている放課後児童クラブ	195	1.5	6.2	9.7	9.7	68.2	4.6
7. 民間で行っている学童保育	85	3.5	5.9	5.9	10.6	67.1	7.1
8. 障害児通所支援(放課後等デイサービス)	37	13.5	29.7	10.8	10.8	35.1	-
9. ファミリーサポートセンター	3	66.7	-	33.3	-	-	-
10. 希望ヶ丘児童センター	4	-	-	25.0	-	75.0	-
11. その他	5	20.0	40.0	-	-	40.0	-

(ア) 放課後地域子ども教室 利用終了時刻

「17時台」の割合が36.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.2%、「16時台」の割合が12.7%となっています。

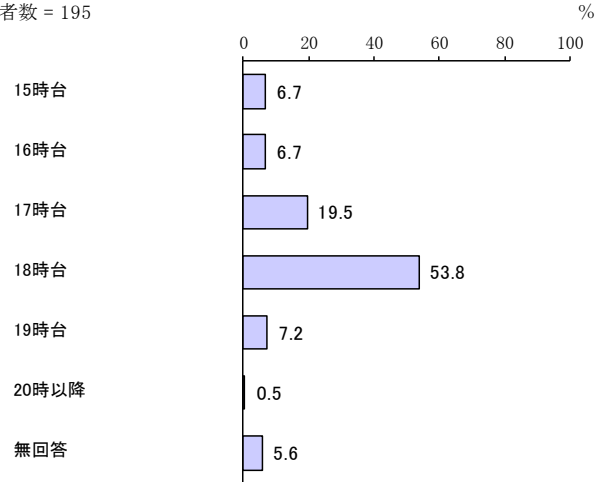
回答者数 = 63



(イ) 市が行っている放課後児童クラブ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 19.5%となっています。

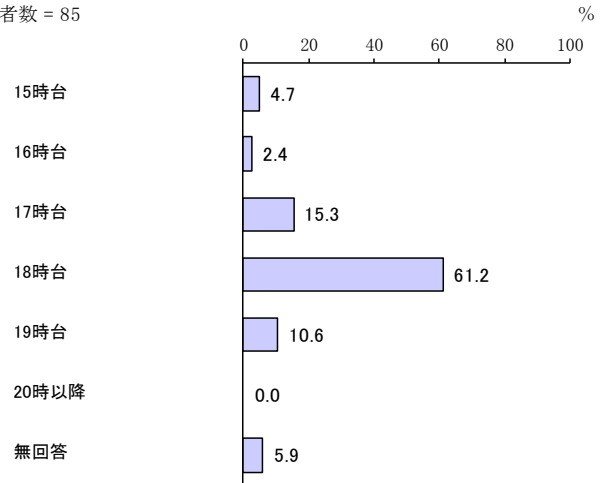
回答者数 = 195



(ウ) 民間で行っている学童保育 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 15.3%、「19 時台」の割合が 10.6%となっています。

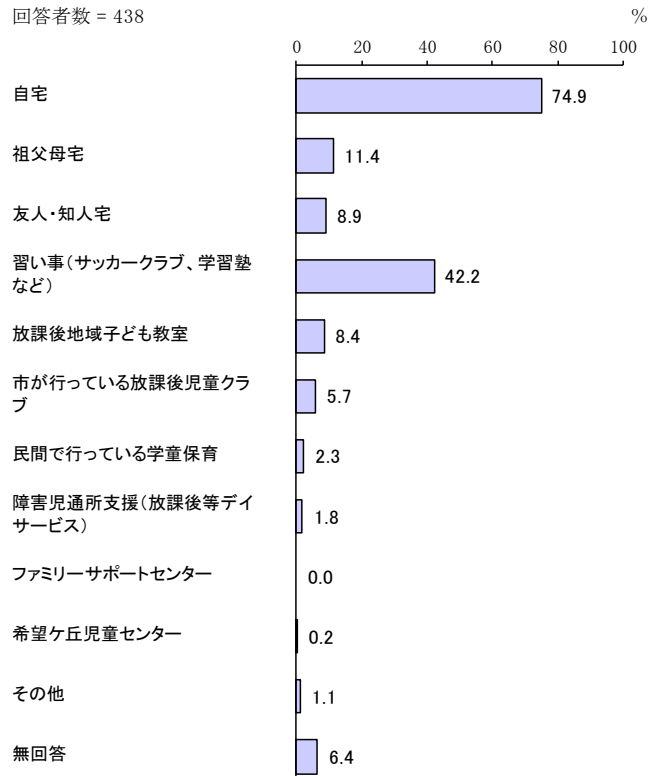
回答者数 = 85



イ 高学年 放課後の居場所

「自宅」の割合が 74.9%と最も高く、次いで「習い事(サッカークラブ、学習塾など)」の割合が 42.2%、「祖父母宅」の割合が 11.4%となっています。

回答者数 = 438



高学年の放課後の居場所

高学年の放課後の居場所をみると、他に比べ、3. 友人・知人宅で「1日」の割合が高くなっています。

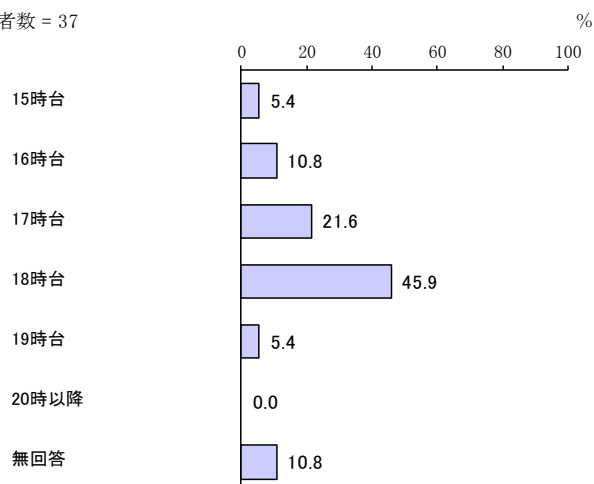
単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	328	3.0	11.3	12.5	3.0	64.6	5.5
2. 祖父母宅	50	18.0	24.0	6.0	4.0	40.0	8.0
3. 友人・知人宅	39	41.0	38.5	5.1	2.6	2.6	10.3
4. 習い事(サッカークラブ、学習塾など)	185	22.7	37.3	19.5	9.7	9.2	1.6
5. 放課後地域子ども教室	37	24.3	18.9	18.9	2.7	32.4	2.7
6. 市が行っている放課後児童クラブ	25	8.0	8.0	12.0	4.0	68.0	-
7. 民間で行っている学童保育	10	10.0	10.0	-	-	70.0	10.0
8. 障害児通所支援(放課後等デイサービス)	8	25.0	25.0	-	12.5	37.5	-
9. ファミリーサポートセンター	-	-	-	-	-	-	-
10. 希望ヶ丘児童センター	1	100.0	-	-	-	-	-
11. その他	5	-	-	40.0	-	40.0	20.0

(ア) 放課後地域子ども教室 利用終了時刻

「18時台」の割合が45.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.6%、「16時台」の割合が10.8%となっています。

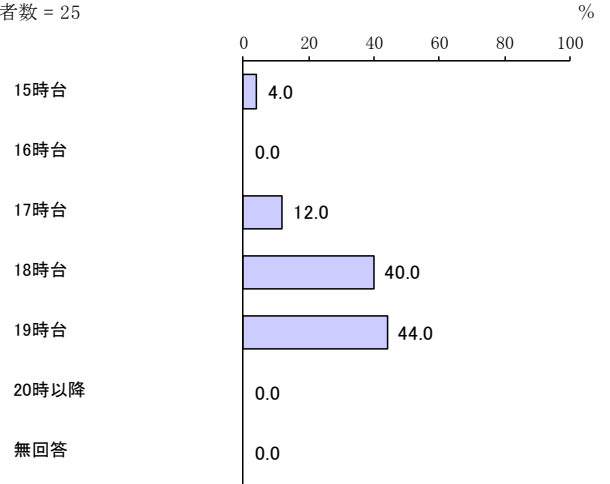
回答者数 = 37



(イ) 市が行っている放課後児童クラブ 利用終了時刻

「19 時台」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 40.0%、「17 時台」の割合が 12.0%となっています。

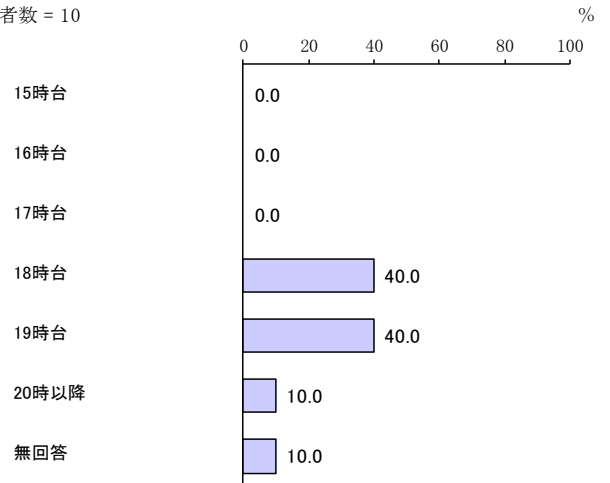
回答者数 = 25



(ウ) 民間で行っている学童保育 利用終了時刻

「18 時台」、「19 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「20 時以降」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 10

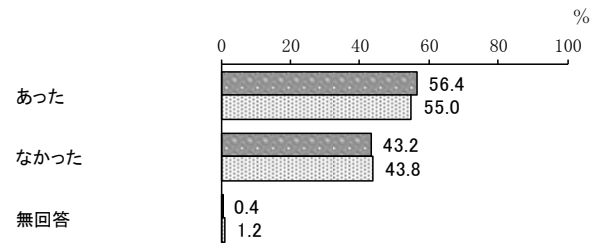


(7) 病気の際の対応について

問 22 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

「あった」の割合が 56.4%、「なかった」の割合が 43.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



■ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,073)
□ 平成25年度調査
(回答者数 = 847)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学6年生で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
小学1年生	210	54.8	45.2	—
小学2年生	216	63.0	36.6	0.5
小学3年生	197	59.4	39.6	1.0
小学4年生	152	55.9	44.1	—
小学5年生	137	54.7	44.5	0.7
小学6年生	149	48.3	51.7	—

【母親の就労状況別】

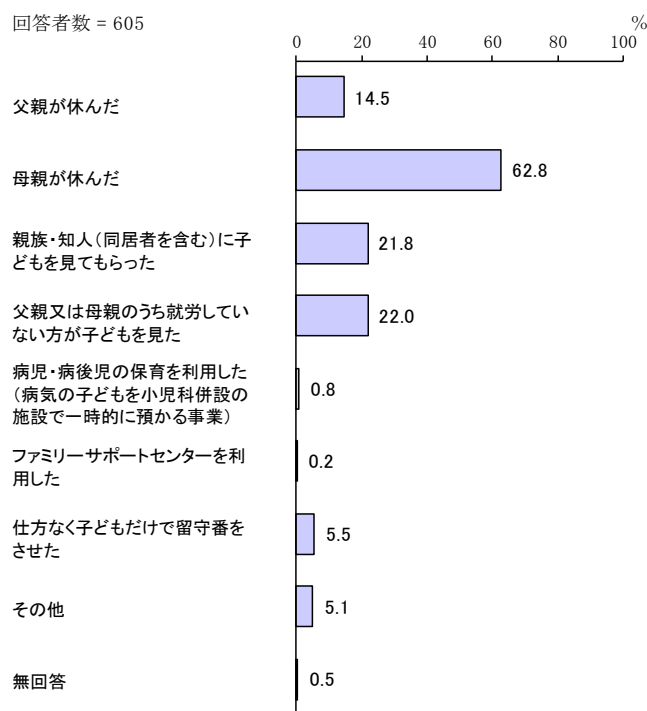
母親の就労状況別でみると、他に比べ、これまで就労したことがないで「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労中	442	54.5	45.2	0.2
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	16	56.3	43.8	—
パート・アルバイト等で就労中	340	59.4	40.6	—
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	7	71.4	28.6	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	189	56.6	42.3	1.1
これまで就労したことがない	17	64.7	35.3	—

問 23 問 22 で「1」を選んだ方にうかがいます。
 その時、どのような対処を、何日行いましたか。半日程度の対応の場合も1日と
 カウントしてお答えください。
 (あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入)

「母親が休んだ」の割合が62.8%と最も高く、
 次いで「父親又は母親のうち就労していない方が
 子どもを見た」の割合が22.0%、「親族・知人(同
 居者を含む)に子どもを見てもらった」の割合が
 21.8%となっています。



1年間の対処日数

1年間の対処方法では、他に比べ、7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせたで「1日」の割合が、4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみたで「6日～10日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 以上	無回答
1. 父親が休んだ	88	54.5	20.5	10.2	5.7	8.0	1.1	-	-	-
2. 母親が休んだ	380	37.1	24.7	14.5	4.7	7.6	6.3	0.8	0.5	3.7
3. 親族・知人(同居者を含む) に子どもを見てもらった	132	50.0	22.0	16.7	2.3	3.0	1.5	0.8	-	3.8
4. 父親又は母親のうち就労して いない方が子どもを見た	133	30.8	18.0	9.8	7.5	9.0	14.3	3.0	-	7.5
5. 病児・病後児の保育を利用した	5	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-
6. ファミリーサポートセンターを 利用した	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	33	60.6	21.2	9.1	-	-	3.0	-	-	6.1
8. その他	31	38.7	16.1	6.5	3.2	19.4	9.7	-	3.2	3.2

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学1年生で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が、小学5年生で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に 子どもを見てもらった	父親又は母親のうち就労して いない方が子どもを見た	病児 病後児の保育を利用した 病気の子どもを小児科併設 の施設で一時的に預かる事業	ファミリーサポートセンター を利用した	仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	その他	無回答
小学1年生	115	11.3	57.4	18.3	30.4	1.7	0.9	1.7	7.0	0.9
小学2年生	136	16.2	66.2	22.8	25.0	1.5	—	2.2	2.2	—
小学3年生	117	13.7	64.1	26.5	15.4	0.9	—	8.5	4.3	0.9
小学4年生	85	12.9	62.4	25.9	20.0	—	—	5.9	4.7	—
小学5年生	75	22.7	61.3	13.3	20.0	—	—	4.0	9.3	1.3
小学6年生	72	11.1	63.9	19.4	18.1	—	—	12.5	5.6	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「父親が休んだ」「親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった」の割合が、これまで就労したことがないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が高くなっています。

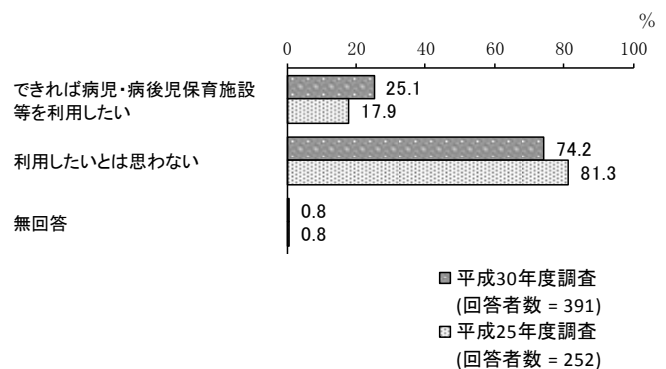
単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	病児・病後児の保育を利用した 病児の子どもを小児科併設の施設で一時的に預かる事業	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労中	241	22.8	78.8	33.2	1.7	1.2	0.4	6.2	4.6	0.8
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	9	—	44.4	11.1	33.3	—	—	—	11.1	—
パート・アルバイト等で就労中	202	10.9	76.2	18.3	9.9	—	—	8.9	4.5	0.5
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	5	—	40.0	—	60.0	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	107	3.7	16.8	4.7	77.6	1.9	—	—	4.7	—
これまで就労したことがない	11	—	—	—	90.9	—	—	—	9.1	—

問 24 問 23 で「1」、「2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。「1」を選ぶ場合、希望する日数もご記入ください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 25.1%、「利用したいとは思わない」の割合が 74.2%となっています。

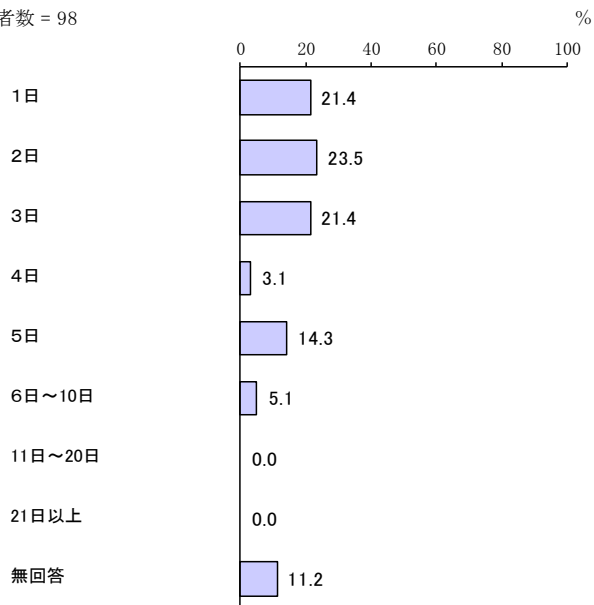
平成 25 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2日」の割合が23.5%と最も高く、次いで「1日」、「3日」の割合が21.4%となっています。

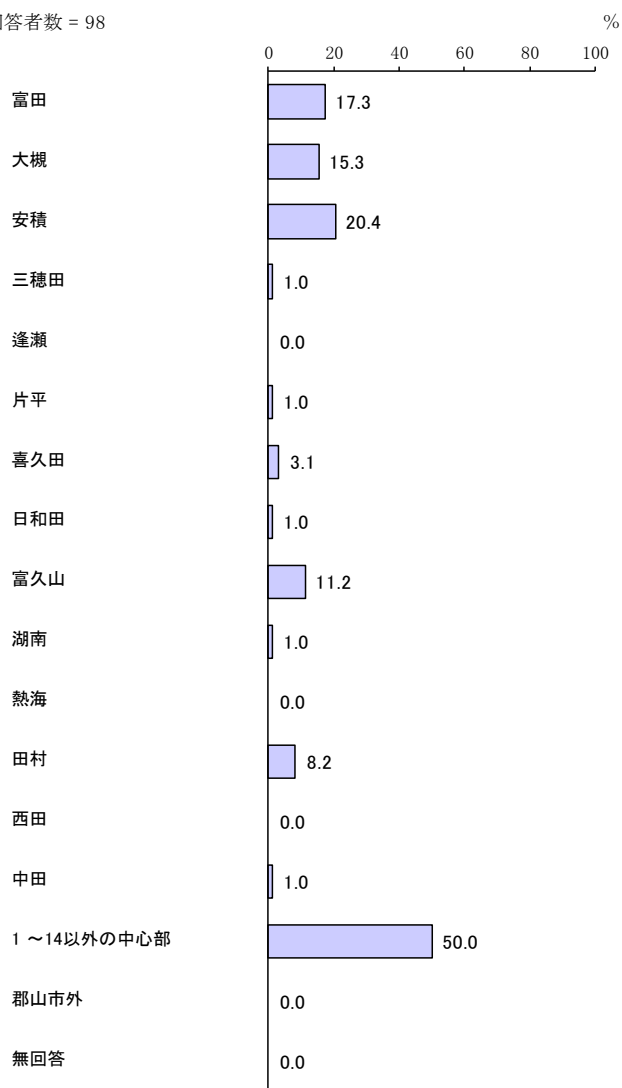
回答者数 = 98



問25 問24で「1」を選んだ方にうかがいます。病児・病後児保育施設等について、利用したい地区はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

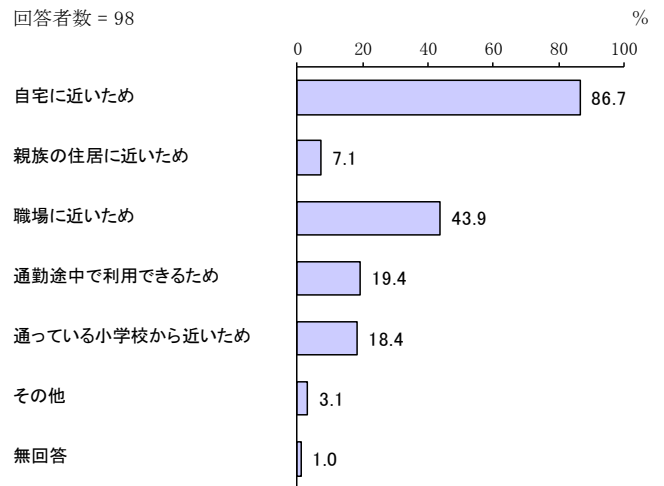
「1～14以外の中心部」の割合が50.0%と最も高く、次いで「安積」の割合が20.4%、「富田」の割合が17.3%となっています。

回答者数 = 98



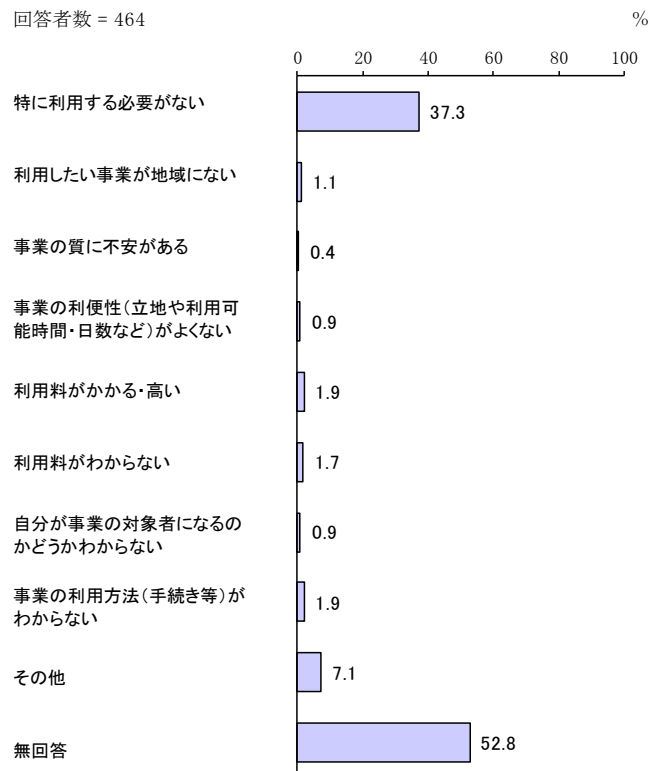
問 26 問 25 で回答した地区を選んだ理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「自宅に近い」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「職場に近い」の割合が 43.9%、「通勤途中で利用できる」の割合が 19.4%となっています。



問 27 問 22 で「2」を選んだ方にうかがいます。その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

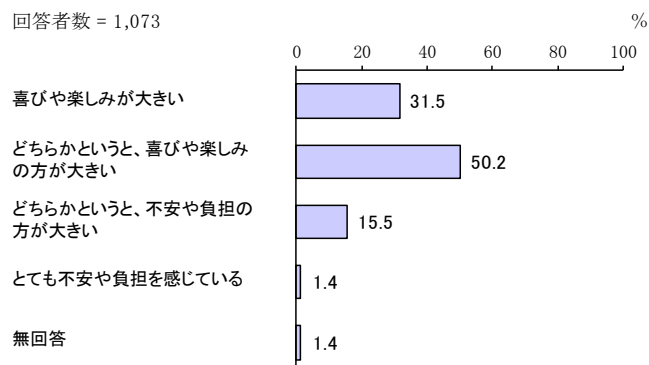
「特に利用する必要がない」の割合が 37.3%と最も高くなっています。



(8) 地域の子育て支援について

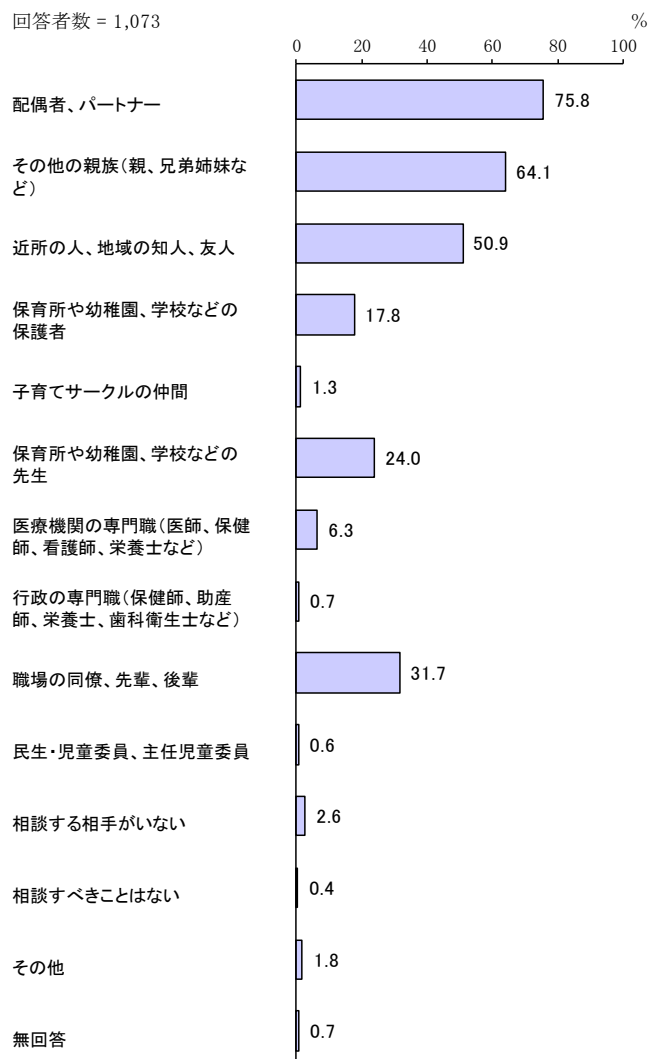
問 28 子育てをどのように感じていますか。(あてはまる番号 1 つに○)

「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「喜びや楽しみが大きい」の割合が 31.5%、「どちらかというと、不安や負担の方が大きい」の割合が 15.5%となっています。



問 29 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

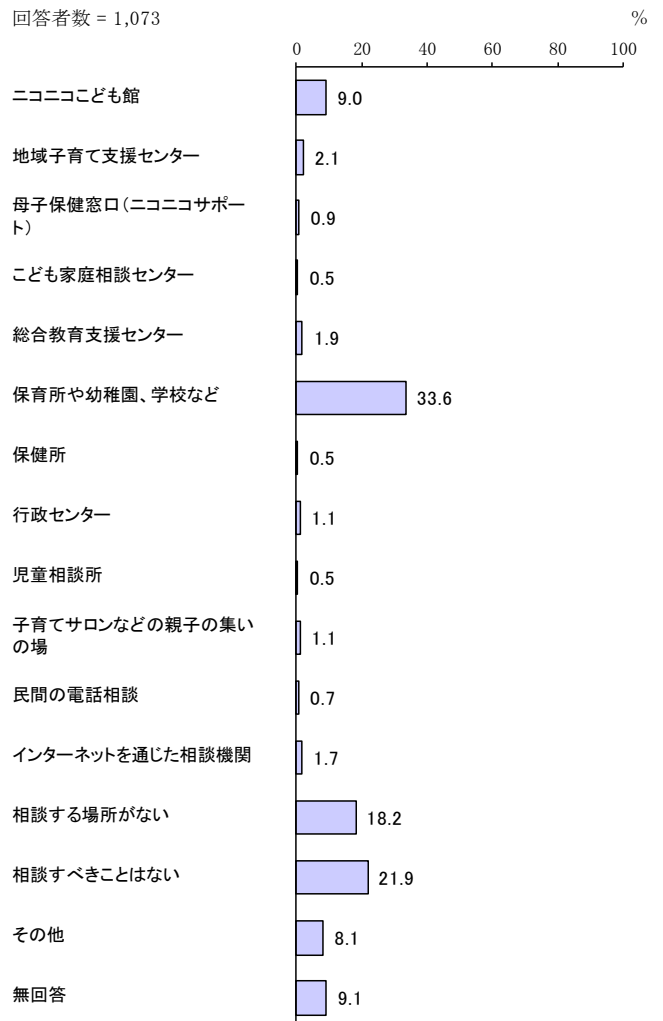
「配偶者、パートナー」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「その他の親族(親、兄弟姉妹など)」の割合が 64.1%、「近所の人、地域の知人、友人」の割合が 50.9%となっています。



問 30 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる場所がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

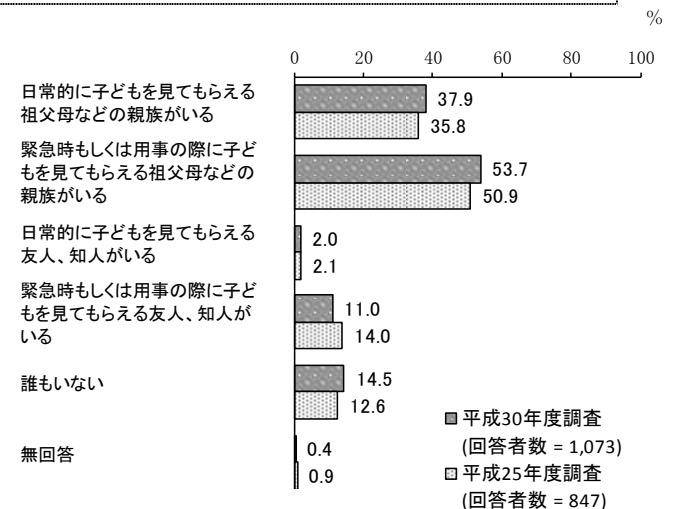
「保育所や幼稚園、学校など」の割合が 33.6% と最も高く、次いで「相談すべきことはない」の割合が 21.9%、「相談する場所がない」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 1,073



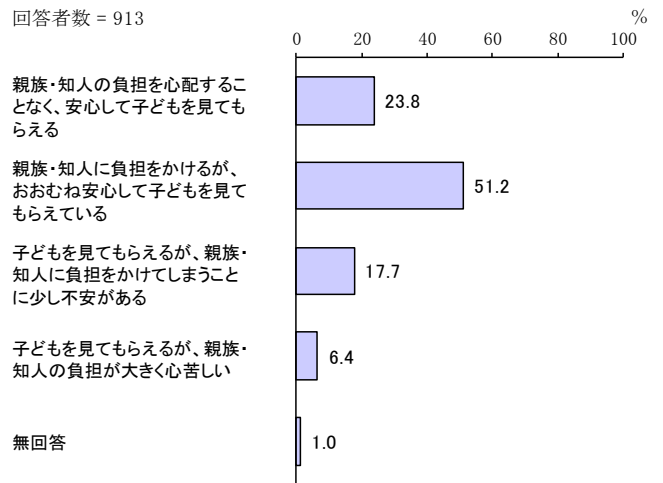
問 31 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

「緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」の割合が 53.7% と最も高く、次いで「日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」の割合が 37.9%、「誰もいない」の割合が 14.5%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



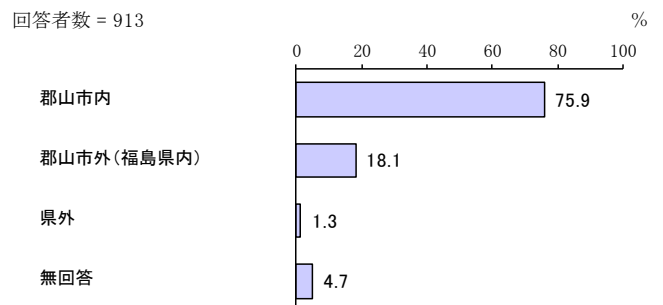
問 32 問 31 で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。
 お子さんを見てもらうことについてどのように感じていますか。あなたの考えに
 一番近いものをお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「親族・知人に負担をかけるが、おおむね安心して子どもを見てもらえている」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「親族・知人の負担を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」の割合が 23.8%、「子どもを見てもらえるが、親族・知人に負担をかけてしまうことに少し不安がある」の割合が 17.7%となっています。



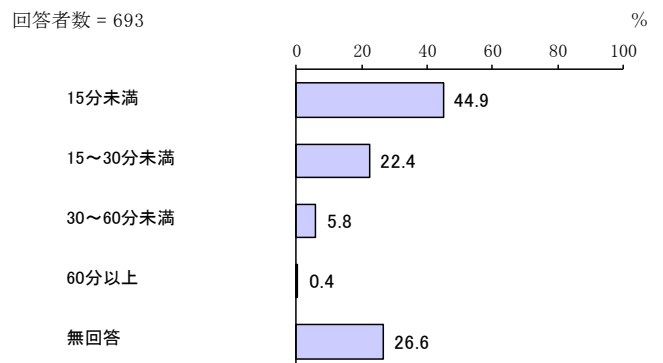
問 33 問 31 で「1」～「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。
 お子さんを見てもらっている親族・知人は、どちらにお住まいですか。また、その場所までどのくらい時間がかかりますか。(あてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入)

「郡山市内」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「郡山市外(福島県内)」の割合が 18.1%となっています。



ア 郡山市内
 (ア) 車で

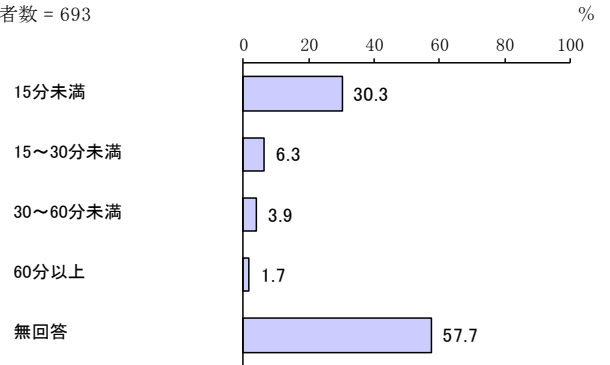
「15分未満」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「15～30分未満」の割合が 22.4%となっています。



(イ) 徒歩で

「15分未満」の割合が30.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 693

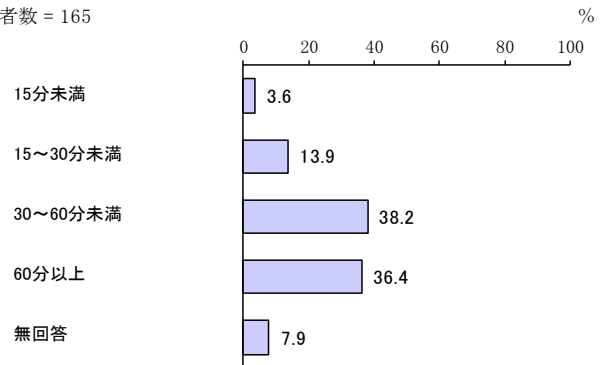


イ 郡山市外（福島県内）

(ア) 車で

「30~60分未満」の割合が38.2%と最も高く、次いで「60分以上」の割合が36.4%、「15~30分未満」の割合が13.9%となっています。

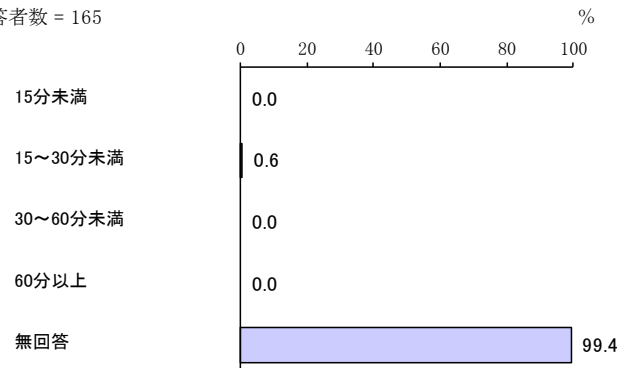
回答者数 = 165



(イ) 徒歩で

「15~30分未満」の割合が0.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 165

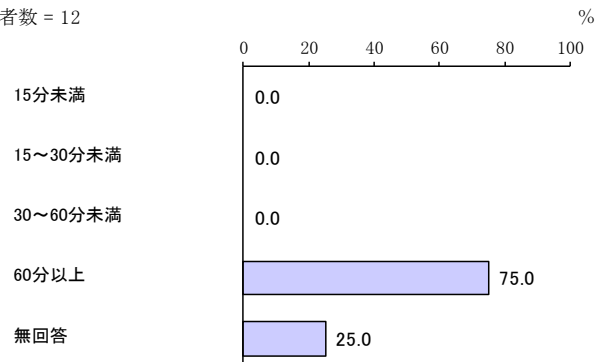


ウ 県外

(ア) 車で

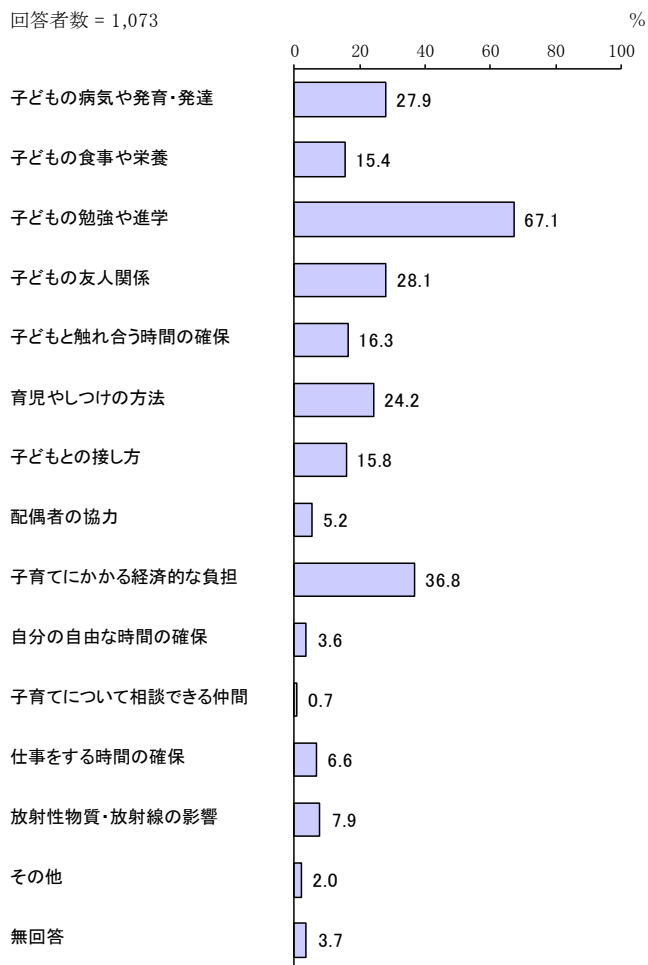
「60分以上」の割合が75.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 12



問 34 子育てに関して、悩みや心配ごとはありますか。上位3つまで選んでください。
 (あてはまる番号3つまで○)

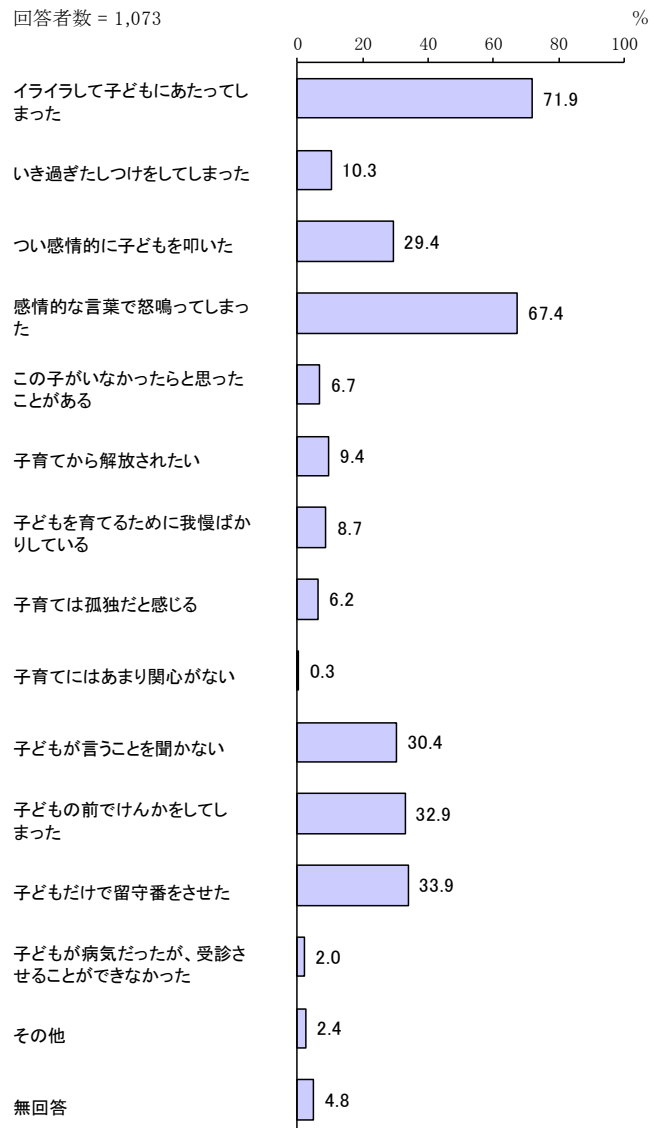
「子どもの勉強や進学」の割合が67.1%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担」の割合が36.8%、「子どもの友人関係」の割合が28.1%となっています。



問 35 あなたはこれまで、子育て中に次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「イライラして子どもにあたってしまった」の割合が71.9%と最も高く、次いで「感情的な言葉で怒鳴ってしまった」の割合が67.4%、「子どもだけで留守番をさせた」の割合が33.9%となっています。

回答者数 = 1,073

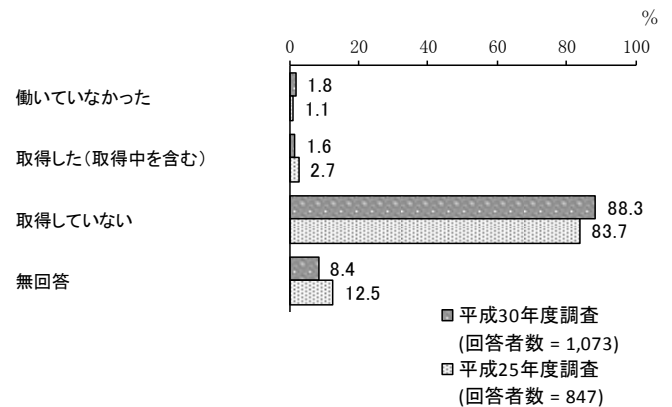


問 36 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。「3」を選ぶ方は、点線の枠から、その理由にあてはまる記号をすべてご記入ください。(父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、[]内にはあてはまる記号すべて記入)

ア 父親

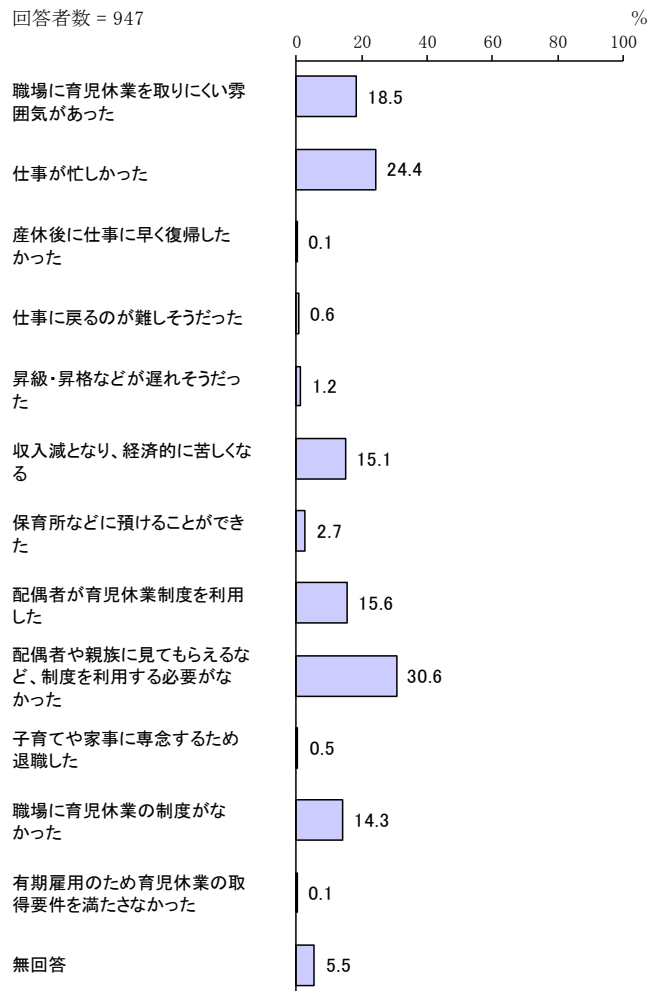
「取得していない」の割合が88.3%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(ア) 取得していない主な理由

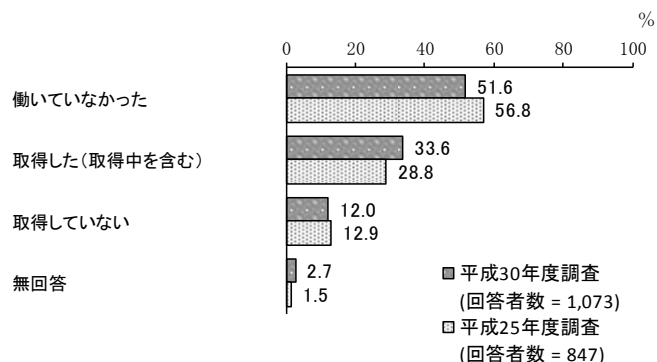
「配偶者や親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が30.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が24.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が18.5%となっています。



イ 母親

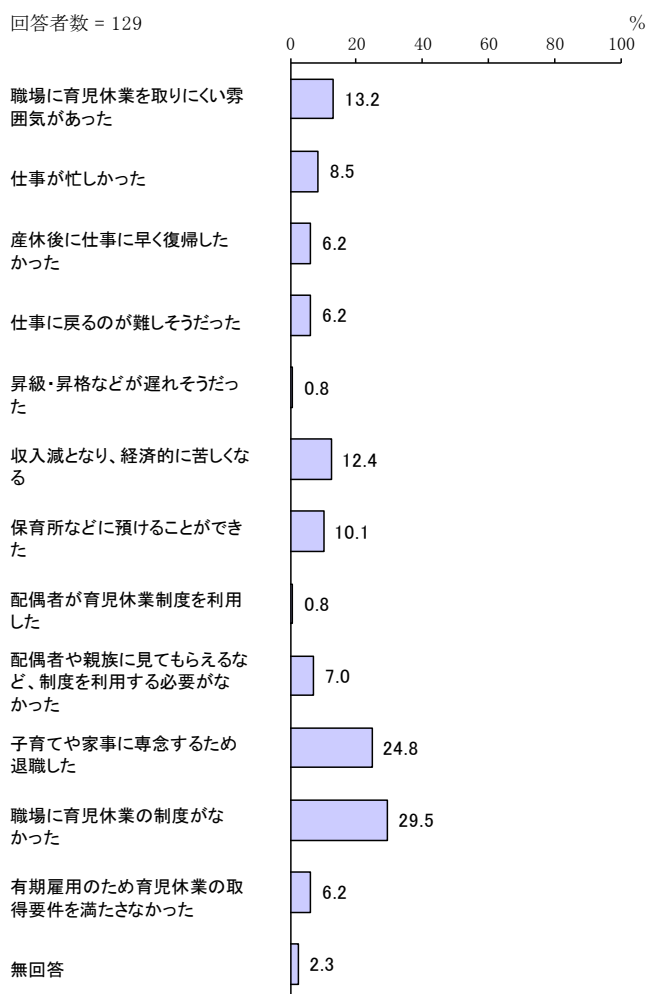
「働いていなかった」の割合が51.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中を含む）」の割合が33.6%、「取得していない」の割合が12.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「働いていなかった」の割合が減少しています。



(ア) 取得していない主な理由

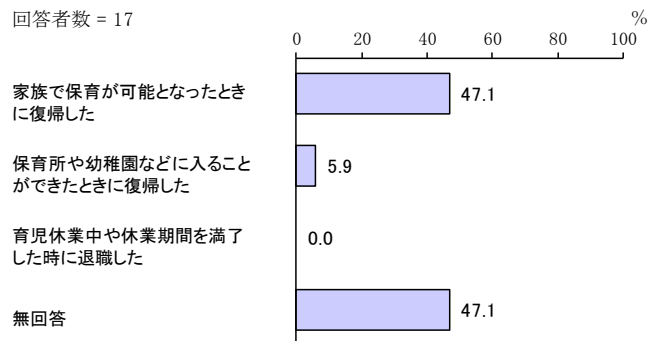
「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が29.5%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が24.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が13.2%となっています。



問 37 問 36 で「2」を選んだ方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。復帰した方は、お子さんが何歳何ヶ月のときに復帰したかもお答えください。(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○)、[]内は数字を記入)

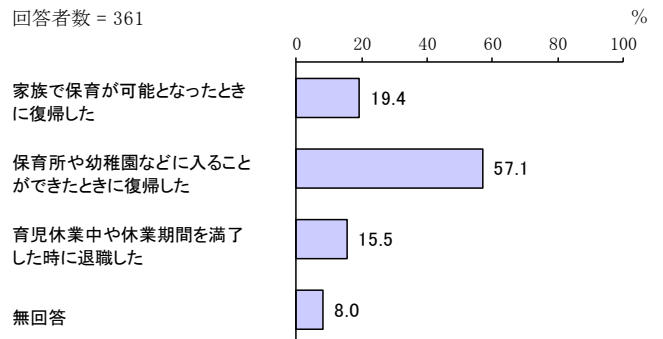
ア 父親

「家族で保育が可能となったときに復帰した」の割合が 47.1%と最も高くなっています。



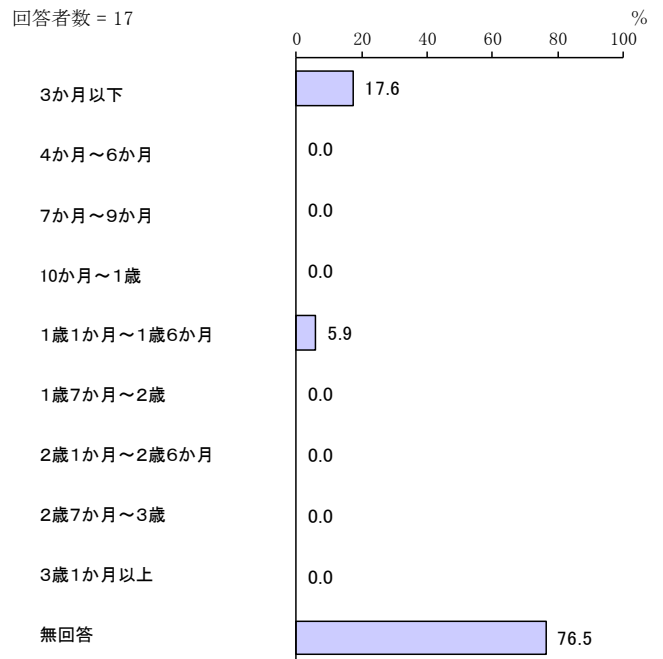
イ 母親

「保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「家族で保育が可能となったときに復帰した」の割合が 19.4%、「育児休業中や休業期間を満了した時に退職した」の割合が 15.5%となっています。



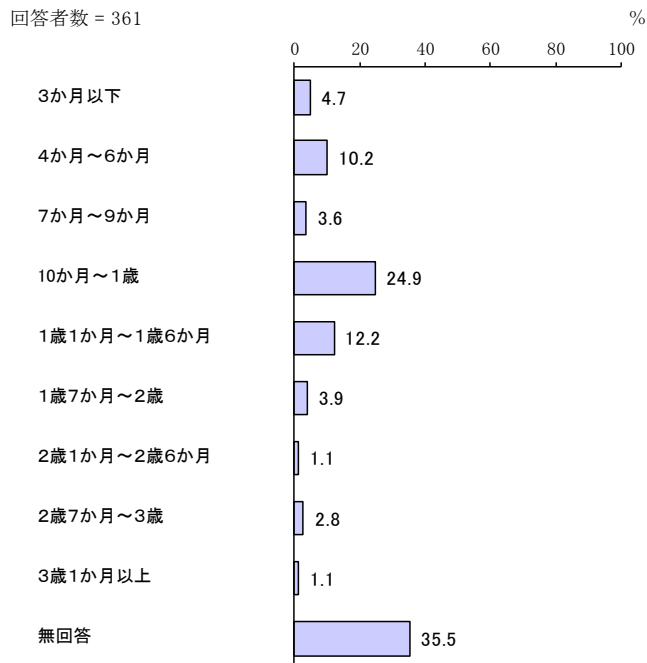
(ア) 父親が復帰した時の子どもの年齢

「3か月以下」の割合が 17.6%と最も高くなっています。



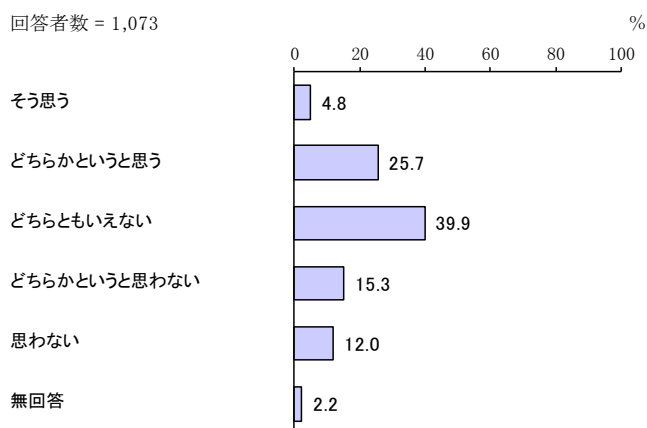
(イ) 母親が復帰した時の子どもの年齢

「10 か月～1 歳」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「1 歳 1 か月～1 歳 6 か月」の割合が 12.2%、「4 か月～6 か月」の割合が 10.2%となっています。



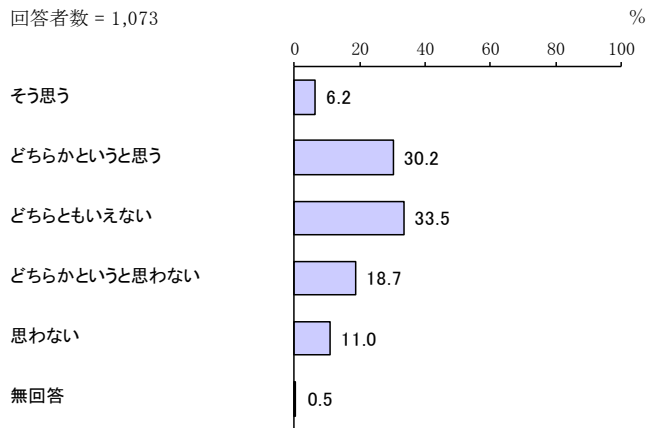
問 38 地域における防犯活動が活発であると感じますか。(あてはまる番号 1 つに○)

「どちらともいえない」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」の割合が 25.7%、「どちらかというと思わない」の割合が 15.3%となっています。



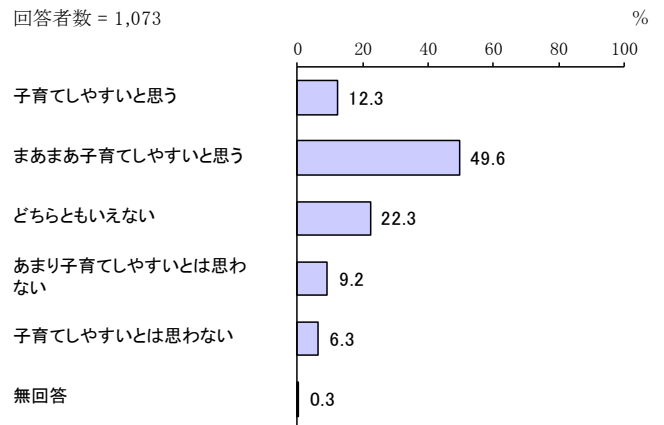
問 39 子どもや親が安心して外出できる環境（子どもの遊び場や公園等）になっていると思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

「どちらともいえない」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」の割合が 30.2%、「どちらかというと思わない」の割合が 18.7%となっています。



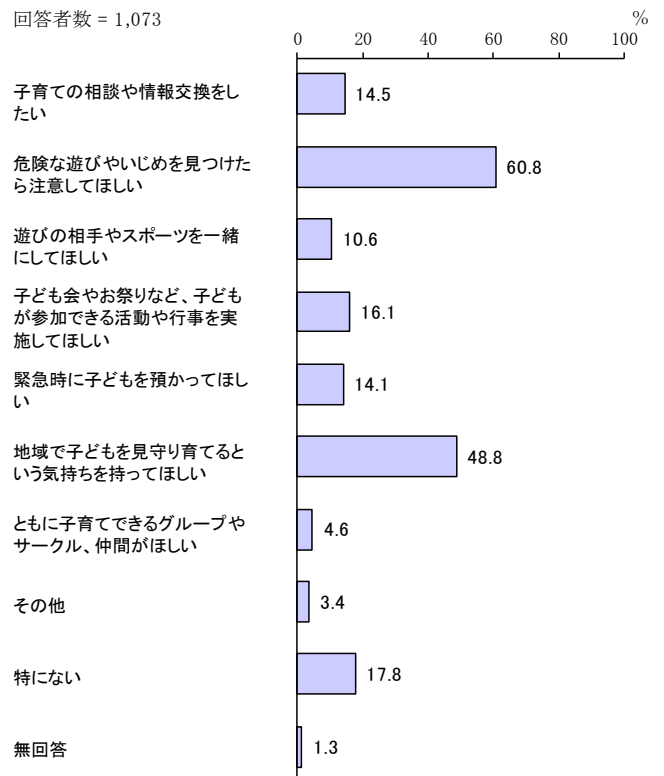
問 40 あなたのお住まいの地区は、子育てしやすい環境だと感じますか。(あてはまる番号1つに○)

「まあまあ子育てしやすいと思う」の割合が49.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が22.3%、「子育てしやすいと思う」の割合が12.3%となっています。



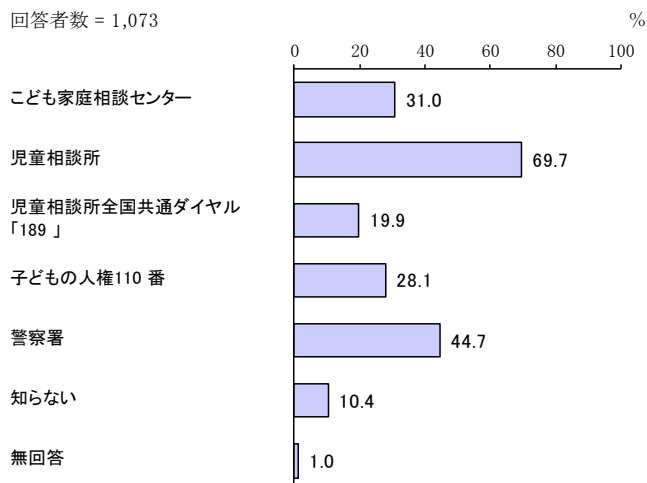
問 41 子育てをするにあたって、地域の方々に求めることはありますか。上位3つまで選んでください。(あてはまる番号3つまで○)

「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」の割合が60.8%と最も高く、次いで「地域で子どもを見守り育てるといい気持ちを持ってほしい」の割合が48.8%、「特にない」の割合が17.8%となっています。



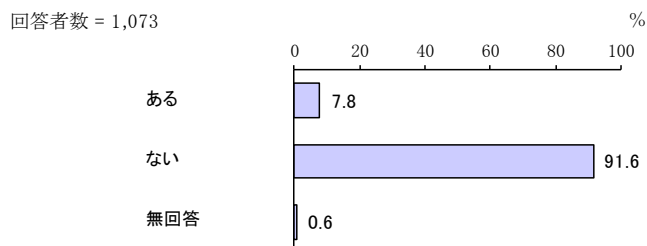
問 42 児童虐待に関する相談窓口で知っているものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「児童相談所」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「警察署」の割合が 44.7%、「こども家庭相談センター」の割合が 31.0%となっています。



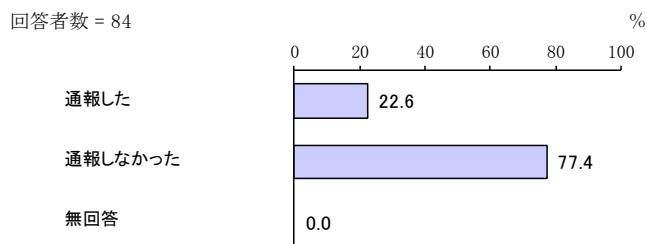
問 43 あなたは、児童虐待と思われる場面を見たり、聞いたりしたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

「ある」の割合が 7.8%、「ない」の割合が 91.6%となっています。



問 44 問 43 で「1」を選んだ方にうかがいます。その時、市や児童相談所等に通報しましたか。(あてはまる番号1つに○)

「通報した」の割合が 22.6%、「通報しなかった」の割合が 77.4%となっています。



問 45 問 44 で「2」を選んだ方にうかがいます。通報しなかった理由はなんですか。
(あてはまる番号 1 つに○)

「面倒な事案に巻き込まれたくないから」の割合が 12.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 65

通報者として色々話を聞かれるのがいやだから

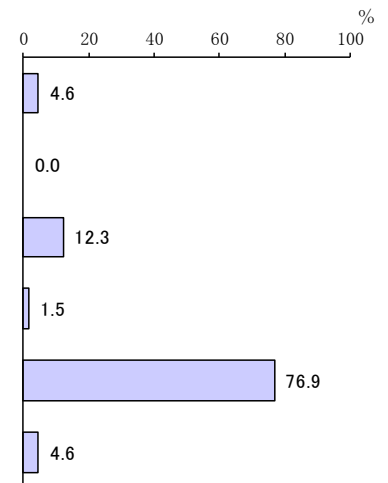
地区の町内会長や民生・児童委員などが通報すべきだから

面倒な事案に巻き込まれたくないから

他人ごとだから

その他

無回答



問 46 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位 3 つまで選んでください。(あてはまる項目 3 つまで○)

現状として満足している取組では、「放射性物質・放射線対策」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」の割合が 15.5%、「母親や子どもの健康確保」の割合が 13.0%となっています。

現状として満足していない取組では、「子どもが安心して遊べる施設の整備」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園などの費用軽減」の割合が 18.9%、「仕事と子育ての両立の推進」の割合が 14.6%となっています。

重要な取り組みでは、「子どもの健全育成」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「子どもの安全の確保」の割合が 24.4%、「待機児童の解消」の割合が 19.9%となっています。

待機児童の解消

保育所や幼稚園などの費用軽減

地域の保育・教育サービスの充実

子どもが安心して遊べる施設の整備

母親や子どもの健康確保

子育てに困った時に相談できる体制の整備

子育てに関する情報の提供

仕事と子育ての両立の推進

子育てについて学べる機会の提供

子どもの健全育成

子どもの教育環境の整備

子どもの安全の確保

家庭や子どもの状況に応じたきめ細やかな取組

放射性物質・放射線対策

無回答

